

# 基礎資料集

---

2024

# 目次

<b>第1章 大学の使命・目的</b> . . . . .	
1 目的 . . . . .	4
(1) 愛知教育大学憲章	
(2) ミッションの再定義	
(3) アドミッション・ポリシー	
カリキュラム・ポリシー	
ディプロマ・ポリシー	
2 愛知教育大学 未来共創プラン . . . . .	4
3 中期目標・中期計画 . . . . .	4
4 沿革 . . . . .	4
<b>第2章 管理運営体制</b> . . . . .	
1 運営組織(役員名簿) . . . . .	4
2 教育組織 . . . . .	4
3 研究組織(教員組織) . . . . .	4
4 事務組織 . . . . .	4
<b>第3章 大学教員・教育支援者の構成</b> . . . . .	
1 大学教員 . . . . .	5
(1) 専任教員	
(2) 本務教員	
2 事務職員 . . . . .	6
(1) 現員数	
(2) 研修状況	
<b>第4章 教育活動</b> . . . . .	
1 学生の受入 . . . . .	8
(1) 入学者選抜の実施状況	
2 学生数 . . . . .	10
(1) 在籍者数	
(2) 定員の充足状況	
(3) 休学者数、退学者数、除籍者数、留年者数	
(4) 卒業者数、修了者数	
3 教育課程 . . . . .	16
(1) 単位認定の実施状況	
(2) インターンシップの実施状況	
(3) 子どもキャンパスプロジェクトの実施状況	
(4) 教科横断探求コース	
(5) 教員免許状取得プログラム	
4 学習成果 . . . . .	21
(1) 教育職員免許状及び保育士の資格取得状況	
5 学生支援 . . . . .	22
(1) 相談体制	
(2) 修学支援	
(3) 経済支援	
(4) 生活支援	
6 学生生活 . . . . .	28
(1) 課外活動の状況	
(2) 大学祭、子どもまつり開催状況	
7 卒業者・修了者の進路・就職の状況 . . . . .	29
(1) 進路・就職状況	
(2) 教員就職の状況	
8 FD活動 . . . . .	31
9 未来基金を活用した活動 . . . . .	32

<b>第5章 研究活動</b>	.....	
1 学長裁量経費等の採択状況	.....	35
2 外部研究資金獲得状況	.....	37
(1) 科学研究費助成事業		
(2) 受託研究、共同研究、受託事業		
(3) 寄附金		
3 研究成果の公表とその現状	.....	39
(1) 研究者総覧システム		
(2) 学術情報リポジトリ		
(3) 愛知教育大学出版会		
(4) アカデミックカフェの実施		
<b>第6章 地域連携・社会貢献</b>	.....	
1 公開講座	.....	40
2 教員研修	.....	40
3 非正規学生の受入状況	.....	40
4 相談事業	.....	41
(1) こころの支援研究部門		
(2) そだちの支援研究部門		
5 ボランティア活動	.....	42
6 教育機関等との連携・協定	.....	42
<b>第7章 国際交流</b>	.....	
1 留学生の受入状況	.....	43
(1) 外国人留学生在籍者		
(2) 留学生支援		
2 在学生の海外留学	.....	44
3 国際学術交流協定締結校	.....	45
(1) 締結状況		
(2) 単位互換		
(3) 研究者等の受入状況		
4 大学間交流行事	.....	46
5 外国人教員の採用状況	.....	46
<b>第8章 附属施設の概要</b>	.....	
1 附属図書館	.....	47
2 教職キャリアセンター	.....	49
(1) 教科教育学研究部門		
(2) 教育支援専門職研究部門		
(3) ICT活用等普及推進統括部門		
(4) 教員研修部門		
3 教育研究創成センター	.....	51
(1) 実践教育研究部門		
(2) FD開発部門		
4 教育臨床総合センター	.....	52
5 国際交流センター	.....	52
6 地域連携センター	.....	53
(1) 講師派遣依頼		
(2) 協定の締結状況		
(3) 公開講座		
(4) 高校訪問授業		
(5) その他の実施イベント		
(6) 発行物		
7 科学・ものづくり教育推進センター	.....	54
(1) 科学ものづくりフェスタ		
(2) 訪問科学実験		
(3) ものづくり教室		
(4) その他の実施イベント		
8 健康支援センター	.....	55
9 ICT教育基盤センター	.....	55

10	キャリア支援センター	56
	(1) 支援体制	
	(2) 支援プログラム	
11	日本語教育支援センター	57
	(1) 外国人児童生徒学習支援への学生派遣	
	(2) センター主催研修会	
	(3) 委員委嘱及び講師派遣依頼	
	(4) 教材一覧	
	(5) その他の実施イベント	
12	インクルーシブ教育推進センター	60
<b>第9章 附属学校</b>		
1	附属学校の活動状況	61
	附属学校部の組織図、附属学校規模	
	(1) 附属幼稚園	
	(2) 附属名古屋小学校	
	(3) 附属岡崎小学校	
	(4) 附属名古屋中学校	
	(5) 附属岡崎中学校	
	(6) 附属高等学校	
	(7) 附属特別支援学校	
2	今年度の取組状況	80
	(1) 教育課題、研究活動	
	(2) 連携事業	
	(3) 教職員の安全対策向上を図る取組状況	
<b>第10章 施設・設備</b>		
1	施設整備の状況	82
	(1) 教育研究活動に必要な施設・設備の状況	
	(2) 耐震化等の整備状況	
	(3) 自主的学習環境スペースの整備状況	
	(4) ICT環境の整備状況	
2	中期的視点における施設整備計画	87
3	その他の施設・設備	88
<b>第11章 財務状況</b>		
<b>第12章 自己点検評価及び教育情報の公表</b>		
1	自己点検評価	92
2	評価結果に対する改善	92
3	教育情報の公表状況	92
<b>第13章 危機管理</b>		
1	危機管理に対する整備状況	92
	(1) 防災ハンドブック	
	(2) 緊急地震速報システム	
	(3) 安否確認システム	

## 別添資料

愛知教育大学 大学概要2024-2025

愛知教育大学未来共創プラン リーフレット

愛知教育大学 キャンパスマスタープラン2022

愛知教育大学 インフラ長寿命化計画(行動計画)(令和3年度～令和7年度年)

愛知教育大学 インフラ長寿命化計画(個別施設計画 2022)

令和6事業年度 財務諸表

## 第1章 大学の使命・目的

### 1 目的

#### (1) 愛知教育大学憲章

本学ウェブサイト参照

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/outline/charter.html>

#### (2) ミッションの再定義

文部科学省ウェブサイト参照

[https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/afieldfile/2013/12/18/1342091\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/12/18/1342091_2.pdf)

#### (3) アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

本学ウェブサイト参照

アドミッション・ポリシー <https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/outline/policy.html>

カリキュラム・ポリシー <https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/outline/policy.html>

ディプロマ・ポリシー <https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/outline/policy.html>

### 2 愛知教育大学 未来共創プラン

別添資料「愛知教育大学未来共創プラン リーフレット」を参照

### 3 中期目標・中期計画

本学ウェブサイト参照（第4期中期目標期間「法人評価」の表中、「中期目標・中期計画」）

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/corporative/hyoka.html>

### 4 沿革

別添資料「愛知教育大学 大学概要2024-2025」の「沿革」を参照

## 第2章 管理運営体制

### 1 運営組織（役員名簿）

別添資料「愛知教育大学 大学概要2024-2025」の「役職員」を参照

### 2 教育組織

別添資料「愛知教育大学 大学概要2024-2025」の「組織（教育組織）」を参照

### 3 研究組織（教員組織）

別添資料「愛知教育大学 大学概要2024-2025」の「組織（研究組織）」を参照

### 4 事務組織

別添資料「愛知教育大学 大学概要2024-2025」の「組織（事務組織）」を参照

第3章 大学教員・教育支援者の構成

1 大学教員

(1) 専任教員

ア 教育学部

令和6年5月1日現在 (単位:人)

課程	大学設置基準上の必要教員数	専任教員数							入学定員	教員1人当たり学生数
		特別教授	教授	特別准教授	准教授	講師	助教	計		
学校教員養成課程	27	14	70	1	53	11	8	157	729	4.6
教育支援専門職養成課程	9	1	11	0	8	5	1	26	130	5.0
全収容定員に応じた教員数	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	69	15	81	1	61	16	9	183	859	4.7

\* 特別支援教育特別専攻科担当教員を含む。

イ 大学院教育学研究科 (教育実践高度化専攻)

令和6年5月1日現在 (単位:人)

専攻	専門職大学院設置基準上の必要教員数			専任教員数						入学定員	教員1人当たり学生数
	教授	実務家	計	教授	准教授	講師	みなし専任	計	実務家		
教育実践高度化専攻	うち、みなし専任10人以内			34	15	0	0	49	22	120	2.4
	うち、専任算入教員 (専他教員) ※現員 - 8名以内			28	12	0	0	40	13	-	-

ウ 大学院教育学研究科 (教育支援高度化専攻、共同教科開発学専攻)

令和6年5月1日現在 (単位:人)

専攻	大学院設置基準上の必要教員数			専任教員配置状況			入学定員	研究指導教員1人当たり学生数
	研究指導教員	研究指導補助教員	基準計	研究指導教員	研究指導補助教員	計		
教育支援高度化専攻 (修士課程)	3	3	6	18	8	26	30	1.7
共同教科開発学専攻 (後期3年のみの博士課程)	3	3	6	9	4	13	4	0.4

(2) 本務教員

令和6年5月1日現在 (単位:人)

	合計			特別教授			教授			特別准教授			准教授			講師			助教			特別助手			助手				
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
教育組織	143	54	197	14	2	16	74	14	88	1		1	41	25	66	9	7	16	4	5	9						1	1	
教育学部	133	48	181	13	2	15	68	13	81	1		1	38	22	60	9	6	15	4	5	9								
大学院教育学研究科	8	1	9	1		1	5		5				2	1	3														
教職キャリアセンター	1	2	3										1	1	2			1	1										
健康支援センター	1	2	3				1	1	2					1	1														
日本語教育支援センター		1	1																									1	1
研究組織	143	54	197	14	2	16	74	14	88	1		1	41	25	66	9	7	16	4	5	9						1	1	
教育科学系	45	29	74	3	1	4	21	10	31				18	11	29	3	6	9		1	1								
人文社会科学系	28	9	37	5		5	10		10				8	6	14	4	1	5	1	1	2						1	1	
自然科学系	42	4	46	3		3	28	1	29	1		1	7	3	10	2		2	1		1								
創造科学系	28	12	40	3	1	4	15	3	18				8	5	13				2	3	5								
全体に占める男女比 (%)	72.6	27.4																											

\* 正規・常勤の大学教員(休職者・長期研修者含む)の人数を1つの主たる本務先に計上  
複数の所属先への計上はない。

2 事務職員

(1) 現員数

令和6年5月1日現在 (単位:人)

	事務系職員 本務者 (休職者等含む。代替職員は含まない。)																											
	合計			事務局長		部長		課長		副課長		参与		係長		主任		係員		その他								
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計							
合計	84	67	151				3	3	10	2	12	13	7	20	1	1	31	19	50	3	6	9	23	32	55	1	1	
事務局長	(1)	(1)	(1)	(1)																								
事務局	1		1												1	1												
総務・企画部	30	23	53				1	1	3	1	4	8	2	10			13	6	19	2	2	5	12	17				
部長	1		1				1	1																				
総務課	4	3	7						1	1	1	1	1	2			1	2	3			1	1					
企画課	6	8	14						1	1	4	4					3	3	2	2	1	3	4					
広報課	2	2	4								1	1									1	2	3					
人事労務課	8	5	13						1	1	2	2					4	1	5			1	4	5				
附属学校課	1	3	4							1	1	1	1				1	1				1	1					
附属幼稚園																												
附属名古屋小学校	1	1	2														1	1				1	1					
附属岡崎小学校	2		2														1	1				1	1					
附属名古屋中学校	1		1														1	1										
附属岡崎中学校	2	1	3														2	2					1	1				
附属高等学校	1		1														1	1										
附属特別支援学校	1		1														1	1										
財務・学術部	28	21	49				1	1	3	1	4	3	3	6			9	8	17	2	3	5	10	6	16			
部長	1		1				1	1																				
財務課	10	6	16						1	1	1	1	1				3	3	6			5	3	8				
施設課	7	4	11						1	1	1	1	1	2			1	1	2	2	4	2	1	3				
学術研究支援課	2	3	5						1	1	1	1	1				1	1				2	2					
教育科学系担当係	1		1														1	1										
人文社会科学系担当係	1		1														1	1										
自然科学系担当係	1		1																			1	1					
創造科学系担当係	1		1														1	1										
図書館運営室	1	6	7									1	1				1	4	5	1	1							
地域連携課	3	2	5						1	1	1	1	1				1	1				2	2					
学務部	25	23	48				1	1	4	4	2	2	4				9	5	14	1	1	2	8	14	22	1	1	
部長	1		1				1	1																				
教務企画課	10	11	21						1	1	1	1					5	3	8	1	1	3	7	10				
学生支援課	3	7	10						1	1	1	1					1	1	2			1	4	5	1	1		
国際企画課		3	3									1	1									2	2					
キャリア支援課	5	1	6						1	1							2	2				2	1	3				
入試課	6	1	7						1	1	1	1					1	1	2	1	1	2	2					

- \* 本務者は正規・常勤の職員数。(休職者は含むが、それに伴う代替職員は含まない。) 職務等を兼ねる場合でも1つの主たる本務先のみを計上し、複数の所属先への計上は無い。
- ただし、理事が兼務する事務局長は( )で表示し、合計には集計しない。
- \* 人事交流者は、本学に籍のある者を計上(他大学等へ出向中であっても本学に籍がある者は計上し、交流受入者等で現に本学で勤務していても転出元に籍がある者は計上しない。)
- \* 代替職員は、産休、休職、育休、長期研修等に伴い採用された者で、正規・常勤の者を計上(代替職員の休職者は含まない。)
- \* 監査室は、総務課に含む。
- \* 副課長には、室長・専門員を含み、係長には、専門職員・専門職員(再雇用)を含む。

## (2) 研修状況

令和6年度事務系職員研修状況

研修会名	開催期間	研修形式	受講者数
令和6年度採用職員研修	R6/04/01(月)	対面式	11人
令和5・6年度若手職員研修(R6年開催)	R6/04/01(月) - 10/31(木)	対面式	6人
令和6・7年度若手職員研修(R6年開催)	R6/04/01(月) - 10/31(木)	対面式	8人
令和6年度新人職員研修	R6/04/12(金) - 09/30(月)	対面式	8人
新人職員向け法人文書研修	R6/04/25(木)	対面式	8人
オンライン英語学習「Reallyenglish:EZ to Talk2」	R6/06/03(月) - 03/31(月)	メディア形式	2人
令和6年度コンプライアンス研修	R6/06/03(月) - 02/28(金)	メディア形式	139人
ハラスメント防止研修(パワハラ)	R6/06/03(月) - 02/28(金)	メディア形式	139人
FD・SD研修会「学修者本位の大学づくりー施設の利用方法の改善と学生・院生の居場所づくりー」	R6/07/03(水) - 07/03(水)	対面式	23人
危機管理セミナー	R6/07/08(月)	対面式	57人
研究費不正使用防止に係る説明会	R6/07/17(水) - 07/22(月)	対面式	2人
科研費申請書類添削に係る事務SD研修	R6/07/20(土) - 09/10(火)	対面式	12人
英語e-learning教材 ALC Net Academy NEXT	R6/09/30(月) - 03/03(月)	メディア形式	2人
全学FD「学生のICT活用指力向上に向けて③ー教職課程における課題と取組を中心にー」	R6/10/23(水) - 10/23(水)	対面式	4人
全学FD「学生のニーズと修学支援方法ー発達障害・精神疾患等の事例を中心にー」	R6/10/30(水)	対面式	25人
法人文書管理研修(e-ラーニング)	R6/11/14(木) - 12/27(金)	メディア形式	114人
全学FD講演会「学修成果をどのように授業改善・カリキュラム改善に結びつけるか」	R6/11/27(水)	対面式	11人
全学FD講演会「外国にルーツを持つ子ども達への教育の必要性を大学全体で認識する part2」	R7/01/08(水)	対面式	7人
研究倫理e-ラーニングコース「eL-CoRE」	R7/01/04(土) - 03/15(土)	メディア形式	24人
個人情報保護セミナー	R7/01/16(木) - 02/28(金)	メディア形式	61人
FD・SD教職学協働プロジェクト「学生・院生の居場所づくり検討チーム報告会&次年度への挑戦」	R7/02/12(水)	対面式	14人
文部科学書関係機関職員行政実務研修	R6/04/01(月) - 03/31(月)		1人
情報システム統一研修(第1四半期)	R6/05/13(月) - 06/28(金)	メディア形式	3人
東海地区国立大学法人等職員基礎研修	R6/05/16(木) - 05/17(金)	対面式	3人
公文書管理研修I	R6/06/25(火) - 10/23(水)	メディア形式	4人
東海地区国立大学法人等係長研修	R6/07/18(木) - 07/19(金)	対面式	3人
情報システム統一研修(第2四半期)	R6/07/22(月) - 09/27(金)	メディア形式	1人
国立大学法人等部課長級研修(国大協)	R6/07/25(木) - 07/26(金)	対面式	1人
公文書管理研修II	R6/09/02(月) - 11/06(水)	メディア形式	5人
東海地区国立大学法人等中堅職員研修	R6/09/05(木) - 09/06(金)	対面式	10人
東海地区国立大学法人等新任課長補佐研修	R6/09/19(木) - 09/20(金)	対面式	3人
東海地区国立大学法人等リーダーシップ研修	R6/09/26(木) - 09/27(金)	対面式	4人
令和6年度国立大学法人等情報化要員研修	R6/10/02(水) - 11/12(火)	メディア形式	6人
国立大学法人若手職員勉強会	R6/12/03(火) - 12/04(水)	対面式	1人
情報セキュリティセミナー	R7/02/12(水) - 03/31(月)	メディア形式	108人
放送大学利用職員研修(1学期)	R6/04/01(月) - 09/30(月)	メディア形式	8人
放送大学利用職員研修(2学期)	R6/10/01(火) - 03/31(月)	メディア形式	14人
女性管理職養成セミナー	R6/10/24(木) - 01/30(木)	対面式	2人
女性管理職養成セミナー	R6/10/24(木) - 01/30(木)	メディア形式	2人

## 第4章 教育活動

## 1 学生の受入

## (1) 入学者選抜の実施状況

令和7年度教育学部入学者選抜

(単位：人)

区分	入学定員	志願者		受験者		合格者	入学者	充足率
			倍率		倍率			
教育学部	859	3,359	3.91	2,288	2.66	941	904	105.2%
学校教員養成課程	729	2,812	3.86	1,968	2.70	792	767	105.2%
幼児教育専攻	30	190	6.33	137	4.57	34	31	103.3%
義務教育専攻	555	1,962	3.54	1,384	2.49	602	586	105.6%
学校教育科学専修	30	123	4.10	85	2.83	34	30	100.0%
生活・総合専修	10	18	1.80	17	1.70	11	11	110.0%
ICT活用支援専修	20	32	1.60	29	1.45	22	21	105.0%
日本語支援専修	23	118	5.13	88	3.83	26	26	113.0%
国語専修	60	219	3.65	151	2.52	65	64	106.7%
社会専修	71	256	3.61	168	2.37	76	76	107.0%
算数・数学専修	76	305	4.01	210	2.76	82	80	105.3%
理科専修	84	286	3.40	197	2.35	90	87	103.6%
音楽専修	30	101	3.37	60	2.00	32	31	103.3%
図画工作・美術専修	30	101	3.37	77	2.57	34	31	103.3%
保健体育専修	60	246	4.10	183	3.05	65	64	106.7%
ものづくり・技術専修	15	27	1.80	26	1.73	15	15	100.0%
家庭専修	30	86	2.87	52	1.73	32	32	106.7%
英語専修	16	44	2.75	41	2.56	18	18	112.5%
高等学校教育専攻	74	339	4.58	228	3.08	82	78	105.4%
国語・書道専修	10	45	4.50	27	2.70	11	10	100.0%
地歴・公民専修	9	56	6.22	42	4.67	9	9	100.0%
数学専修	14	86	6.14	57	4.07	16	14	100.0%
理科専修	24	86	3.58	56	2.33	27	26	108.3%
英語専修	17	66	3.88	46	2.71	19	19	111.8%
特別支援教育専攻	30	153	5.10	109	3.63	32	31	103.3%
養護教育専攻	40	168	4.20	110	2.75	42	41	102.5%
教育支援専門職養成課程	130	547	4.21	320	2.46	149	137	105.4%
心理コース	50	196	3.92	127	2.54	57	54	108.0%
福祉コース	20	109	5.45	66	3.30	22	21	105.0%
教育ガバナンスコース	60	242	4.03	127	2.12	70	62	103.3%

\* 全ての入試（前期、後期、総合型(一般受験者対象)、総合型(帰国子女対象)、総合型(外国人留学生対象)、学校推薦型)の合計で、第2年次編入学は除く。( )は外国人留学生を示し、内数。

倍率は志願者、受験者に外国人留学生を含まない。充足率は入学者に外国人留学生を含む。

合格者、入学者に追加合格者を含む。

令和7年度第2年次編入学（学校教員養成課程）

(単位：人)

区分	募集人員	志願者		受験者		合格者	入学者
			倍率		倍率		
教育学部	8	6	0.75	4	0.50		
学校教員養成課程	8	6	0.75	4	0.50		
義務教育専攻	-	4		2			
ICT活用支援専修	-	1					
算数・数学専修	-	2		2			
理科専修	-						
ものづくり・技術専修	-	1					
高等学校教育専攻	-	2		2			
数学専修	-	2		2			
理科専修	-						

令和7年度大学院教育学研究科入学者選抜

(単位：人)

区分	入学定員	志願者		受験者		合格者	入学者	充足率
			倍率		倍率			
教育学研究科（本学分）	154	177 (15)	1.13	168 (14)	1.07	128 (14)	117 (11)	76.0%
専門職学位課程	120	104	0.87	102	0.85	90	84	70.0%
教育実践高度化専攻	120	104	0.87	102	0.85	90	84	70.0%
学校マネジメント	－	9		9		9	9	
教科指導重点	－	76		74		69	63	
児童生徒発達支援	－	15		15		10	10	
地域・教育課題解決	－	4		4		2	2	
修士課程	30	68 (12)	2.27	61 (11)	2.03	33 (11)	28 (8)	93.3%
教育支援高度化専攻	30	68 (12)	2.27	61 (11)	2.03	33 (11)	28 (8)	93.3%
臨床心理学	－	53		47		19	17	
教育ガバナンスキャリア	－	3		3		3	3	
日本型教育グローバル	－	12 (12)		11 (11)		11 (11)	8 (8)	
後期3年博士課程	4	5 (3)	0.50	5 (3)	0.50	5 (3)	5 (3)	125.0%
共同教科開発学専攻	4	5 (3)	0.50	5 (3)	0.50	5 (3)	5 (3)	125.0%
愛知教育大学	4	5 (3)	0.50	5 (3)	0.50	5 (3)	5 (3)	125.0%

\* ( ) は外国人留学生を内数で示す。

博士課程の倍率は、志願者、受験者に外国人留学生を含まない。（教育学研究科の倍率には、博士課程の外国人留学生の志願者、受験者を除く。）充足率は入学者に外国人留学生を含む。

\* 志願者倍率(倍) = 志願者 ÷ 入学定員（博士課程の志願者に外国人留学生を含まない。）

\* 入学定員充足率(%) = 入学者 ÷ 入学定員（入学者に外国人留学生を含む。）

令和6年度大学院教育学研究科入学者選抜（秋季入学）

(単位：人)

区分	募集人員	志願者		受験者		合格者	入学者
			倍率		倍率		
教育学研究科（本学分）		1	－	1		1	1
専門職学位課程			－				
教育実践高度化専攻			－				
学校マネジメント			－				
教科指導重点			－				
児童生徒発達支援			－				
地域・教育課題解決			－				
修士課程		1	－	1		1	1
教育支援高度化専攻		1	－	1		1	1
日本型教育グローバル		1	－	1		1	1

\* 募集人員は募集要項に記載の人数、若干名募集の場合は空白。

令和7年度特別支援教育特別専攻科入学者選抜

(単位：人)

区分	入学定員	志願者		受験者		合格者	入学者	充足率
			倍率		倍率			
特別支援教育特別専攻科	30	22	0.73	22	0.73	21	19	63.3%
特別支援教育専攻（1次募集）	30	22	0.73	22	0.73	21	19	63.3%

\* 志願者倍率(倍) = 志願者 ÷ 入学定員

\* 入学定員充足率(%) = 入学者 ÷ 入学定員

## 2 学生数

## (1) 在籍者数

令和6年5月1日 現在 (単位:人)

	収容 定員	在籍者数					社会人	うち教員	充足率
		計	1年	2年	3年	4年			
教育学部	3,460	3,721	907	905	904	1,005			107.5%
学校教員養成課程	2,940	3,081	773	771	772	765			104.8%
幼児教育専攻	2,940	122	30	31	30	31			
義務教育専攻		2,338	587	587	584	580			
高等学校教育専攻		321	81	80	81	79			
特別支援教育専攻		129	33	31	33	32			
養護教育専攻		171	42	42	44	43			
教員養成課程(旧)			96	-	-	-	96		
初等教育教員養成課程(旧)	-	47	-	-	-	47			
中等教育教員養成課程(旧)	-	41	-	-	-	41			
特別支援学校教員養成課程(旧)	-	6	-	-	-	6			
養護教諭養成課程(旧)	-	2	-	-	-	2			
教育支援専門職養成課程	520	543	134	134	132	143			104.4%
教育支援専門職養成課程	520	543	134	134	132	143			104.4%
現代学芸課程(旧)	-	1	-	-	-	1			-
現代学芸課程(旧)	-	1	-	-	-	1			-
教育学研究科(本学分)	312	235	100	120	15		76	47	75.3%
専門職学位課程:教職大学院	240	147	69	78	-	-	48	44	61.3%
教育実践高度化専攻	240	147	69	78	-	-	48	44	61.3%
修士課程	60	64	27	37	-	-	8		-
教育支援高度化専攻	60	63	27	36	-	-	7	0	105.0%
発達教育科学専攻(旧)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別支援教育科学専攻(旧)	-	1	-	1	-	-	1	0	-
養護教育専攻(旧)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校教育臨床専攻(旧)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
理科教育専攻(旧)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芸術教育専攻(旧)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
後期3年博士課程	12	24	4	5	15	-	20	3	200.0%
共同教科開発学専攻 愛知教育大学	12	24	4	5	15	-	20	3	200.0%
教育実践研究科(旧教職大学院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教職実践専攻(旧)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別支援教育特別専攻科	30	27	27	-	-	-	6	6	90.0%
特別支援教育専攻	30	27	27	-	-	-	6	6	90.0%

\* 本表は外国人留学生を含む。

令和3(2021)年に教育学部を改組し、新たに学校教員養成課程を設置した。

\* 収容定員充足率(%) = 在籍者 ÷ 収容定員 (第4期中期目標期間の業務実績評価で用いられる基準: 90%以上)

## (2) 定員の充足状況

## ア 入学定員充足率

令和6年5月1日現在

学部	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	入学定員に対する平均比率
初等教育教員養成課程【旧】	入学者数	472	-	-	-	-	104%
	入学定員	455	-	-	-	-	
	入学定員充足率	104%	-	-	-	-	
中等教育教員養成課程【旧】	入学者数	228	-	-	-	-	109%
	入学定員	210	-	-	-	-	
	入学定員充足率	109%	-	-	-	-	
特別支援学校教員養成課程【旧】	入学者数	31	-	-	-	-	103%
	入学定員	30	-	-	-	-	
	入学定員充足率	103%	-	-	-	-	
養護教諭養成課程【旧】	入学者数	42	-	-	-	-	105%
	入学定員	40	-	-	-	-	
	入学定員充足率	105%	-	-	-	-	
学校教員養成課程【新】	入学者数	-	764	773	767	773	106%
	入学定員	-	729	729	729	729	
	入学定員充足率	-	105%	106%	105%	106%	
教育支援専門職養成課程【新】	入学者数	134	133	133	134	134	103%
	入学定員	130	130	130	130	130	
	入学定員充足率	103%	102%	102%	103%	103%	

令和6年10月1日現在

大学院	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	入学定員に対する平均比率
教育学研究科 専門職学位課程(教職大学院)【新】	入学者数	88	72	67	69	69	61%
	入学定員	120	120	120	120	120	
	入学定員充足率	73%	60%	56%	58%	58%	
教育学研究科 修士課程【新】	入学者数	20	39	25	33	27	96%
	入学定員	30	30	30	30	30	
	入学定員充足率	67%	130%	83%	110%	90%	
後期3年のみ の博士課程	入学者数	4	5	4	5	4	110%
	入学定員	4	4	4	4	4	
	入学定員充足率	100%	125%	100%	125%	100%	

\* 入学定員充足率(%)= 入学者 ÷ 入学定員 (入学者に外国人留学生を含む。)

\* 入学定員に対する平均比率 (%) = 過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したもの  
(大学機関別認証評価で用いられる基準: 70%以上130%未満)

\* 後期3年のみ博士課程には、静岡大学分を含まない。

イ 収容定員超過率

令和6年度

令和6年5月1日現在（単位：人、％）

学部・研究科	収容定員 A	収容数 B	収容数(B)のうち										超過率算 定の対象 となる在 学者数 M=B- (D+E+F +G+I+J +L)	定員超過 率 N=M÷A× 100
			外国人留 学生数 C	外国人留学生(C)のうち			休学者数 G	留年者数 H	留年者数 (H)のう ち、修業 年限を超 える在籍 期間が2 年以内の 者の数 I	小・中学 校教員免 許状取得 プログラ ム学生数 J	長期履修 学生数 K	長期履修 学生に係 る控除数 L		
				国費留学 生数 D	外国政府 派遣留学 生数 E	大学間交 流協定等 に基づく 留学生等 数 F								
教育学部	3,460	3,721	1	0	0	0	47	93	76	-	-	-	3,598	104.0%
教育学研究科														
専門職学位課程	240	147	0	0	0	0	3	0	0	6	6	2	136	56.7%
修士課程	60	64	17	2	0	0	1	2	1	-	4	1	59	98.3%
後期3年博士課程	12	24	6	2	0	0	4	7	5	-	7	1	12	100.0%
定員超過率（N）が110%を上回る主な理由														

\* 「国立大学法人の第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」別添2 定員超過率の算定方法により算出する（定員超過率の上限値110%）。

（参考）「令和5年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について（令和5年2月3日、4文科高第1622号）」の基準定員超過率は110%。

\* 本表における留年者数（H）は、「国立大学法人の第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領」別添2 定員超過率を算出する際の数値に基づき、履修年限超過者から外国人留学生である留年者と休学中の留年者を除いた数値で算出している。

\* 長期履修学生に係る控除数（L）は、長期履修学生数から、履修年限が同一の期間である長期履修学生数ごとに修業年限を履修する年限で除した数（小数点第3位切捨て）を乗じて算出した数の合計数（小数点第1位切上げ）を減じた数とする。

\* 小・中学校教員免許状取得プログラムの修業年限は3年。小・中学校教員免許状取得プログラム学生数（J）は修業年限3年以内で2年を超えて在籍する学生数。

## (3) 休学者数、退学者数、除籍者数、留年者数

(単位：人、%)

学部	R6/5/1現在			R6/4/1 ~ R7/3/31					
	在籍者	留年者	休学者	休学者		退学者		除籍者	
				人数	比率	人数	比率	人数	比率
教育学部	3,721	108	47	65	1.7%	19	0.5%	4	0.1%
1年	907	—	0	2	0.2%	5	0.6%	0	0.0%
2年	905	—	1	4	0.4%	1	0.1%	0	0.0%
3年	904	—	3	7	0.8%	2	0.2%	1	0.1%
4年	1,005	108	43	52	5.2%	11	1.1%	3	0.3%
学校教員養成課程	3,081	0	29	41	1.3%	10	0.3%	0	0.0%
1年	773	—	0	2	0.3%	5	0.6%	0	0.0%
2年	771	—	1	3	0.4%	1	0.1%	0	0.0%
3年	772	—	2	5	0.6%	1	0.1%	0	0.0%
4年	765	—	26	31	4.1%	3	0.4%	0	0.0%
教員養成課程(旧)	96	96	14	17	17.7%	8	8.3%	3	3.1%
1年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4年	96	96	14	17	17.7%	8	8.3%	3	3.1%
教育支援専門職養成課程	543	11	4	7	1.3%	1	0.2%	1	0.2%
1年	134	—	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2年	134	—	0	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
3年	132	—	1	2	1.5%	1	0.8%	1	0.8%
4年	143	11	3	4	2.8%	0	0.0%	0	0.0%
現代学芸課程(旧)	1	1	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4年	1	1	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
休学・退学・除籍の理由				65		19		4	
経済事情				5		1		0	
家庭の事情				1		1		0	
一身上の都合				30		0		0	
私費留学				16		0		0	
傷病				13		1		0	
方針変更				0		16		0	
授業料未納				0		0		4	
死亡又は行方不明				0		0		0	
その他				0		0		0	

第4章 教育活動

(単位：人、%)

大学院	R6/5/1現在			R6/4/1 ~ R7/3/31					
	在籍者	留年者	休学者	休学者		退学者		除籍者	
				人数	比率	人数	比率	人数	比率
教育学研究科 修士課程	64	3	1	1	1.6%	1	1.6%	0	0.0%
1年	27	-	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2年	37	3	1	1	2.7%	1	2.7%	0	0.0%
教育学研究科 専門職学位課程	147	1	3	4	2.7%	2	1.4%	0	0.0%
1年	69	-	0	1	1.4%	1	1.4%	0	0.0%
2年	78	1	3	3	3.8%	1	1.3%	0	0.0%
教育実践研究科	0	0	0	0		0		0	
1年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
休学・退学・除籍の理由				5		3		0	
経済事情				0		0		0	
家庭の事情				1		1		0	
一身上の都合				3		0		0	
私費留学				0		0		0	
傷病				1		0		0	
方針変更				0		2		0	
授業料未納				0		0		0	
死亡又は行方不明				0		0		0	
その他				0		0		0	

(単位：人、%)

大学院 教育学研究科 博士課程	R6/5/1現在			R6/4/1 ~ R7/3/31					
	在籍者	留年者	休学者	休学者		退学者		除籍者	
				人数	比率	人数	比率	人数	比率
愛知教育大学	24	10	4	6	25.0%	0	0.0%	0	0.0%
1年	4	-	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2年	5	-	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3年	15	10	4	6	40.0%	0	0.0%	0	0.0%
休学・退学・除籍の理由				6		0		0	
経済事情				0		0		0	
家庭の事情				2		0		0	
一身上の都合				3		0		0	
私費留学				0		0		0	
傷病				1		0		0	
方針変更				0		0		0	
授業料未納				0		0		0	
死亡又は行方不明				0		0		0	
その他				0		0		0	

(単位：人、%)

専攻科	R6/5/1現在			R6/4/1 ~ R7/3/31					
	在籍者	留年者	休学者	休学者		退学者		除籍者	
				人数	比率	人数	比率	人数	比率
特別支援教育特別専攻科	27	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

\* 本表における留年者数は、休学中の留年者を含んだ数値で記載している。

## (4) 卒業者数、修了者数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	卒業・修了月	
						9月	3月
<b>教育学部</b>	<b>907</b>	<b>880</b>	<b>875</b>	<b>887</b>	<b>882</b>	<b>5</b>	<b>877</b>
学校教員養成課程	0	0	0	0	699	0	699
幼児教育専攻	－	－	－	－	31	0	31
義務教育専攻	－	－	－	－	533	0	533
高等学校教育専攻	－	－	－	－	67	0	67
特別支援教育専攻	－	－	－	－	25	0	25
養護教育専攻	－	－	－	－	43	0	43
教員養成課程	757	751	745	755	56	5	51
初等教育教員養成課程	471	457	467	464	29	3	26
中等教育教員養成課程	210	219	209	220	23	2	21
特別支援学校教員養成課程	34	33	30	28	3	0	3
養護教諭養成課程	42	42	39	43	1	0	1
教育支援専門職養成課程	130	123	129	130	126	0	126
教育支援専門職養成課程	130	123	129	130	126	0	126
現代学芸課程	20	6	1	2	1	0	1
現代学芸課程	20	6	1	2	1	0	1
<b>教育学研究科</b>	<b>79</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>103</b>	<b>101</b>	<b>0</b>	<b>101</b>
専門職学位課程	－	67	60	74	67	0	67
教育実践高度化専攻	－	67	60	74	67	0	67
修士課程	75	31	39	25	32	0	32
教育支援高度化専攻	－	18	35	25	32	0	32
発達教育科学専攻	19	7	2	0	－	－	－
特別支援教育科学専攻	2	1	0	0	0	0	0
養護教育専攻	1	1	－	－	－	－	－
学校教育臨床専攻	9	1	－	－	－	－	－
国語教育専攻	5	－	－	－	－	－	－
英語教育専攻	4	－	－	－	－	－	－
社会科教育専攻	5	－	－	－	－	－	－
数学教育専攻	8	－	－	－	－	－	－
理科教育専攻	6	2	2	－	－	－	－
芸術教育専攻	8	1	0	0	－	－	－
保健体育専攻	6	－	－	－	－	－	－
家政教育専攻	0	－	－	－	－	－	－
技術教育専攻	2	－	－	－	－	－	－
後期3年博士課程	4	2	1	4	2	0	2
共同教科開発学専攻	4	2	1	4	2	0	2
<b>教育実践研究科 教職実践専攻</b>	<b>41</b>	<b>8</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
教職実践基礎領域	25	8	1	－	－	－	－
教職実践応用領域	16	－	－	－	－	－	－
<b>特別支援教育特別専攻科</b>	<b>29</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>27</b>	<b>27</b>	<b>0</b>	<b>27</b>
特別支援教育専攻	29	32	33	27	27	0	27

## 3 教育課程

## (1) 単位認定の実施状況

教育学部

① 入学前の既修得単位の認定							
認定者数	1～4 単位	5～9 単位	10～14 単位	15～19 単位	20 単位以上		
3	3	0	0	0	0		
② 大学以外の教育施設等における学修の単位認定							
認定者数	1単位	2単位	3単位	4単位	英検	TOEFL	TOEIC
14	6	3	5	0	3	0	11
③ 海外留学中に修得した単位の認定							
認定者数	1～4 単位	5～9 単位	10～14 単位	15～19 単位	20 単位以上		
0	0	0	0	0	0		
④ 単位互換に関する包括協定により修得した単位の認定							
認定者数	1単位	2単位	3単位	4単位	5単位以上		
3	0	2	0	0	1		

\* 海外に留学して履修した授業科目や他大学等において履修した授業科目については、60単位を超えない範囲で本学において履修したものとみなしている（学則第69条～第71条）。

\* 特に、「英語コミュニケーション」及び「外国語科目」については、大学以外の教育施設等における学修の単位認定を認めている。

大学院（教育学研究科（専門職学位・修士課程）及び教育実践研究科（教職大学院））

① 他の大学院において履修した授業科目の認定											
教育学研究科（専門職学位）			教育学研究科（修士課程）			教育実践研究科（教職大学院）					
認定者数	1～5 単位	6～10 単位	認定者数	1～5 単位	6～10 単位	認定者数	1～5 単位	6～10 単位			
0	0	0	0	0	0	-	-	-			
② 入学前の既修得単位の認定											
教育学研究科（専門職学位）			教育学研究科（修士課程）			教育実践研究科（教職大学院）					
認定者数	1～5 単位	6～10 単位	認定者数	1～5 単位	6～10 単位	認定者数	1～5 単位	6～10 単位			
0	0	0	0	0	0	-	-	-			
③ 実習科目の履修免除に伴う認定（教職大学院のみ）											
教育実践研究科（教職大学院）						教育学研究科（教職大学院）					
教育実践応用領域			教育実践基礎領域			教育実践高度化専攻					
認定者数	他校種 実習	特別課題 実習	多様な フィールド 実習	認定者数	特別課題 実習	多様な フィールド 実習	認定者数	教職力向上 基礎研修	教職力向上 実践研修	探究力向上 実践研修	課題探究力 育成研修
-	-	-	-	-	-	-	18	4	15	3	3

\* 他の大学院における授業科目の履修等及び単位認定については、学則第85条で定めている。入学前の既修得単位の認定については、同第86条で定めている。

\* 教職大学院においては、入学前の教員実務経験等により、実習科目の一部の履修を免除することができる。（学則第87条第6項、教育学研究科専門職学位課程履修規程第8条）

## (2) インターンシップの実施状況

令和6年度インターンシップ実施状況

参加人数 34人

所属	学年	性別	体験先	受入期間	実働日数
<b>学校教員養成課程</b>					
義務教育科学	3	女	豊橋市文化・スポーツ部中央図書館	8/20~8/24	5
義務教育科学	3	男	豊田市地域包括ケア企画課	8/16	1
義務生活総合	3	女	豊橋市文化・スポーツ部中央図書館	8/6~8/10	5
義務日本語	3	女	愛西市上水道課	8/5~8/6	2
義務国語	3	女	豊田市こども・若者政策課	9/6,8,9	3
義務国語	3	女	豊田市こども・若者政策課	8/22	1
義務社会	3	男	尾張旭市生涯学習課	8/3,7,8,27,28	5
義務社会	2	男	豊田市こども・若者政策課	9/6,8,9	3
義務社会	3	女	西尾市商工振興課、農水振興課	9/4,6	2
義務理科	3	女	豊橋市こども未来部こども若者総合相談支援センター	9/19~9/26	5
義務音楽	3	女	小牧市図書館、学校教育課	8/13,14,26	3
義務家庭	3	女	富士市企画課、行政経営課	8/28~8/30	3
義務家庭	3	女	武豊町役場	8/26~8/28	3
高等地歴・公民	3	女	名古屋港管理組合職員課	8/27~8/29	3
<b>教育支援専門職養成課程</b>					
心理コース	3	女	豊橋市文化・スポーツ部中央図書館	9/18~9/22	5
心理コース	1	女	法務省人間科学金沢少年鑑別所	3/4~3/6	3
ガバナンスコース	3	女	知多市企画部秘書広報課	7/8~7/10	3
ガバナンスコース	3	女	知多市環境経済部商工振興課	7/2~7/3	2
ガバナンスコース	3	女	大府市石ヶ瀬児童老人福祉センター	8/26~8/30	5
ガバナンスコース	3	男	名古屋港管理組合職員課	8/27~8/29	3
ガバナンスコース	3	男	名古屋港管理組合職員課	8/27~8/29	3
ガバナンスコース	3	女	田原市福祉部高齢福祉課	8/26~8/30	5
ガバナンスコース	3	女	岐阜県地域スポーツ課	8/19~8/23	5
ガバナンスコース	3	男	小牧市図書館、学校教育課	8/13,9/4,9/5	3
ガバナンスコース	3	女	豊田市こども・若者政策課	9/6,8,9	3
ガバナンスコース	3	女	豊田市こども・若者政策課	9/6,8,9	3
ガバナンスコース	3	女	豊田市こども・若者政策課	8/22	1
ガバナンスコース	3	男	豊田市こども・若者政策課	8/22	1
ガバナンスコース	3	男	豊田市循環型社会推進課	9/25~27,29	4
ガバナンスコース	3	女	愛知県社会活動推進課		
ガバナンスコース	3	男	愛知県総合教育センター		
ガバナンスコース	3	男	愛知県総合教育センター		
ガバナンスコース	3	女	豊橋市上下水道局総務課	8/5~8/9	5
<b>教育学研究科</b>					
教育支援高度化	1	女	群馬県生活こども部児童福祉課	8/19~8/23	5

\* 大学を通じて参加手続したものを集計

\* 受入期間、実働日数については、受入先から大学に日程の通知があった場合のみ記載している。

## (3) 子どもキャンパスプロジェクトの実施状況

令和6年度 実施状況一覧

(単位：人)

プログラム名	対象校種					参加者 定員	実施構成員			
	幼稚園	小学校	中学校	高等 学校	特別 支援		教職員	学生	その他	
高校生と学ぼう！AUEA教室！	○	○				30	17	2	14	1
AUEソフトテニスフェスタ 2024		○	○			30	25	1	24	
高校生と遊ぼう！笑顔！元気！わくわくスポーツ教室 ハルシユレ教室&ポッチャ体験		○				40	16	3	13	
きみも防災マスター！～Let'sバッククッキング～		○				10	5	1	4	
ひとりのできるもん！Cooking編		○	○	○	○	10	12	1	11	
走り方、跳び方、投げ方の基本をマスターしよう！		○				30	13	2	11	
ひとりのできるもん！Sewing編	○	○	○			20	9	1	8	
切ってつなげるバンパーロード ～第3章～		○				7	17	1	16	
よみこ夏のよみきかせ祭！	○	○				10	39	1	38	
竹チップでカブトムシを育てよう！		○				10	3	3		
AUEサッカー大会		○				100	8	7		1
AUEスポーツフェス	○	○				140	14	7	4	3
竹を使った楽しくためになるものづくり	○	○	○			15	17	2	15	
宇宙体感・体験プロジェクト		○	○			15	14	2	12	
わくわくシアター～創作ミュージカル公演	○					50	33	3	30	
大学生とミニ運動会！		○				20	15	1	14	
フィルムで体験「ココロを保存」		○				10	27	1	26	
いのちの安全教室～目指せ！子ども救命士！～		○	○			32	21	2	13	6
ゲームでゴーゴー！算数クラブ☆		○				30	16	1	15	
ミツバチプロジェクト		○				20	10	2	8	
電動車椅子サッカー体験		○	○	○	○	15	6	1	5	
愛教の馬に会いに行こう！		○	○			30	8	1	7	
木とプラスチックを加工するデジタルものづくり体験		○	○			10	10	3	7	
プログラミングで遊ぼう学ぼう！		○				無線:16 マイク:10 ドローン:10	9	4	5	
踊るキャンパス～ダンスで広がる笑顔の輪～	○	○	○	○	○	30	13	1	12	
あそぼう！日本の伝統遊び体験		○				15	4	1	3	
素材を生かす工作ワークショップの研究と実践		○				20	5	1	4	
キッズオリンピックin愛教大		○				50	40	1	39	
モンゴル体験！ゲルキャンプを作ろうプロジェクト		○				10	4	1	2	1
竹船を作って・浮かべて・動かそう！！		○				10	6	1	5	
バンパーランタンをつくろう（仮）		○				10	6	1	5	
子どもまつり	○	○		○	○	300	48	1	47	
創作和菓子コース		○				40	42	2	40	
レクリエーションコース		○				40	22	2	20	
歴史文化コース		○				26	28	2	26	

\*実施構成員の「その他」は、県立高等学校教員、一般社団法人職員等を指す。

## (4) 教科横断探究コース

<b>設置</b>
令和3年4月
<b>目的</b>
教員に求められる資質・能力が多岐にわたることに対応するため、4年間の学部教育で培う教員としての資質に加えて、実践力・コミュニケーション力・探究力を養成することを目的とし、異年齢・異学年集団での協働を通して、教科等を横断してつなげる力をつけ、自ら考え抜く自立した学びを探究する「教科横断探究コース」を設置した。
<b>特色</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部（4年間）から教職大学院（2年間）への進学を見通し、教科のみならず総合的な学習の時間、特別活動、道徳を含む教科等横断的な探究学習を展開する。</li> <li>・教科横断型協働学習やゼミナールなど、コース独自の授業が開講されている。</li> </ul>
<b>目指す能力の育成</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等横断的な学習を構想し展開する実践力</li> <li>・異学年、他専修の学生と協働するコミュニケーション力</li> <li>・新しい教育課題に対する探究力</li> </ul>
<b>コースの編成</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本コースは学校教員養成課程義務教育専攻の第1学年学生から募集し、第1学年後期から本コースに所属する。</li> <li>・教育課程は、1年生で教科横断型協働学習Ⅰ、2年生でゼミナールⅡA、ゼミナールⅡB、教科横断型協働学習Ⅱ、3年生でゼミナールⅢA、ゼミナールⅢB、教科横断型協働学習Ⅲ、4年生でゼミナールⅣA、ゼミナールⅣB、教科横断型協働学習Ⅳを履修する。</li> </ul>

コース進学状況（学部1年次）

進学年度	進学者数
令和3年度	6人
令和4年度	5人
令和5年度	8人
令和6年度	5人

学部から大学院への進学状況

年度	教育学研究科 進学者	大学院 進学辞退者
令和3年度	-	-
令和4年度	-	-
令和5年度	-	-
令和6年度	-	-

## (5) 教員免許状取得プログラム

### 小学校教員免許状取得プログラム

設置
令和2年4月
概要
教員養成大学・学部以外では取得が困難な小学校教員免許状を持たない大学卒業者の、小学校教員免許状取得のニーズに応えるため、大学院で長期在学制度を活用して小学校教員免許状取得に必要な学部の科目を履修することができるプログラムを設置した。
特色
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の大学院専門職学位課程教育実践高度化専攻（教職大学院）の履修とともに、小学校教員免許状の取得に必要な学部の科目を履修する必要から修業年限を3年とし、単位修得上支障がないように配慮している。</li> <li>・このプログラムの大学院を修了することにより、教職修士（専門職）の学位とともに、小学校教諭専修免許状を取得する資格が得られる。</li> </ul>

### 小学校教員免許状取得プログラム入学者数

教育学研究科 (単位：人)

年度	入学者数	他大学	
		他大学	本学
令和3年度	9	9	0
令和4年度	4	4	0
令和5年度	6	6	0
令和6年度	8	8	0

※教育実践研究科は、令和2年度入学生から募集停止

### 中学校教員免許状取得プログラム

設置
令和2年4月
概要
現在の学校教育現場では、専門的スキルをもった人材や、多様な経験、職歴を有する人材が求められている。本学では、大学院で長期在学制度を活用して中学校教諭一種免許状又は二種免許状（いずれか1教科）の取得に必要な科目を履修できるプログラムを設置した。
特色
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の大学院専門職学位課程教育実践高度化専攻（教職大学院）の履修とともに、中学校教員免許状の取得に必要な学部の科目を履修する必要から修業年限を3年とし、単位修得上支障がないように配慮している。</li> <li>・このプログラムの大学院を修了することにより、教職修士（専門職）の学位とともに、中学校教諭専修免許状（各教科）又は中学校教諭二種免許状（各教科）を取得する資格が得られる。</li> </ul>

### 中学校教員免許状取得プログラム入学者数

(単位：人)

年度	入学者数	他大学	
		他大学	本学
令和3年度	1	1	0
令和4年度	2	2	0
令和5年度	1	1	0
令和6年度	2	2	0

4 学習成果

(1) 教育職員免許状及び保育士の資格取得状況

教育学部、特別支援教育特別専攻科

	卒業 者数	教育職員免許状 取得状況																保育士						
		小学校		中学校			高等学校		幼稚園			特別支援学校			養護教諭									
		1種	2種	計		1種	2種	計	1種	2種	計	1種	2種	計	1種									
教育学部	882	746	595	28	623	70.6%	587	75	662	75.1%	501	56.8%	31	58	89	10.1%	28	24	52	5.9%	44	5.0%	31	3.5%
学校教員養成課程	699	696	556	27	583	83.4%	551	68	619	88.6%	474	67.8%	31	57	88	12.6%	25	24	49	7.0%	43	6.2%	31	4.4%
幼児教育専攻	31	31	0	27	27	87.1%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	31	0	31	100.0%	0	2	2	6.5%	0	0.0%	31	100.0%
義務教育専攻	533	531	531	0	531	99.6%	480	45	525	98.5%	372	69.8%	0	39	39	7.3%	0	22	22	4.1%	0	0.0%	0	0.0%
高等学校教育専攻	67	66	0	0	0	0.0%	65	0	65	97.0%	96	143.3%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別支援教育専攻	25	25	25	0	25	100.0%	0	23	23	92.0%	0	0.0%	0	18	18	72.0%	25	0	25	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
養護教育専攻	43	43	0	0	0	0.0%	6	0	6	14.0%	6	14.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	43	100.0%	0	0.0%
教員養成課程	56	49	39	1	40	71.4%	35	7	42	75.0%	27	48.2%	0	1	1	1.8%	3	0	3	5.4%	1	1.8%	0	0.0%
初等教育教員養成課程	29	24	23	0	23	79.3%	14	5	19	65.5%	8	27.6%	0	1	1	3.4%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
中等教育教員養成課程	23	21	13	1	14	60.9%	21	0	21	91.3%	19	82.6%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
特別支援学校教員養成課程	3	3	3	0	3	100.0%	0	2	2	66.7%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	3	0	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
養護教諭養成課程	1	1	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
教育支援専門職養成課程	126	0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
心理コース	49	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉コース	19	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育ガバナンスコース	58	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
現代学芸課程	1	1	0	0	0	0.0%	1	0	1	100.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
現代学芸課程	1	1	-	-	-	-	1	0	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別支援教育特別専攻科	27	25	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0	0.0%	25	0	25	92.6%	0	0.0%	0	0.0%
特別支援教育専攻	27	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	25	92.6%	-	-	-	-

\* 一人で複数の免許状（校種、教科）を取得した場合は該当種別にそれぞれ計上するため、卒業者に対する取得割合が100%を超える場合がある。

\* 取得者は、小・中・高・幼・特支・養護のいずれかの教育職員免許状取得者の実人数を記載（保育士は除く）

\* 卒業者数は、9月卒業者・3月卒業者を合算した数字である。取得者数・取得件数、大学から一括申請した数である。

\* 教員養成4課程は、令和3年度入学生から募集停止している。学校教員養成課程は、令和6年度に完成年度を迎えた。

\* 現代学芸課程は、平成29年度入学生から募集停止している。

大学院

	修了 者数	教育職員免許状 取得状況							保育士							
		小学校		中学校	高等学校	幼稚園	特別支援学校	養護教諭								
		専修	専修	専修	専修	専修	専修	専修								
教育学研究科	99	45	33	33.3%	37	37.4%	39	39.4%	7	7.1%	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%
専門職学位課程・教職大学院	67	45	33	49.3%	37	55.2%	39	58.2%	7	10.4%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
教育実践高度化専攻	67	45	33	49.3%	37	55.2%	39	58.2%	7	10.4%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
修士課程	32	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
教育支援高度化専攻	32	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別支援教育科学専攻	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 一人で複数の免許状（校種、教科）を取得した場合は該当種別にそれぞれ計上するため、修了者に対する取得割合が100%を超える場合がある。

\* 取得者は、小・中・高・幼・特支・養護のいずれかの教育職員免許状取得者の実人数を記載（保育士は除く）

\* 修士課程の特別支援教育科学専攻は、令和2年度入学生から募集停止している。

## 5 学生支援

### (1) 相談体制

学生相談体制（相談窓口）

相談内容	担当
修学相談 授業・成績関係 休学・退学・転学関係 教育実習関係 介護等体験関係 体験活動関係	教務企画課
就職・進路相談	キャリア支援課
海外留学・国際交流相談	国際交流センター（国際企画課）
経済・生活相談 授業料免除・徴収猶予関係 奨学金関係 学生寮関係 課外活動・ボランティア活動関係 学生生活全般	学生支援課
健康相談	健康支援センター
ハラスメント相談	学内ハラスメント相談員
障害のある学生への配慮・支援	障害学生支援室（学生支援課）
なんでも相談（どこに相談したらよいか分からない時）	なんでも相談コーナー（学生支援課）

### (2) 修学支援

#### ア 履修指導

取組	担当	実施状況
ガイダンス	教務企画課	【1年生、4年生】年度当初 教育学部 各1回、【全学年】教育単位（専攻等）別 各1回
指導教員制	教育学部	全学年 教育単位（専攻等）別
成績不振者への学習支援・指導	教育学部	GPAが2.0未満の学生について、指導教員による修学支援・指導を実施
交換留学制度	国際交流センター	本学と学生交流協定を締結している海外の大学に学生を派遣する制度。毎年学期始めに説明会を実施するとともに年1回募集を行っている。

#### イ 学習相談

学習相談	担当	実施状況
修学アドバイザーの配置	教務企画課	指導教員が「修学アドバイザー」として、指導学生からの修学相談に応じている。
オフィス・アワーの設定	学生支援委員会	各教員が毎週2時間程度のオフィス・アワーを設定し、学生の相談に応じている。
英語チューター制度	国際交流センター	英語能力の優れた学生チューターが英語の苦手な学生の英語学習をサポートする活動を実施している。第7章の国際交流【留学生支援】参照。

## (3) 経済支援

## ア 入学科免除

令和6年度 入学科免除実施状況

(単位：人、円)

所属	入学者	免除許可者										免除金額合計
		全額免除	2/3免除	半額免除	1/3免除	1/4免除	一部免除	計				
								135.6千円	56.4千円	34.8千円		
教育学部	912	28	22	0	9	1	0	0	0	0	60	12,948,500
1年次入学者	907	28	22	-	9	1	-	-	-	-	60	12,948,500
2年次入学者	5	0	0	-	0	0	-	-	-	-	0	0
教育学研究科（専門職学位）	67	0	0	0	0	0	5	5	0	0	5	678,000
1年次入学者	67	-	-	-	-	-	5	5	-	-	5	678,000
教育学研究科（修士課程）	27	0	0	0	0	0	8	8	0	0	8	1,084,800
普通入学	27	-	-	-	-	-	8	8	-	-	8	1,084,800
再入学	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育学研究科（博士課程）	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知教育大学	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別支援教育特別専攻科	27	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	34,800
附属学校園	173	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	56,400
附属幼稚園	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
附属高等学校	119	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	56,400
附属特別支援学校高等部	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 本表には、大学独自入学科免除制度による免除者数及び特別措置、高等教育修学支援制度による入学科免除者数を含む。

\* 本表には、大学独自入学科免除制度による免除額及び特別措置、高等教育修学支援制度による入学科免除額を含む。

\* 6年一貫教員養成コース（教育学研究科（専門職学位）：1人、教育学研究科（修士課程）：0人）及びアドバンスト・サイエンスコース（教育学研究科（専門職学位）：1人）の大学院入学者は、大学院への入学ではなく進級と見なすため、入学科は不要であり、表から除く。

\* 国費留学生（教育学研究科（修士課程）：0人、教育学研究科（博士課程）：1人）は、入学科を徴収しないため、表から除く。

\* 附属学校園のうち、附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校（小学部・中学部）は入学科を徴収しない。

\* 秋季入学者は入学者数（2024/5/1現在：在学者）には含まないが、免除者数及び免除金額には含める。

（参考：令和6(2024)年度秋季入学者 教育学研究科（修士課程）：1名、教育学研究科（専門職学位）：0名）

令和6年度 入学科			
教育学部	282,000円	附属幼稚園	31,300円
大学院	282,000円	附属高等学校	56,400円
特別支援教育特別専攻科	58,400円	附属特別支援学校高等部	2,000円

イ 授業料免除

令和6年度授業料免除実施状況

在籍者：R6/5/1現在 免除者：R6/4/1～R7/3/31実績 (単位：人、円)

所 属	在 籍 者	前 期							免 除 金 額 小 計	後 期							免 除 金 額 小 計	合 計							免 除 金 額 合 計			
		免 除 許 可								免 除 許 可								免 除 許 可										
		全 額 免 除	半 額 免 除	2 / 3 免 除	1 / 3 免 除	1 / 4 免 除	家 計 急 変	教 職 特 別 措 置		計	全 額 免 除	半 額 免 除	2 / 3 免 除	1 / 3 免 除	1 / 4 免 除	家 計 急 変		教 職 特 別 措 置	計	免 除 金 額 小 計	全 額 免 除	半 額 免 除	2 / 3 免 除	1 / 3 免 除		1 / 4 免 除	家 計 急 変	教 職 特 別 措 置
教育学部	3,721	126	0	73	31	8	3	0	241	50,454,800	130	0	58	34	9	2	0	233	49,301,300	256	0	131	65	17	5	0	474	99,756,100
1年	907	28	-	22	9	1	0	-	60	12,301,100	25	-	20	11	2	0	-	58	11,385,800	53	-	42	20	3	0	-	118	23,686,900
2年	905	35	-	14	7	4	2	-	62	13,082,600	40	-	5	7	5	2	-	59	13,045,400	75	-	19	14	9	4	-	121	26,128,000
3年	904	36	-	11	6	0	1	-	54	12,412,700	37	-	13	6	0	0	-	56	12,769,900	73	-	24	12	0	1	-	110	25,182,600
4年	1005	27	-	26	9	3	0	-	65	12,658,400	28	-	20	10	2	0	-	60	12,100,200	55	-	46	19	5	0	-	125	24,758,600
教育学研究科 (専門職学位)	147	7	1	0	0	0	0	45	53	7,657,460	9	1	0	0	0	0	44	54	8,059,310	16	2	0	0	0	0	89	107	15,716,770
1年	69	4	0	-	-	-	-	21	25	3,839,900	6	0	-	-	-	-	20	26	4,241,750	10	0	-	-	-	-	41	51	8,081,650
2年	78	3	1	-	-	-	-	24	28	3,817,560	3	1	-	-	-	-	24	28	3,817,560	6	2	-	-	-	-	48	56	7,635,120
教育学研究科 (修士課程)	64	18	3	0	0	0	0	4	25	5,353,345	20	3	0	0	0	0	4	27	5,889,145	38	6	0	0	0	0	8	52	11,242,490
1年	27	9	0	-	-	-	-	0	9	2,411,100	8	1	-	-	-	-	0	9	2,277,150	17	1	-	-	-	-	0	18	4,688,250
2年	37	9	3	-	-	-	-	4	16	2,942,245	12	2	-	-	-	-	4	18	3,611,995	21	5	-	-	-	-	8	34	6,554,240
教育学研究科 (博士課程)	24	3	0	0	0	0	0	0	3	803,700	3	0	0	0	0	0	0	3	803,700	6	0	0	0	0	0	0	6	1,607,400
豊知教育大学 1年	4	1	0	-	-	-	-	-	1	267,900	1	0	-	-	-	-	-	1	267,900	2	0	-	-	-	-	-	2	535,800
2年	5	1	0	-	-	-	-	-	1	267,900	1	0	-	-	-	-	-	1	267,900	2	0	-	-	-	-	-	2	535,800
3年	15	1	0	-	-	-	-	-	1	267,900	1	0	-	-	-	-	-	1	267,900	2	0	-	-	-	-	-	2	535,800
特別支援教育 特別専攻科	27	2	0	0	0	0	0	0	2	273,900	3	0	0	0	0	0	0	3	410,850	5	0	0	0	0	0	0	5	684,750
合計	3,983	156	4	73	31	8	3	49	324	64,543,205	165	4	58	34	9	2	48	320	64,464,305	321	8	131	65	17	5	97	644	129,007,510

\* 本表には、大学独自授業料免除制度による免除者数及び高等教育修学支援制度による授業料免除者数、特別措置免除者数を含む。

\* 本表には、大学独自授業料免除及び高等教育修学支援制度免除、特別措置免除の併用者が含まれているため、各表の免除者合計数とは異なる。

\* 本表には、大学独自授業料免除制度による免除額及び高等教育修学支援制度による授業料免除額、特別措置免除額を含む。

\* 附属学校分については、幼児教育無償化や高等学校等就学支援金制度の導入により、申請者・免除者はほぼ発生しないため、あった場合のみ表に追加することとする。

\* 本表には、大規模災害等の被災による特別措置の免除者数を含む。

\* 秋季入学者は入学者数（2024/5/1現在：在学者）には含まれないが、免除者数及び免除金額には含める。（参考：令和6(2024)年度秋季入学者 教育学研究科（修士課程）：1名、教育学研究科（専門職学位）：0名）

令和6年度 授業料	半期分	年 額		半期分	年 額
教育学部	267,900 円	535,800 円	特別支援教育特別専攻科	136,950 円	273,900 円
大学院【修士課程、教職大学院】					
通常の課程	267,900 円	535,800 円	長期履修 3年	178,600 円	357,200 円
小免コース 平成21年度以降 入学	267,900 円	535,800 円	長期履修 4年	133,950 円	267,900 円
大学院【博士課程】					
通常の課程	267,900 円	535,800 円	長期履修 4年	200,925 円	401,850 円

ウ 奨学金

令和6年度（独）日本学生支援機構 奨学金採用者／奨学生数 状況

在学者：R6/5/1現在（単位：人）

所 属	（留 学生 を除く） 在 学 者	採用者（令和6年4月1日～令和7年3月31日の実績）												奨学生数（令和7年3月更新時）					
		給付奨学金				第一種（無利息）				第二種（利息付）				合計	給付 奨学 金	第一 種（ 無利 息）	返 還 免 除	第二 種（ 利息 付）	合計
		予 約 採 用	在 学 採 用	家 計 急 変	計	予 約 採 用	在 学 採 用	緊 急 採 用	計	予 約 採 用	在 学 採 用	応 急 採 用	計						
教育学部	3,720	45	30	1	76	66	33	0	99	65	28	0	93	268	273	368	-	318	959
1年	907	45	17	0	62	66	22	0	88	65	14	0	79	229	61	87	-	70	218
2年	905	-	6	1	7	-	6	0	6	-	5	0	5	18	64	109	-	88	261
3年	904	-	3	0	3	-	2	0	2	-	5	0	5	10	75	90	-	83	248
4年	1,004	-	4	0	4	-	3	0	3	-	4	0	4	11	73	82	-	77	232
教育学研究科 （専門職学位）	147	0	0	0	0	1	13	0	14	0	1	0	1	15	0	24	7	3	27
1年	69	-	-	-	0	1	10	0	11	0	1	0	1	12	-	11	-	1	12
2年	78	-	-	-	0	-	3	0	3	-	0	0	0	3	-	13	7	2	15
教育学研究科（修士）	46	0	0	0	0	0	6	0	6	0	1	0	1	7	0	8	1	1	9
1年	20	-	-	-	0	0	6	0	6	0	1	0	1	7	-	6	-	1	7
2年	26	-	-	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	-	2	1	0	2
教育学研究科（博士）	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛知教育大学 1年	2	-	-	-	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	-	0	0
2年	3	-	-	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0
3年	13	-	-	-	0	-	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0
特別支援教育特別専攻科	27	0	0	0	0	0	3	0	3	0	2	0	2	5	0	3	0	1	4
	27	-	-	-	0	-	3	0	3	-	2	0	2	5	-	3	-	1	4

\* 第一種と第二種の両方を貸与することもでき（併用貸与）、併用貸与者については、第一種、第二種にそれぞれ計上している。  
在学者は、奨学金の対象とならない外国人留学生を除いた人数。

給付型奨学金	給付月額	給付期間	
大 学	支援区分	最長48か月	
	第Ⅰ区分		自宅通学 29,200円 自宅外通学 66,700円
	第Ⅱ区分		19,500円 44,500円
	第Ⅲ区分		9,800円 22,300円
	第Ⅳ区分		7,300円 16,700円
第一種（無利息）	貸与月額	貸与期間（緊急採用の場合を除く）	
大 学	自宅通学者は、20,000円、30,000円、45,000円から選択	最長48か月	
	自宅外通学者は、20,000円、30,000円、45,000円、51,000円から選択		
大学院	修士は50,000円、88,000円から選択	修士 最長24か月	
	博士は80,000円、122,000円から選択	博士 最長36か月	
第二種（利息付）	貸与月額	貸与期間（応急採用の場合を除く）	
大 学	2万円から12万円までの、1万円単位金額から選択	最長48か月	
大学院	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択	修士最長24か月、博士最長36か月	
予約採用	入学前の申込で、進学前の在学学校にて奨学金申請を行うもの。		
在学採用	入学後に大学を通じて奨学金申請を行うもの。		
緊急採用 応急採用	家計の急変（家計支持者が失職・病気・事故・会社倒産・死別又は離別・災害等）で奨学金を緊急に必要とする場合のもの。 家計急変採用は給付、緊急採用は第一種、応急採用は、第二種。		
返還免除	大学院第一種貸与者であって、在学中に特に優れた業績をあげた者として機構が認定した場合に奨学金の全部又は一部の返還が免除される制度。なお、申請にあたっては大学からの推薦が必要となる。		
給付奨学金	返還義務のないもの。支給金額は進学する学校の設置者・支援区分・通学形態により決定される。		

**(4) 生活支援**

健康管理・健康相談

<b>健康支援センター</b>
<b>利用時間</b>
月～金曜日 8:30～17:00
<b>スタッフ・職員構成 (12人)</b>
センター長 (医師・教授・センター専任1人) 医師 (教授1人) 准教授1人 看護師・保健師 (常勤1人、非常勤1人) 臨床心理士 (非常勤3人) 事務係長 (事務・兼任1人) センター業務兼務者 (事務・兼任 非常勤3人)
<b>相談の実績</b>
第8章の健康支援センター参照

ハラスメント相談窓口

<b>利用時間</b>
相談窓口を設置し、常時受け付けている。
<b>職員構成</b>
性別バランスを考慮し、大学及び附属学校 (園) の教育職員、事務職員、健康支援センターの保健師、計十数人の相談員で構成
<b>業務内容</b>
ハラスメントに関する相談 通知措置に関する相談 調停又は調査の申し立ての前に行われる手続きに関する相談

## 障害のある学生に対する支援

<b>障害学生支援室</b>
<b>利用時間</b>
月～金曜日 9:00～16:30
<b>スタッフ・職員構成</b>
室長(兼任) 副室長(兼任) コーディネーター(非常勤2人) 事務補佐員(事務1人)
<b>業務内容</b>
障害に対する社会的障壁の除去等に関する相談受付と関係部署への連絡調整 修学における合理的配慮事項に関する当事者・関係者との面談調整と配慮内容の決定
<b>概要</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害学生へのパソコンテイク等による情報保障支援</li> <li>・視覚障害学生支援のための情報保障支援</li> <li>・視覚障害学生学習チューターの養成</li> <li>・肢体不自由学生等への学生寮(バリアフリー室)の提供</li> </ul>
<b>聴覚障害学生への支援内容(情報保障支援学生団体「てくてく」の活動も含む)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に対する情報保障ソフトを装備したノートPCを用いて2人1組で行うパソコンテイクの実施</li> <li>・式典や授業などに対する情報保障のため、学生団体及び外部団体に手話通訳者を依頼</li> <li>・オンライン授業における情報保障体制の整備(UDトークの使用、映像資料の字幕付け・文字起こし作業等)</li> </ul> <p>【情報保障支援学生団体「てくてく」の活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年コーディネーター20名、利用学生4名</li> <li>・AUEパートナーシップ団体に継続申請し、承認を受けた。</li> <li>・主な活動実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的な実績(ノート・パソコンテイク練習会、遠隔テイク練習会、字幕付け及び遠隔テイク講座の開催及び手話を覚えられる企画などを計画し実行)</li> <li>○岡崎聾学校の生徒に向けた説明会の開催(広報課の依頼による)</li> </ul> </li> </ul>
<b>視覚障害学生への支援内容(学習チューター制度)</b>
<p>【学習チューターの活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書・資料のPDF化、PDF資料の文字情報への変換作業</li> <li>・図表やグラフ等、文字情報化されていない資料の読み上げの対面補助</li> <li>・図書館等での資料及び文献検索の補助</li> <li>・レポート作成時のレイアウト補助</li> <li>・必要書類の代筆</li> </ul>
<b>その他の支援</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンテイク用ソフトを装備したノートPCを保有</li> <li>・式典や授業時、必要に応じて学外団体に手話通訳を依頼</li> </ul>

## どこに相談したらよいか分からない時

<b>なんでも相談コーナー</b>
<b>利用時間</b>
月～金曜日 9:00～16:30
<b>スタッフ・職員構成</b>
室長(兼任) 副室長(兼任) コーディネーター(非常勤2人) 事務補佐員(事務1人)
<b>業務内容</b>
学生からの相談受付と関係部署への連絡調整 その他学生に係る相談に関すること
<b>相談の実績</b>
令和6年度76件

## 6 学生生活

## (1) 課外活動の状況

## ア 課外活動団体と加入者数

在学者数：3,983人

R6/5/1現在

		体育系団体	文化系団体	計
団体数		50	37	87
加入者数	男	831人	381人	1,212人
	女	893人	756人	1,649人
	計	1,724人	1,137人	2,861人
加入率		43.3%	28.5%	71.8%

\* 在学者数及び加入者数は学部、大学院、専攻科の合計

\* 加入率 = 加入者数（計）÷ 在学者数

## イ AUEパートナーシップ団体（PS団体）

- ・本学学生が主体的・積極的に学内外で活動を行い、本学の教育、研究及び社会貢献活動に寄与しているとして、大学が認定した団体
- ・PS団体には認定証が授与され、活動拠点として学内のPS団体オフィスが利用や適宜必要物品の支援がある。
- ・活動に関する大学との意見交換が行われ（不定期、随時）、諸要望への支援についても検討している。

認定団体一覧

認定年度	団体名
平成29年度	情報保障支援学生団体てくてく
平成29年度	訪問科学実験わくわく
令和元年度	子どもの読書応援団体よみっこ
令和2年度	天文愛好会CORE
令和4年度	学生団体SAGA

## (2) 大学祭、子どもまつり開催状況

	開催日	参加者数		
		こども	学生	備考
大学祭	令和6年5月11日（土）～5月12日（日） 5月18日（土）～5月19日（日）	-	4,450人	本祭・スポーツの祭典の合計
子どもまつり	令和6年5月5日（日）	302人	188人	学生数は、参加学生数と運営学生数の合計
秋の祭典	令和6年11月30日（土）～12月1日（日）	-	1,450人	本祭・スポーツの祭典の合計
冬の子どもまつり	令和6年12月15日（日）	241人	81人	学生数は、参加学生数と運営学生数の合計

## 7 卒業生・修了者の進路・就職の状況

## (1) 進路・就職状況

詳細な所属別就職先等の進路状況は、別添資料「愛知教育大学 大学概要2025-2026」の「卒業生・修了生就職等状況」を参照ください。

各年度 5/1 現在 (単位: 人)

教育課程	卒業年度 修了年度	卒業生 修了者 a	進学者 b	就職希望者 c = a - b	就職者 d	就職率	
						進学者を 除く d/c	全ての 卒業・修了者 d/a
教育学部	令和2年度	907	62	845	784	92.8%	86.4%
	令和3年度	880	54	826	783	94.8%	89.0%
	令和4年度	875	44	831	792	95.3%	90.5%
	令和5年度	887	44	843	796	94.4%	89.7%
	令和6年度	882	60	822	782	95.1%	88.7%
学校教員養成課程	令和2年度	—	—	—	—	—	—
	令和3年度	—	—	—	—	—	—
	令和4年度	—	—	—	—	—	—
	令和5年度	—	—	—	—	—	—
	令和6年度	699	45	654	640	97.9%	91.6%
教員養成課程	令和2年度	757	41	716	667	93.2%	88.1%
	令和3年度	751	39	712	677	95.1%	90.1%
	令和4年度	745	28	717	686	95.7%	92.1%
	令和5年度	755	27	728	692	95.1%	91.7%
	令和6年度	56	0	56	46	82.1%	82.1%
教育支援専門職 養成課程	令和2年度	130	20	110	102	92.7%	78.5%
	令和3年度	123	15	108	106	98.1%	86.2%
	令和4年度	129	16	113	106	93.8%	82.2%
	令和5年度	130	17	113	104	92.0%	80.0%
	令和6年度	126	15	111	96	86.5%	76.2%
現代学芸課程	令和2年度	20	1	19	15	78.9%	75.0%
	令和3年度	6	0	6	0	0.0%	0.0%
	令和4年度	1	0	1	0	0.0%	0.0%
	令和5年度	2	0	2	0	0.0%	0.0%
	令和6年度	1	0	1	0	0.0%	0.0%
教育学研究科 (教育実践高度 化専攻) (教職大学院)	令和2年度	—	—	—	—	—	—
	令和3年度	67	1	66	66	100.0%	98.5%
	令和4年度	60	0	60	60	100.0%	100.0%
	令和5年度	74	0	74	70	94.6%	94.6%
教育学研究科 (教育支援高度 化専攻) (修士課程)	令和2年度	—	—	—	—	—	—
	令和3年度	18	1	17	14	82.4%	77.8%
	令和4年度	35	1	34	25	73.5%	71.4%
	令和5年度	25	2	23	9	39.1%	36.0%
	令和6年度	32	2	30	17	56.7%	53.1%
教育学研究科 (後期3年 博士課程)	令和2年度	4	0	4	4	100.0%	100.0%
	令和3年度	2	0	2	2	100.0%	100.0%
	令和4年度	1	0	1	1	100.0%	100.0%
	令和5年度	4	0	4	4	100.0%	100.0%
	令和6年度	2	0	2	2	100.0%	100.0%
教育学研究科 (修士課程) (旧専攻)	令和2年度	75	2	73	56	76.7%	74.7%
	令和3年度	13	0	13	12	92.3%	92.3%
	令和4年度	4	0	4	3	75.0%	75.0%
	令和5年度	—	—	—	—	—	—
	令和6年度	—	—	—	—	—	—
教育実践研究科 (教職大学院) (旧研究科)	令和2年度	41	0	41	41	100.0%	100.0%
	令和3年度	8	0	8	7	87.5%	87.5%
	令和4年度	1	0	1	1	100.0%	100.0%
	令和5年度	—	—	—	—	—	—
	令和6年度	—	—	—	—	—	—

\* 本表は「大学概要2025-2026」の内容によるものであり、9月卒業・修了者及び外国人留学生を含む。

\* 大学院修了生で、現職教員等すでに就業している社会人も就職者として計上

\* 進学者は、教育学部は大学院又は専攻科への進学、大学院は大学院博士課程への進学についてのみ計上

\* (旧研究科) (旧専攻) は募集停止した組織を示す。

## (2) 教員就職の状況

卒業次年度 9/30 現在 (単位:人)

教育課程	卒業年度 修了年度	卒業者 修了者 a=d+e+f	就職者					進学者 e	未就職 f	教員 就職率 b/a
			教員			教員以外				
			正規	臨時	b	c	d = b+c			
教育学部	令和2年度	764	342	118	460	223	683	42	39	60.2%
	令和3年度	750	332	180	512	166	678	39	33	68.3%
	令和4年度	744	368	144	512	174	686	28	30	68.8%
	令和5年度	753	365	174	539	157	696	27	30	71.6%
	令和6年度	751	380	161	541	149	690	45	16	72.0%
学校教員養成課程	令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和3年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和4年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和6年度	699	365	148	513	131	644	45	10	73.4%
教員養成課程	令和2年度	747	340	117	457	212	669	41	37	61.2%
	令和3年度	745	332	180	512	166	678	39	28	68.7%
	令和4年度	744	368	144	512	174	686	28	30	68.8%
	令和5年度	751	365	174	539	156	695	27	29	71.8%
	令和6年度	51	15	13	28	17	45	0	6	54.9%
現代学芸課程	令和2年度	17	2	1	3	11	14	1	2	17.6%
	令和3年度	5	0	0	0	0	0	0	5	0.0%
	令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	令和5年度	2	0	0	0	1	1	0	1	0.0%
	令和6年度	1	0	0	0	1	1	0	0	0.0%
教育学研究科	令和2年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育実践高度化専攻 (教職大学院)	令和3年度	67	49	15	64	2	66	1	0	95.5%
	令和4年度	60	43	15	58	2	60	0	0	96.7%
	令和5年度	69	52	9	61	6	67	0	2	88.4%
	令和6年度	67	54	9	63	3	66	1	0	94.0%
教育学研究科 (後期3年 博士課程)	令和2年度	1	0	0	0	1	1	0	0	0.0%
	令和3年度	2	1	0	1	1	2	0	0	50.0%
	令和4年度	1	1	0	1	0	1	0	0	100.0%
	令和5年度	4	0	0	0	4	4	0	0	0.0%
	令和6年度	2	0	0	0	2	2	0	0	0.0%
教育学研究科 (修士課程)	令和2年度	58	29	5	34	22	56	0	2	58.6%
	令和3年度	30	3	3	6	21	27	1	2	20.0%
	令和4年度	37	2	0	2	28	30	2	5	5.4%
	令和5年度	22	0	0	0	13	13	2	7	0.0%
	令和6年度	32	0	1	1	26	27	2	3	3.1%
教育実践研究科 (教職大学院) (旧研究科)	令和2年度	41	36	5	41	0	41	0	0	100.0%
	令和3年度	8	4	4	8	0	8	0	0	100.0%
	令和4年度	1	0	1	1	0	1	0	0	100.0%
	令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 令和2年度～令和6年度の数等は、文部科学省「教員養成学部等及び附属学校調査」の内容であり、9月卒業・修了者及び外国人留学生は含まない。なお、教育学研究科（修士課程）について、令和3年度より文科省調査における記載内容の変更があり、新旧両専攻を合わせた形で計上している。

\* 教員は、幼、小、中、中等、高、特別支援学校の教員のみとし、大学教員や保育士等は教員以外に計上した。

\* 大学院修了生で、現職教員等すでに就業している社会人も就職者として計上した。

\* 進学者は、教育学部は大学院又は専攻科への進学者を、大学院は大学院博士課程への進学者を計上した。

\* (旧研究科)は募集停止した組織を示す。

\* 現代学芸課程は募集停止した組織を示し、また教育支援専門職養成課程は平成29年度改組後の課程で、教員免許が取得できない課程のため、卒業開始年度の令和2年度より記載していない。

## 8 FD活動（ファカルティ・ディベロップメント活動）

令和6年度実施状況

題目	実施組織	実施内容・方法	参加人数 (人)
FD・SD研修会「学修者本位の大学づくり—施設の利用方法の改善と学生・院生の居場所づくり—」	未来共創プラン戦略8 学生支援課 教育研究創成センター	学修者本位の大学づくりを目的に、施設の利用方法の改善と学生・院生の居場所づくりをテーマとしたグループ討議、全体交流を対面で実施した。	45
全学FD「学生のICT活用指導力向上に向けて③—教職課程における課題と取組を中心に—」	教職キャリアセンター ICT活用等普及推進統括部門 教育研究創成センター	GIGAスクール構想の実現に向け、教職課程におけるICT活用指導力向上を目的に、現状共有、事例発表、意見交換を対面で実施し、オンデマンド配信を行った。	76
全学FD「学生のニーズと修学支援方法 ～発達障害・精神疾患等の事例を中心に～」	学生支援課 教育研究創成センター	発達障害や精神障害のある学生の特性やニーズを理解し、適切な支援の重要性を認識することを目的に、事例を通じた講演と質疑応答を対面で実施した。	63
全学FD講演会「学修成果をどのようにに授業改善・カリキュラム改善に結びつけるか」	教育研究創成センター FD開発部門	教学マネジメントを推進し、学修者本位の教育への転換を図ることを目的に、学修成果を踏まえた授業・カリキュラム改善に関する講演と質疑応答を対面で実施し、オンデマンド配信を行った。	110
全学FD講演会「外国にルーツを持つ子ども達への教育の必要性を大学全体で認識する part2」	日本語教育支援センター 教育研究創成センター	外国にルーツを持つ子ども達の在籍学級での学びの必要性を大学全体で理解することを目的に、現状や実践例をまじえた講演を対面で実施した。	25
FD・SD 教職学協働プロジェクト「学生・院生の居場所づくり検討チーム報告会&次年度への挑戦」	未来共創プラン戦略8 教育研究創成センター	前回のFD・SD研修会での提案を踏まえ、学修者本位の大学づくりを推進し、教職学の協働を深めることを目的に、居場所づくり検討チームの報告と意見交換を対面で実施した。	34
全学FD「授業とカリキュラムの省察」	教育研究創成センター FD開発部門	教学マネジメントの推進と学修者本位の教育改善を目的に、専門科目を中心に授業科目とカリキュラムを省察し、改善に向けた検討を組織的に実施し、講座単位で報告を行った。	-
授業公開	教育研究創成センター FD開発部門	授業改善の取り組みの成果を共有し、教育・指導能力の向上を図ることを目的に、合計23件の授業を公開し、参加者によるフィードバックと実施報告を行った。	133
新任教員研修会	教育研究創成センター FD開発部門	教務関係事項の要点と課題、大学での授業の進め方の要点を理解し、授業の実施に必要な能力を高めることを目的に、講話とグループ討議、全体交流を対面で実施した。	22

## 9 未来基金を活用した活動

<b>設立</b>
平成28年9月
<b>未来基金の概要</b>
<p>愛知教育大学は、これからの社会を担う子どもたちの未来を拓くことができる多様な人材の養成に資することを目的とし、次の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育研究活動に関する支援事業</li> <li>2. 修学に関する支援事業</li> <li>3. 国際交流の推進に関する支援事業</li> <li>4. 教育研究環境に関する整備事業</li> <li>5. その他特に必要と認める事業</li> </ol>
<b>直近の取組（令和6年度以降）</b>
<p>平成28年9月に設立した「愛知教育大学未来基金」は、従来の「愛知教育大学教育研究基金(平成17年10月設立)」を見直し、新たに創設した「AUE修学支援基金」と「教育研究基金」の2種類の構成となっている。『教育研究基金』は、従来の教育研究基金を引き継ぎ、学生表彰、留学生の交流支援、課外活動支援等幅広く学生等を支援し、『AUE修学支援基金』は、経済的に修学が困難な学生を対象に奨学金事業、留学支援事業を行っている。なお、『AUE修学支援基金』は、寄附金に対する税制上の優遇措置として、所得控除に加えて税額控除が選択できるようになっている。令和3年度からは、特定目的の事業を実施するため、用途を限定した『プロジェクト等使途限定基金』の整備をし、令和4年度からは、新たに未来基金リサイクル募金を導入し、4種類の構成となっている。</p> <p>プロジェクト等使途限定基金「子どもキャンパスプロジェクト」の設置      特定基金として「子どもキャンパスプロジェクト」に用途を限定した基金を設置し募集を開始した。</p> <p>附属学校園支援事業の設置      特定基金として「附属学校園支援事業基金」を設置し、令和6年度から募集を開始した。</p>

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/kikin/about.html>

教育研究基金				
学生表彰、課外活動、留学生の交流等、幅広く学生支援を行っている。				
収入		(単位：円)	支出（主な事業内容）	(単位：円)
前年度繰越		62,933,038	課外活動等支援	300,000
前年度現物寄附		0	愛知教育大学学生表彰規程第2条（表彰の基準）該当学生等への報奨金	70,000
繰越高				
基金受入額		7,025,500	優秀学生に対する学長表彰	0
企業団体	3件	2,300,000	大学院生の学会発表に伴う交通費の補助	0
個人	136件	4,725,500	その他修学に関する支援事業	0
運用益		69,436	交流協定大学からの留学生受け入れ事業	1,750,000
			交流協定大学への留学希望学生に対する留学支援事業	1,600,000
			交流協定大学等の協力による海外学校体験事業	0
			その他国際交流の推進に関する支援事業	1,520,000
			教育研究環境に関する整備事業	0
			創基150周年記念事業に関する事業	437,360
			特別支援教育講座教育研究	1,500,000
			障害学生支援室支援経費	1,000,000
			体育施設・用具の維持・更新費	2,000,000
			附属学校教員学費補填	200,000
			銘板・事務費等	956,811
			振込手数料等	56,031
	合計	70,027,974	合計	11,390,202
AUE修学支援基金				
経済的な理由で修学に困難がある学生に対し支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるよう支援するもの。用途が限定されており、具体的には、本学独自の返済不要な「愛知教育大学奨学金ひらく」の支給、学生の海外での多文化体験活動の支援に活用している。				
収入		(単位：円)	支出（主な事業内容）	(単位：円)
前年度繰越		21,543,988	学資支援奨学金（ひらく）	0
基金受入額		5,334,204	緊急支援奨学金（ひらく）	600,000
企業団体	0件	0	多文化体験活動	620,000
個人	337件	5,334,204	振込手数料	35,822
運用益		0		
	合計	26,878,192	合計	1,255,822

\*AUE修学支援基金のうち、リサイクル募金収入1,204円（8件）を含む。

附属学校園支援基金					
<p>未来基金の特定基金として附属学校園支援基金を置き、愛知教育大学附属学校園の教育活動等に対する支援を行うことを目的とし実施する。</p> <p>1. 施設・設備の整備 2. ICT機器や教材、図書の充実等、教育・学習環境の整備 3. 周年事業の実施 4. その他、附属学校園の活動として支援すべきと認められたもの</p> <p>※令和6年度設置</p>					
収入		(単位：円)	支出（主な事業内容）		(単位：円)
前年度繰越		0	振込手数料		5,598
基金受入額		267,000			
企業団体	0件	0			
個人	14件	267,000			
運用益		0			
合計		267,000	合計		5,598
プロジェクト等使途限定基金「子どもキャンパスプロジェクト」					
<p>未来基金の特定基金としてプロジェクト等使途限定基金を置き、プロジェクト等に対する支援事業を行うことを目的とし実施する。</p> <p>・「子どもキャンパスプロジェクト」事業</p> <p>※令和5年度にプロジェクト等使途限定基金（子どもキャンパスプロジェクト）として設置</p>					
収入		(単位：円)	支出（主な事業内容）		(単位：円)
前年度繰越		36,287	プログラム実施に係る消耗品		85,805
基金受入額		320,500	外部講師謝金		36,000
企業団体	0件	0	振込手数料		10,744
個人	39件	320,500			
運用益		0			
合計		356,787	合計		132,549

## 第5章 研究活動

## 1 学長裁量経費等の採択状況

## ア 教職実践力向上重点研究費

教職実践力向上重点研究費は、教育改革や機能強化に資する大学の目指す方向性に沿った教職実践力向上等のための研究費である。学校現場等で有効に活用できる実践的・実証的な研究や地域固有の課題解決に資する研究あるいは取組、附属学校をはじめとする学校や教育委員会、企業等と連携した研究あるいは取組で、中期目標・中期計画や未来共創プランの達成に資する成果が期待できるもの、教員養成あるいは教育支援の質の向上につながる優れた研究成果が期待できるもの等について、学内公募により優れたプロジェクトを選定、経費配分する。公募分野は、1 教育改善分野、2 連携推進分野、3 研究発展分野がある。

(単位：千円)

公募分野	研究課題名	学系・講座	研究代表者	採択額
2 連携推進分野	児童・生徒の発達段階における文章作成能力の解明	人文社会科学系 日本語教育講座	加藤 恵梨	319
1 教育改善分野	スクールソーシャルワーカーの価値に基づく実践モデルの提示	教育科学系 福祉講座	篠原 拓也	200
2 連携推進分野	教育委員会と連携した「登校意欲を高める」授業の展開	教育科学系 学校教育講座	五十嵐 哲也	400
1 教育改善分野	「ジェンダーと多様性」ブックプロジェクト～包括性教育の環境整備と実践～	創造科学系 保健体育講座	村松 愛梨奈	500
1 教育改善分野	生成AI×附中授業～創造性を発揮する生徒の育成を目指して～	附属名古屋中学校	佐野 嘉昭	600
3 研究発展分野	現代的教育課題を解決する小学校体育科のゴール型ハンドボールの教材の開発－日本およびドイツの初等教育学校との連携・協働による授業改善の成果より－	創造科学系 保健体育講座	山下 純平	250
2 連携推進分野	知的障害特別支援学校におけるICTを活用した「令和の日本型学校教育」に資する授業に関する実践研究	教育科学系 特別支援教育講座	小倉 靖範	820
1 教育改善分野	子ども、保護者、支援者向けの緊急対応のための心理教育資料の開発と評価	教育科学系 心理講座	増山 晃大	268
1 教育改善分野	スクールソーシャルワーク研修プログラムの開発	教育科学系 福祉講座	岩山 絵理	330
1 教育改善分野	幼児教育・保育職の専門性と本質的な魅力を高めるための双方向教育モデルの創出	教育科学系 幼児教育講座	鈴木 裕子	307
1 教育改善分野	環境教育教材漫画「消えたモアイ文明」の学校現場への普及	自然科学系 理科教育講座	常木 静河	150
2 連携推進分野	中日新聞社との連携によるNIE推進研究	人文社会科学系 社会科教育講座	保立 雅紀	319
合計				4,463

## イ 教員養成高度化推進設備等経費

教員養成高度化推進設備等経費は、大学及び附属学校における教育上必要であり、かつ教員養成の高度化もしくは教育支援専門職養成に資する教育活動を推進する設備を充実するための経費である。

(単位：千円)

設備名	学系・講座	代表者	採択額
グランドピアノ	創造科学系 音楽教育講座	新山王 政和	1,100
ノートパソコンほか	教育科学系 心理講座	高柳 伸哉	250
トランポリン	創造科学系 保健体育講座	頼住 一昭	1,000
屋外放送設備機器	附属特別支援学校	村井 正照	1,100
65型液晶モニターほか	附属特別支援学校	村井 正照	1,200
高圧蒸気滅菌機（オートクレーブ）	教育科学系 養護教育講座	福田 博美	427
ノンフロン冷蔵庫 一式	創造科学系 家政教育講座	筒井 和美	200
短焦点液晶プロジェクターほか	附属高等学校	西牟田 哲哉	650
壁面構成用ピクチャーレールの設置	教育科学系 幼児教育講座	麓 洋介	100
合計			6,027

## ウ 科研費獲得サポート重点研究費

科研費獲得サポート重点研究費は、学内におけるチーム・個人による研究成果・業績を今後の科研費獲得につなげるための研究費である。公募分野は、1 チーム研究分野、2 研究発展分野がある。

(単位：千円)

公募分野	研究課題名	学系・講座	代表者	採択額
2 研究発展分野	連分数による実2次整環のイデアル類群の構造解析	自然科学系 数学教育講座	岸 康弘	200
2 研究発展分野	ブラックホール磁気圏における磁気プラズマ不安定性の理論的研究	自然科学系 理科教育講座	高橋 真聡	100
2 研究発展分野	保育者のフィンガーペインティング体験を通じた子どもの心情に対する気付きを促す要素と気付き内容の関係	教育科学系 幼児教育講座	林 牧子	200
合計				500

2 外部研究資金獲得状況

(1) 科学研究費助成事業

研究種目	申請・内定状況								資金獲得状況			
	新規				継続				新規/継続 合計			
	申請数	内定数	内定金額(円)		申請数	内定数	内定金額(円)		採択数	採択金額(円)		
			直接経費	間接経費			直接経費	間接経費		合計	直接経費	間接経費
科学研究費	89	20	18,100,000	5,430,000	50	50	39,800,000	11,940,000	72	76,414,284	58,780,218	17,634,066
特別推進研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新学術領域研究(研究領域提案型)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術変革領域研究(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術変革領域研究(B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基盤研究(B)	4	0	0	0	1	1	3,200,000	960,000	1	4,160,000	3,200,000	960,000
基盤研究(C)	71	12	10,300,000	3,090,000	44	44	32,600,000	9,780,000	56	54,548,000	41,960,000	12,588,000
挑戦的研究(開拓)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
挑戦的研究(萌芽)	5	2	1,900,000	570,000	0	0	0	0	2	2,470,000	1,900,000	570,000
若手研究	5	4	3,900,000	1,170,000	4	4	3,400,000	1,020,000	9	10,790,000	8,300,000	2,490,000
研究活動スタート支援	3	2	2,000,000	600,000	1	1	600,000	180,000	4	4,446,284	3,420,218	1,026,066
奨励研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別研究促進費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費	3	2	790,000	0	0	0	0	0	2	790,000	790,000	0
研究成果公開発表(B)	2	2	790,000	0	0	0	0	0	2	790,000	790,000	0
研究成果公開発表(C)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際情報発信強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学術図書	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
データベース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際共同研究加速基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際先導研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際共同研究強化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外連携研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際活動支援班	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
帰国発展研究	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 当該年度の科学研究費助成事業に係る年間の実績を示す。

当該年度の申請数とは、前年度に公表された公募要領に基づいて当該年度の科学研究費助成事業に応募した件数を指す。ただし、研究活動スタート支援、国際先導研究、国際共同研究強化及び帰国発展研究においては、公募要領の公表時期が異なるため、当該年度に応募した件数を指す。

研究代表者として応募した課題のみを計上し、研究分担者として参加する課題は計上しない。また、最終年度に期間延長した課題は継続件数に含めない。

「申請・内定状況」は本学から申請したものについて計上する。内定金額は新規・継続ともに交付内定時の金額を示す。

「資金獲得状況」は前倒し請求、育休等に伴う期間延長による変更及び人事異動等による変更を反映し、本学に配当された件数・金額を示す。

奨励研究の申請・内定状況及び資金獲得状況は、附属学校教員を除く件数・金額を示す。

附属学校教員については、第9章 附属学校の「今年度の取り組み状況」に記載する。

## (2) 受託研究、共同研究、受託事業

令和6年度受託研究費受入状況

(単位：千円)

No.	受託先・事業名	件名 (研究題目)	研究者名	契約金額*			研究対象	競争的
				合計	直接経費	間接経費		
受託研究費				総計	3,788	2,987	801	
国・地方公共団体				合計	1,238	987	251	
1	豊明市	ナガバノイシモチソウ群落の多様性及びクローン構造の解析	渡邊 幹男	150	150	0	○	
2	四日市市	御池沼沢植物群落における生活史および遺伝子解析	渡邊 幹男	476	366	110	○	
3	石垣市	石垣島平久保のヤエヤマシタン自生地遺伝子解析調査	渡邊 幹男	612	471	141	○	
その他				合計	2,550	2,000	550	
4	公益財団法人 教科書研究センター	教科書研究センター調査研究事業	建内 高昭 犬塚 章夫	1,250	1,000	250	○	
5	公益財団法人 理想教育財団	学力と自己成長力の育成における言語能力育成の研究	磯部 征尊	1,300	1,000	300	○	

\* 契約金額は当該年度に支給した金額

令和6年度共同研究費受入状況

(単位：千円)

No.	受託先・事業名	件名 (研究題目)	研究者名	契約金額*			研究対象	競争的
				合計	直接経費	間接経費		
共同研究費				総計	1,215	658	557	
その他				合計	1,215	658	557	
1	西川コミュニケーションズ(株)	マスキングテープを用いた学校教育におけるSDGs教材の開発	大鹿 聖公	390	300	90	○	
2	(株)新興出版社啓林館	動的幾何ソフトGC/html5を利用したデジタルコンテンツ開発・運用・実践に関する研究	青山和裕 飯島康之	825	358	467	○	

令和6年度受託事業費受入状況

(単位：千円)

No.	受託先・事業名	件名 (研究題目)	事業担当	契約金額*			研究対象	競争的
				合計	直接経費	間接経費		
受託事業費				総計	14,145	12,869	1,276	
国・地方公共団体				合計	4,865	4,355	510	
1	【三市合計】 知立市 刈谷市 豊田市	外国人児童生徒のための学習支援	地域連携課	3,000	2,727	273		
				1,000	909	91		
				1,000	909	91		
				1,000	909	91		
2	文部科学省 総合教育政策局	令和6年度学校図書館司書教諭講習	地域連携課	699	699	0		
3	愛知県 (愛知県教育委員会)	令和6年度あいちSTEAM能力育成事業 知の探究講座	地域連携課	231	210	21		
4	安城市	文化財態皆調査	学術研究支援課	935	719	216		
その他				合計	9,280	8,514	766	
5	一般財団法人 三菱みらい育成財団	愛教大SEHプロジェクト(附属高等学校)	附属学校課	2,000	2,000	0		
6	一般財団法人 三菱みらい育成財団	フェイクニュース時代のメディア情報リテラシーを育成する産・学・高校生協同プログラム	学術研究支援課	2,770	2,770	0		
7	中部電力株式会社	小中学校教員向け『電気事業に関する授業実施のための図解集・学習指導案』の改訂	学術研究支援課	809	703	106		
8	社会福祉法人 刈谷市社会福祉協議会	附属高等学校の社会福祉教育指定校活動事業	附属学校課	55	55	0		
9	愛知学長懇話会	高校生とともに教師の魅力を考えるフェスタ2024	総務課	120	120	0		
10	TOPPANデジタル株式会社	こどもデータ連携事業に係るロジック研究業務	学術研究支援課	2,860	2,200	660		
11	株式会社メガシンク	愛知万博20周年記念事業「地球を愛する学園祭」での展示等	地域連携センター	450	450	0		
12	国立大学協会	「レジリエント社会・地域共創シンポジウム」地域社会と共に創る防災学習とまちづくり	学術研究支援課	216	216	0		

\* 契約金額は当該年度に支給した金額

## (3) 寄附金

令和6年度研究活動に係る寄附金受入状況

(単位：千円)

No.	寄附金名称等	寄付者等	受入者等	寄附金額
総計				4,885
1	湿地性植物の遺伝子解析に関する研究(太陽機構)	株式会社 太陽機構 代表取締役 星野 智司	学術研究支援課	200
2	中谷医工計測技術振興財団 令和6年度 科学教育振興助成金	公益財団法人中谷医工計測技術振興財団代表理事 家次 恒	自然科学系	1,000
3	令和5年度下北ジオパーク研究補助金	自然科学系 理科教育講座 星 博幸	自然科学系	200
4	令和6年度下北ジオパーク研究補助金	下北ジオパーク推進協議会 会長 山本 知也	自然科学系	195
5	湿地性植物の遺伝子解析に関する研究(グリーンフロント)	グリーンフロント研究所株式会社 代表取締役 小串 重治	自然科学系	300
6	新規燃料電池用触媒担持カーボン合成法の検索およびガス拡散層に関する研究	トヨタ紡織(株) 電動製品開発部 部長 平田 和之	自然科学系	290
7	第19回 児童教育実績についての研究助成	公益財団法人 博報堂教育財団 常務理事 中馬 淳	人文・社会科学系	2,000
8	学校種横断的な教科書の読解方略に関する研究： 学校種間の読み方の違いに着目して	公益財団法人 教科書研究センター 理事長 千石 雅仁	自然科学系	250
9	令和6年度 一般社団法人日本学校保健学会 学会企画研究	一般社団法人 日本学校保健学会 理事長 植田 誠治	学術研究支援課	150
10	公益財団法人小笠原敏晶記念財団 2024年度 国際研究集会 出張助成	公益財団法人 小笠原敏晶記念財団 理事長 小笠原 三四郎	自然科学系	300

## 3 研究成果の公表とその現状

## (1) 研究者総覧システム

正式公開	2009年9月
公開内容	本学全教員のプロフィール、研究業績、教育業績、社会活動及び管理運営実績情報等
URL	<a href="https://souran.aichi-edu.ac.jp/">https://souran.aichi-edu.ac.jp/</a>

## (2) 学術情報リポジトリ

正式公開	2009年1月
概要	本学における教育・研究活動により創造された教育・研究成果及び本学が所蔵する学術情報資料を、電子的な形式で恒久的に蓄積・保存し、ネットワークを通じて学内外に無償で発信・提供することにより、本学の教育・研究の発展に資するとともに、社会に対する貢献を果たすもの
公開内容	紀要、論文、学長裁量経費や大学教育研究重点配分経費の成果報告書、学位論文の抄録、教員インタビュー等
URL	<a href="https://aue.repo.nii.ac.jp/">https://aue.repo.nii.ac.jp/</a>
論文登録数	394件(令和6年度累計)
ダウンロード数	1,297,914件(令和6年度累計)

## (3) 愛知教育大学出版会

設立	2005年6月
設立の経緯	愛知教育大学出版会は、2005年(平成17年)に研究成果を社会へ還元するという、大学の社会的使命を実現する有効な手段の一つとして設立された。以来、急激な時代の変容のなかで現代的な教育課題を始め、対応が困難な教育問題が次々と生起している社会的状況をふまえ、これまでに蓄積された研究の成果や実践的な教育理論や方法が活用されるように、出版活動をととして教育界を始め広く社会に発信を続けている。
形態	法人の内部組織。国立大学法人愛知教育大学が、自らの責任において主体的に出版会の運営にあたる。
販売方法	愛知教育大学生活協同組合及びAmazon(平成23年度に法人登録及び商品登録)
URL	<a href="https://www.auepres.aichi-edu.ac.jp/">https://www.auepres.aichi-edu.ac.jp/</a>

## (4) アカデミックカフェの実施

概要	地域から頼られる大学を目標に、市民や学生がお茶とお菓子を楽しみながら大学教員と最先端の学問や研究について気軽に語り合うもの。高度な専門知識に関する市民からの素朴な質問やユニークな意見に対して、研究者として大学教員が分かりやすく説明し、大学に対して親しみを感じてもらおう場として、また、生涯教育の場としても活用されるよう心がけて実施している。		
令和6年度実績	実績なし	日時	
		講師	
		演題	
		参加人数	

## 第6章 地域連携・社会貢献

### 1 公開講座

令和6年度開設状況

公開講座規程上の種類	開設講座数	実施講座数	受講者数
一般公開講座	17 講座	17 講座	300 人
うち連携公開講座	17 講座	17 講座	300 人
免許法認定公開講座	12 講座	11 講座	449 人
合計	29 講座	28 講座	749 人

### 2 教員研修

令和6年度教員派遣実績（愛知県総合教育センター）

(単位：人)

研修・講座名	派遣延べ人数
中学校初任者研修	1
特別支援学校初任者研修	1
新規採用養護教諭研修	1
小学校中堅教諭資質向上研修	36
中学校中堅教諭資質向上研修	12
高等学校中堅教諭資質向上研修	22
特別支援学校中堅教諭資質向上研修	2
中堅栄養教諭資質向上研修	2
小中学校社会体験型教員研修	1
外国人児童生徒教育講座	1
特別支援教育講座	2
今日的課題に対応する教育相談講座	1
教育相談コーディネーター養成講座	1
ICT活用実践講座	4
学級・学年づくりに生かす教育相談講座	1
特別支援学校におけるセンター的機能強化講座	1
合計	89

### 3 非正規学生の受入状況

当該年度4/1～3/31 (単位：人)

年間受入人数	合計	教育学部	教育学研究科 (修士課程)	教育学研究科 (専門職学位課程)	左記以外 (所属なし)
一般	9	3	0	2	4
研究生	0	0	0	0	0
科目等履修生	5	3	0	2	0
大学院特別研究学生	0	0	0	0	0
特別聴講学生	0	0	0	0	0
内地留学生	4	0	0	0	4
うち特殊教育内地留学生	0	0	0	0	0
うち現職教員派遣内地留学生	4	0	0	0	4
外国人留学生	42	34	8	0	0
研究生	9	8	1	0	0
科目等履修生	0	0	0	0	0
大学院特別研究学生	0	0	0	0	0
特別聴講学生	26	26	0	0	0
教員研修留学生	7	0	7	0	0

## 4 相談事業

## (1) こころの支援研究部門

相談件数	件数	備考
新規 受理件数	46件	(令和5年度 48 件)
昨年度からの引き継ぎ件数	61件	-
合計	107件	
面接 延べ回	848回	(内訳) 大学院生771回、研究協力員55回、講座教員 11 回

\* 面接は、複数のスタッフが関わることもあるため、面接延べ回数と内訳の合計は一致しない。

## ア 相談内容別

相談内容	件数	比率
不登校・登校渋り	21件	19.63%
対人関係	15件	14.02%
家族関係	8件	7.48%
場面緘黙・緘黙傾向	4件	3.74%
発達に関する相談	32件	29.91%
情緒不安定	0件	0.00%
非行・怠学・生活の乱れ	4件	3.74%
自分自身について	8件	7.48%
いじめ	0件	0.00%
育児不安	2件	1.87%
虐待	1件	0.93%
引きこもり	2件	1.87%
家庭内暴力	1件	0.93%
対人不安・対人恐怖	0件	0.00%
その他の不安・恐怖	4件	3.74%
パニック	0件	0.00%
トラウマ	0件	0.00%
強迫傾向	0件	0.00%
摂食障害	0件	0.00%
心身症	2件	1.87%
うつ	1件	0.93%
将来への不安	0件	0.00%
その他	2件	1.87%
合計	107件	

## イ 相談者年齢別

年齢区分	人数	比率
乳幼児	8人	7.48%
小学生	26人	24.30%
中学生	7人	6.54%
高校生	5人	4.67%
大学生	1人	0.93%
学生以外未成年	0人	0.00%
20代(学生以外)	2人	1.87%
30代(学生以外)	12人	11.21%
40代(学生以外)	29人	27.10%
50代(学生以外)	14人	13.08%
60代以上(学生以外)	3人	2.80%
合計	107人	

## ウ 面接形態別

面接形態	件数	比率
個人面接 (子どものみ、保護者のみのカウンセリング)	18件	16.82%
並行面接 (子どもと保護者と並行して行うカウンセリング)	89件	83.18%
家族面接 (家族が来訪し、家族面接となる場合)	0件	0.00%
その他 (心理検査など)	0件	0.00%

## (2) そだちの支援研究部門

相談件数	件数
新規 受理件数	20件
昨年度からの引き継ぎ件数	39件
合計	59件

## ア 相談内訳別

相談内容	件数	比率
発達障害	57件	96.61%
ビジョントレーニング	2件	3.39%
合計	59件	

## ウ 面接形態別

面接形態	件数	比率
親単独面接	9件	15.25%
親子並行面接	49件	83.05%
個人面接	1件	1.69%
合計	59件	

## イ 相談者年齢別

年齢区分	人数	比率
乳幼児（就学前）	14人	23.73%
児童（小学生）	32人	54.24%
生徒（中学生）	5人	8.47%
生徒（高校生）	4人	6.78%
乳幼児、児童、生徒を除く未成年	0人	0.00%
成人	4人	6.78%
合計	59人	

## エ 月別面接回数

実施月	回数(対面)	回数(遠隔)	小計
4月	52回	0回	52回
5月	52回	0回	52回
6月	76回	0回	76回
7月	100回	0回	100回
8月	27回	0回	27回
9月	70回	0回	70回
10月	73回	0回	73回
11月	86回	0回	86回
12月	84回	0回	84回
1月	84回	0回	84回
2月	73回	0回	73回
3月	41回	0回	41回
合計	818回	0回	818回

## 5 ボランティア活動

令和7年3月31日時点

	募集先	事業名	ボランティア 学生数
(1) 一般 (学習支援関係)	日進市教育委員会	学校教育支援学生サポーター配置 事業	3人

\*外国人児童支援ボランティアの近隣市への学生派遣状況については、第8章1 日本語教育支援センター（1）外国人児童生徒学習支援への学生派遣を参照

## 6 教育機関等との連携・協定

本学ウェブサイト参照

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/kyotei.html>

## 第7章 国際交流

## 1 留学生の受入状況

## (1) 外国人留学生在籍者

(単位：人)

所属・学生区分別	R6/ 5/ 1 現在									R6/ 4/ 1 ~ R7/ 3/31								
	国費			私費			合計			国費			私費			合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
総計	6	6	12	23	22	45	29	28	57	6	6	12	28	27	55	34	33	67
教育学部	0	0	0	3	3	6	3	3	6	0	0	0	5	4	9	5	4	9
正規学生	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4年	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
非正規学生	0	0	0	2	3	5	2	3	5	0	0	0	4	4	8	4	4	8
研究生	0	0	0	2	3	5	2	3	5	0	0	0	4	4	8	4	4	8
科目等履修生	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0
大学院教育学研究科	3	2	5	10	9	19	13	11	24	3	2	5	11	9	20	14	11	25
正規学生	3	1	4	10	9	19	13	10	23	3	1	4	11	9	20	14	10	24
修士課程	2	0	2	7	8	15	9	8	17	2	0	2	8	8	16	10	8	18
1年	0	0	0	6	1	7	6	1	7	0	0	0	7	1	8	7	1	8
2年	2	0	2	1	7	8	3	7	10	2	0	2	1	7	8	3	7	10
後期3年博士課程	1	1	2	3	1	4	4	2	6	1	1	2	3	1	4	4	2	6
1年	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0	2
2年	0	1	1	1	0	1	1	1	2	0	1	1	1	0	1	1	1	2
3年	0	0	0	1	1	2	1	1	2	0	0	0	1	1	2	1	1	2
非正規学生	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
研究生	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
科目等履修生	—	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0
特別研究学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	4	7	10	10	20	13	14	27	3	4	7	12	14	26	15	18	33
特別聴講学生	0	0	0	10	10	20	10	10	20	0	0	0	12	14	26	12	14	26
教員研修留学生	3	4	7	—	—	—	3	4	7	3	4	7	—	—	—	3	4	7

(単位：人)

国籍別	R6/ 5/ 1 現在									R6/ 4/ 1 ~ R7/ 3/ 31								
	国費			私費			合計			国費			私費			合計		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
総計	6	6	12	23	22	45	29	28	57	6	6	12	28	27	55	34	33	67
アジア	2	3	5	22	22	44	24	25	49	2	3	5	26	26	52	28	29	57
パキスタン	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
バングラデシュ	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
タイ	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2	2	0	2
インドネシア	1	0	1	0	2	2	1	2	3	1	0	1	0	2	2	1	2	3
香港	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1
韓国	0	0	0	1	2	3	1	2	3	0	0	0	1	2	3	1	2	3
モンゴル	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1
ベトナム	0	0	0	1	1	2	1	1	2	0	0	0	1	1	2	1	1	2
中国	0	0	0	11	15	26	11	15	26	0	0	0	15	18	33	15	18	33
カンボジア	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0	2	2
台湾	0	0	0	7	1	8	7	1	8	0	0	0	6	2	8	6	2	8
アフリカ	2	3	5	0	0	0	2	3	5	2	3	5	0	0	0	2	3	5
ナイジェリア	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
リベリア	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
ジンバブエ	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
マラウイ	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
ボツワナ	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
オセアニア	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
ソロモン諸島	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1
中南米	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0	2
ブラジル	1	0	1	1	0	1	2	0	2	1	0	1	1	0	1	2	0	2
ヨーロッパ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2
ドイツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	1	2

**(2) 留学生支援**

外国人留学生チューターの配置実績

学習 チューター	41人	留学生の専攻に関する学生
日本語 チューター	24人	日本語能力を確認し、日本語チューターが必要な留学生にのみ日本語チューターを配置

**2 在学生の海外留学**

海外派遣実績

当該年度 4/1~3/31 の実績 (単位：人)

国・地域	派遣先大学	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		2019	2020	2021	2022	2023	2024
米国	ボールステイト大学	0	0	0	0	0	0
英国	ニューマン大学	2	0	1	0	2	0
ドイツ	フライブルク教育大学	2	0	1	1	0	2
香港	香港教育大学	0	0	1	1	0	0
台湾	台湾師範大学	0	0	0	1	0	0
韓国	晋州教育大学校	0	0	0	0	0	0
インドネシア	国立ジョグジャカルタ大学	0	0	1	0	0	0
韓国	光州教育大学校	0	0	0	0	0	1
合計		4	0	4	3	2	3

## 3 国際学術交流協定締結校

## (1) 締結状況

令和7年3月31日 現在

国際学術交流協定締結校	合計 29校	協定内容		締結年月
		学術交流	学生交流	
アジア	20校			
タイ	AUE・ラチャパット・コンソーシアム (9校)	○	○	1996年5月 (2004年改訂)
インドネシア	国立スラバヤ大学	○	○	2005年3月 (2012年改訂)
	国立ジョグジャカルタ大学	○	○	2009年11月 (2014年改訂)
香港	香港教育大学	○	○	2008年5月 (2021年改訂)
韓国	国立晋州教育大学校	○	○	1997年5月 (2007年改訂)
	国立光州教育大学校	○	○	2011年6月
	国立京仁教育大学校	○	○	2016年10月
モンゴル	モンゴル国立教育大学	○	○	2015年3月
ベトナム	ハノイ教育大学	○	○	2003年10月
中国	南京師範大学	○	○	1988年11月 (2011年改訂)
	東北師範大学	○	○	2010年4月
	湖南師範大学	○	○	2012年3月
	陝西師範大学	○	○	2019年11月
	北京師範大学	○	○	2019年11月
	上海教育国際交流協会	○	○	2023年6月
カンボジア	国立教育研究所	○	○	2014年7月
台湾	国立彰化師範大学	○	○	2004年5月
	国立聯合大学	○	○	2006年11月
	国立台湾師範大学	○	○	2011年8月
	国立台北教育大学	○	○	2012年3月
中東	1校			
イラン	ファルハンギアン教育大学	○	-	2017年7月
北米	4校			
アメリカ合衆国	ボールステイト大学	○	○	1988年5月 (2000年改訂)
	ニューヨーク州立大学フレドニア校	○	○	1988年6月 (2014年改訂)
	インディアナ州立大学	○	○	2021年3月
カナダ	プリティッシュコロンビア大学教育学部 (オカナガンキャンパス)	○	○	2023年8月
中南米	1校			
ブラジル	サンパウロ大学	○	○	2013年1月
ヨーロッパ	3校			
英国	ニューマン大学	○	○	2003年3月 (2023年改訂)
ドイツ	フライブルク教育大学	○	○	2006年3月
ロシア	モスクワ教育大学	○	○	1994年3月 (2003年改訂)

\* 協定内容 学術交流：学術交流に関する協定(学生交流を含む) 学生交流：学生交流計画に関する協定

\* アフリカ、オセアニアには国際学術交流協定締結校なし。

\* アメリカ合衆国のインディアナ州立大学について、協定内容(学生交流)を修正した。

## (2) 単位互換

令和6年度単位認定の状況

(単位：人)

国際学術交流協定締結校	認定者数	備考
国立晋州教育大学校	0	2013年9月調印
国立ジョグジャカルタ大学	0	2019年8月締結

## (3) 研究者等の受入状況

国際学術交流協定締結校からの招へい教職員受入実績

当該年度 4/1~3/31 の実績 (単位: 人)

	令和元年度 2019			令和2年度 2020			令和3年度 2021			令和4年度 2022			令和5年度 2023			令和6年度 2024		
	教	務	計	教	務	計	教	務	計	教	務	計	教	務	計	教	務	計
計	2	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
中国	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
韓国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台湾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インドネシア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
タイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベトナム	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
モンゴル	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0

## 4 大学間交流行事

令和6年度 大学間交流受入行事

受入年月	行事等	受入人数
2024年5月	晋州教育大学 (韓国) からのショートステイプログラム	学生11人、教職員2人
6月	ニューマン大学 (イギリス) からのショートステイプログラム	学生9人
7月	光州教育大学 (韓国) からのショートステイプログラム	学生10人、教員1人
11月	モンゴル国立教育大学からのショートステイプログラム	学生10人、教員6人

令和6年度 大学間交流派遣行事

派遣年月	行事等	派遣人数
2024年8月	チェンライ・ラチャバット大学 (タイ) へのショートビジットプログラム	学生3人
8月	インディアナ州立大学 (アメリカ) へのショートビジットプログラム	学生7人、教員1人
9月	フライブルク教育大学 (ドイツ) へのショートビジットプログラム	学生6人
9月	晋州教育大学 (韓国) への交流プログラム	学生8人、教員1人
9月	モンゴル国立教育大学 (モンゴル) へのショートビジットプログラム	学生2人
9月	モンゴル国立教育大学 (モンゴル) への科学・ものづくり推進交流プログラム	学生12人、教員2人
2025年2月	国立教育研究所 (カンボジア) へのショートビジットプログラム	学生3人
2月	国立スラバヤ大学 (インドネシア) へのショートビジットプログラム	学生3人

## 5 外国人教員の採用状況

外国人教員 (本務教員) 在籍状況

令和6年5月1日 現在 (単位: 人)

国籍	教授	准教授	講師	合計
ドイツ	1			1
韓国		1 (1)		1 (1)
カナダ		1		1
合計	1	2 (1)		3 (1)

\* ( )は女性的人数で内数

外国人教員 (兼務教員) 在籍状況

令和6年5月1日 現在 (単位: 人)

国籍	合計	分野
カナダ	1	英語
アメリカ合衆国	1	英語
イギリス	2	英語
中国	3 (2)	中国語、教育課程論
ブラジル	2 (2)	ポルトガル語
モンゴル	1 (1)	教育課程論
合計	10 (5)	

\* ( )は女性的人数で内数

## 第8章 附属施設の概要

## 1 附属図書館

## ア 施設規模

令和6年5月1日現在

各フロア集計	延床面積	閲覧座席数	収納可能冊数	情報コンセント	
				有線ポート	無線LAN
合計	5,861 m <sup>2</sup>	411 席	766,300 冊	105	
1階	1,933 m <sup>2</sup>	0 席	523,900 冊	0	無
書庫	1,526 m <sup>2</sup>		523,900		
その他	407 m <sup>2</sup>				
2階	1,945 m <sup>2</sup>	221 席	68,900 冊	21	有
閲覧スペース	152 m <sup>2</sup>	28	8,200		
学修スペース	509 m <sup>2</sup>	193		21	
書庫	132 m <sup>2</sup>		60,700		
事務室	194 m <sup>2</sup>				
その他	958 m <sup>2</sup>				
3階	1,928 m <sup>2</sup>	190 席	173,500 冊	84	有
閲覧スペース	1,440 m <sup>2</sup>	154	173,500	84	
学修スペース	107 m <sup>2</sup>	36			
その他	381 m <sup>2</sup>				
屋上	55 m <sup>2</sup>	0 席	0 冊	0	無
塔屋	55 m <sup>2</sup>	0	0	0	

## イ 蔵書状況及び受入状況

蔵書数は令和7年3月31日現在、受入数は当該年度累計

項目名	蔵書数	受入数
図書	613,613 冊	3,601 冊
和書	487,682 冊	3,396 冊
洋書	125,931 冊	205 冊
雑誌	10,647 種	470 種
和雑誌	8,791 種	434 種
洋雑誌	1,856 種	36 種
電子ジャーナル契約	6,366 タイトル	
うち外国書	2,172 タイトル	
視聴覚資料	3,099 点	
学術情報リポジトリ登録件数	9,344 件	

## ウ 開館状況

当該年度累計

	開館日数	開館時間数
合計	274 日	2,873 h
平日		
通常	65 日	520 h
延長	157 日	2,041 h
土日祝日	52 日	312 h
休館日数	91 日	-

通常開館 : 平日 月～金 9:00～17:00

延長開館 : 平日 月～金 9:00～22:00

休日 土・日・祝日 11:00～17:00

\* 休業期間中又は行事等により、開館日時の変更あり。

## 工 利用状況

(当該年度累計)

	利用者別				合計
	教職員	学生	学内者		
			学内者	学外者	
入館者数	-	-	110,404 人	4,057	114,461 人
平日	-	-	104,139 人	3,579	107,718 人
土日祝	-	-	6,265 人	478	6,743 人
貸出冊数	5,773 冊	25,788 冊	31,561 冊	673	32,234 冊
平日	4,876 冊	22,553 冊	27,429 冊	522	27,951 冊
土日祝	897 冊	3,235 冊	4,132 冊	151	4,283 冊
参考業務	882 件	1,307 件	2,189 件	899	3,088 件
相互利用件数	778 件	346 件	1,124 件	674	1,798 件
相互貸出	204 件	66 件	270 件	444	714 件
受付	-	-	-	444	444 件
依頼	204 件	66 件	270 件	-	270 件
文献複写	574 件	280 件	854 件	230	1,084 件
学内受付	207 件	0 件	207 件	0	207 件
学外受付	-	-	-	230	230 件
依頼	367 件	280 件	647 件	-	647 件
レファレンス件数	71 件	944 件	1,015 件	127	1,142 件
所在調査	20 件	352 件	372 件	28	400 件
事項調査	0 件	4 件	4 件	4	8 件
利用指導	51 件	588 件	639 件	95	734 件
その他件数	33 件	17 件	50 件	98	148 件
謝絶、紹介状受付件数等	33 件	17 件	50 件	98	148 件
学術情報リポジトリ					1,297,914 件
ダウンロード件数					1,297,914 件

\* ダウンロード件数：検索サイト（Google、Yahoo等）による巡回アクセス数は含まない。

## オ 多目的スペース使用状況

使用期間	タイトル	主催者	使用目的
4月12日～4月23日	「群翔展」	学生	展示
5月8日	「混声合唱団新歓演奏会」	学生	イベント
7月17日	「混声合唱団学内演奏会」	学生	イベント
7月19日～7月22日	「オープンキャンパスにおける図書館イベント」	図書館運営室	イベント・展示
8月9日～8月10日	「よみっこ夏の読み聞かせ祭！」（子どもキャンパス）	学生	イベント
10月18日～10月21日	「保護者懇談会における図書館イベント」	図書館運営室	イベント・展示
10月23日～11月18日	「写真展 #I'm Teaching Because-世界中の先生たちの思い-」	JICA愛知デスク 地域連携センター	展示
10月30日	「トークイベント #I'm Teaching Because-JICA海外協力隊を経験して-」	JICA愛知デスク 地域連携センター	イベント
11月22日～11月23日	「読書の秋だ！よみっこ読み聞かせ祭!!」（子どもキャンパス）	学生	イベント
11月29日～12月20日	「風景写生展」	美術教育講座	展示
1月16日～1月24日	「ユースクリニック」	保健体育講座	イベント・展示
2月1日～2月11日	「愛知教育大学図画工作・美術選修 卒業制作展」	美術教育講座	展示
2月11日～2月21日	「彫刻展」	美術教育講座	展示
3月17日～3月21日	「写真サークルRAW 卒業展示」	学生	展示

## 2 教職キャリアセンター

運営	第1回教職キャリアセンター委員会（令和6年4月30日）
	第2回教職キャリアセンター委員会（令和6年6月12日～19日）
	第3回教職キャリアセンター委員会（令和6年8月19日～23日）
	第4回教職キャリアセンター委員会（令和6年11月12日～18日）
	第5回教職キャリアセンター委員会（令和7年1月15日）
発行物	愛知教育大学教職キャリアセンター紀要第10号（令和7年3月31日発行）論文掲載数32件
	公開：愛知教育大学学術情報リポジトリ <a href="https://aue.repo.nii.ac.jp/">https://aue.repo.nii.ac.jp/</a>

## (1) 教科教育学研究部門

取組	例会	
	4月例会（令和6年4月17日）	【テーマ決定】「令和の教員養成と教科教育」
	5月例会（令和6年5月22日）	【発表者】養護教育講座 武市 裕子
	6月例会（令和6年6月19日）	【発表者】音楽教育講座 田舎片 麻未
	10月例会（令和6年10月23日）	【発表者】保健体育講座 村松 愛梨奈
	11月例会（令和6年11月27日）	【発表者】家政教育講座 山根 真理
	1月例会（令和7年1月29日）	SCOPEの内容紹介
	2月例会（令和7年2月19日）	【ICT活用等普及推進統括部門発表】 数学教育講座 青山 和裕 特別支援教育講座 小倉 靖範
	大学・附属学校共同研究会	
	大学・附属学校共同研究会代表者会議（令和6年4月17日）	
8月を中心に 14分科会で大学教員と附属学校教員が共同研究を実施		
環境整備		
小学校用教科書（令和6年度使用）54種259点購入		
教育未来館3階に配架		
発行物	SCOPEⅢ第15号（令和6年3月1日発行）論文掲載数16件	
	特集「令和の教員養成と教科教育」 公開：愛知教育大学教職キャリアセンターサイト <a href="https://tc.aichi-edu.ac.jp/database/scope3/">https://tc.aichi-edu.ac.jp/database/scope3/</a>	

## (2) 教育支援専門職研究部門

取組	「チーム学校」理解についてのオンデマンド教材開発	
	令和6年7月16日	教材作成デザイン、原稿作成、撮影と録画、編集などの教材開発作業
	令和6年7月26日	教材作成デザイン、原稿作成、撮影と録画、編集などの教材開発作業
	令和7年1月9日	教材作成デザイン、原稿作成、撮影と録画、編集などの教材開発作業
	令和7年3月31日	教材作成デザイン、原稿作成、撮影と録画、編集などの教材開発作業
教材を用いた学生の理解度促進の検証		
心理コース4年生に対して基礎編・実践編Ⅰ・Ⅱの教材を使った授業を実施、検証		
発行物	「チーム学校」を理解するために一困難を抱える子供たちの支援について－実践編Ⅱ	
	公開：愛知教育大学教職キャリアセンターサイト <a href="https://tc.aichi-edu.ac.jp/database/teamgakkou/">https://tc.aichi-edu.ac.jp/database/teamgakkou/</a>	

(3) ICT活用等普及推進統括部門

取組	部門会議・クロアポミーティング（客員教授・客員准教授を含む情報交換等）		
	毎週水曜開催		
	こらぼミーティング（こらぼ運営に関する情報交換等）		
	毎週月曜開催		
	教員養成の教育課程に関連する事項		
	ICT活用指導力向上に向けての各教科の指導法の検討		
	特別支援におけるICT活用		
	「学校教育におけるICT活用」科目の運用		
	ICT活用指導力のパスポートシステムの運用		
	ICT活用指導力の分析		
	教育課程外の支援に関連する事項		
	こらぼ（旧ALJルーム）の運営（学生ICT支援員の育成等を含む）		
	【体制】こらぼ学生（学生ICT支援員・こらぼら）1-M2年生：60人		
	【実績】学生ICT支援員・こらぼら向け勉強会:2時限、授業支援等:25時限、附属学校支援:42時限、勉強会講師:6回、学内外イベント支援:21回、体験型勉強会支援:34日間、機器貸出し:324回、機器類メンテナンス:毎月数時間程度		
	学外連携に関連する事項		
	教員養成大学や教育委員会との連携による全国展開		
	企業・自治体連携		
	著作権法関係		
	研修会	学内のICT活用指導力向上に関する研修会 ※全学FD研修会	
		令和6年10月23日	全学FD「学生のICT活用指導力向上に向けて3－教職課程における課題と取組を中心に－」 体験型勉強会（見本市）
令和6年4月15日～19日		見本市（第4回）	
令和6年10月28日～11月1日		見本市（第5回）	
令和6年5月7日～17日		第1回 Chromebook・iPad・授業支援ツール体験会	
令和6年7月2日～8日 8月20日～27日 9月2日～6日		第2回 Chromebook・iPad・授業支援ツール体験会	

(4) 教員研修部門

取組	愛知教育大学教員研修連携協議会（愛知県総合教育センター/名古屋市教育センター）		
	令和6年5月27日	第1回 愛知教育大学教員研修連携協議会	
	令和6年10月29日	第2回 愛知教育大学教員研修連携協議会	
	令和7年3月5日	第3回 愛知教育大学教員研修連携協議会	
研修会	令和6年度オンデマンドによるスクールリーダー研修会		
	令和6年7月19日～8月31日	方法:Google Classroomを使用したオンデマンド研修 対象者:小・中・高・特別支援学校の管理職および教育委員会関係者	参加者:延べ186人
	令和6年度スクールリーダー研修会		
	第1回 令和6年6月25日	会場:名古屋国際会議場 対象者:小・中・高・特別支援学校の管理職、教育委員会関係者	参加者:39人
	第2回 令和6年11月19日		参加者:47人
	第3回 令和6年12月3日		参加者:46人
	令和6年度喫緊の教育課題を学ぶ会（自主研修会）		
	第1回 令和6年6月12日	会場:愛知教育大学 対象者:教員、教育委員会及び自治体職員、教員を目指す学生（院生）	参加者:19人
第2回 令和6年8月28日	参加者:32人		
第3回 令和6年10月9日	参加者:19人		

## 3 教育研究創成センター

運営	第1回教育研究創成センター（令和6年5月27日）
	第2回教育研究創成センター（令和7年3月3日）

## (1) 実践教育研究部門

実施日	内容
取組	5月14日 附属学校の人事採用に関する調査及び教員採用形態による実習の在り方の調査 ※広島大学附属福山高等学校にて
	9月27日 日本教育大学協会教育実習研究部門第38回研究協議会への参加 ※研究発表への参加 ※統合協議「社会状況の変化と教育実習」への参加
	12月～1月 教育実習実施に伴う、実習記録簿等の調査及び実習記録簿等の新様式の構想及び制作

## (2) FD開発部門

## ア 全学FD講演会等

(単位：人)

実施日	題名	実施組織	教員	事務職員
7月3日	FD・SD研修会「学修者本位の大学づくり—施設の利用方法の改善と学生・院生の居場所づくり—」	未来共創プラン戦略8 学生支援課 教育研究創成センター	21	24
10月23日	全学FD「学生のICT活用指導力向上に向けて③—教職課程における課題と取組を中心に—」	教職キャリアセンター ICT活用等普及推進統括部門 教育研究創成センター	65	11
10月30日	全学FD「学生のニーズと修学支援方法 ～発達障害・精神疾患等の事例を中心に～」	学生支援課 教育研究創成センター	38	25
11月27日	全学FD講演会「学修成果をどのように授業改善・カリキュラム改善に結びつけるか」	教育研究創成センター FD開発部門	93	17
1月8日	全学FD講演会「外国にルーツを持つ子ども達への教育の必要性を大学全体で認識する part2」	日本語教育支援センター 教育研究創成センター	17	8
2月12日	FD・SD 教職学協働プロジェクト「学生・院生の居場所づくり検討チーム報告会&次年度への挑戦」	未来共創プラン戦略8 教育研究創成センター	19	15
9月25日 -2月28日	全学FD「授業とカリキュラムの省察」	教育研究創成センター FD開発部門	-	-
参加者数は延べ数で、教員には非常勤講師を含む。			参加者数合計	253
				100

## イ 授業公開

(単位：人)

公開日	授業名	授業者	教員	事務職員
対面実施				
4月25日(木)4限	調理実習Ⅱ	筒井 和美	4	
5月2日(木)2限	栄養学	岡本 陽	8	
6月14日(金)2限	中等保健体育科教育法CⅣ	西村 三郎	3	
6月18日(火)4限	図画工作科教育法A	永江 智尚	4	
6月20日(木)4限	体育原論	北川 修平	10	
6月20日(木)4限	調理実習Ⅱ	筒井 和美	2	
7月8日(月)2限	教育原論	野平 慎二	3	1
7月10日(水)2限	E 生徒指導・進路指導の理論と方法	高網 睦美	4	
7月22日(月)2限	総合的学習のカリキュラム編成と実践	柿崎 和子	6	2
7月22日(月)3限	初年次演習	山根 真理、西川 愛子	3	1
7月30日(火)3限	生物学特論B	常木 静河	7	
8月7日(水)1限	教職実践演習(第4回)	鈴木 一成、山下 純平	3	2
10月7日(月)2限	調理学	筒井 和美	2	
10月22日(火)5限	肢体不自由者の教育課程・指導法(2種免許取得プログラム)	小倉 靖範	2	1
11月5日(火)4限	科学リテラシー	阿武木 啓朗	5	
11月13日(水)4限	後期教育実習・事後指導(専攻科・2種免許取得プログラム合同)	小倉 靖範	6	
11月21日(木)2限	ポルトガル語Ⅰ	二井 紀美子	3	
12月3日(火)1、2限	ジェンダー・セクシュアリティと教育	山根 真理、高橋 靖子	11	1
12月24日(火)4限	教育の制度と行政	風岡 治	8	2
1月14日(火)1限	Advanced English	MAYER Oliver	2	
1月31日(金)1限	子どものことばの発達とその支援	岩田 吉生	3	1
2月5日(水)2限	生徒指導・進路指導の理論と方法	非) 服部 剛典	5	
2月13日(木)3限	保育学	山根 真理	15	3
参加者数合計			119	14

## ウ 授業改善のためのアンケート、自己評価報告書

前期(7月9日～8月2日)

アンケート結果 [https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/questionnaire/ar6\\_1/](https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/questionnaire/ar6_1/)自己点検評価結果 [https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/selfassessment/r6\\_1/](https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/selfassessment/r6_1/)

後期(1月28日～2月20日)

アンケート結果 [https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/questionnaire/ar6\\_2/](https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/questionnaire/ar6_2/)自己点検評価結果 [https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/selfassessment/r6\\_2/](https://sousei.aichi-edu.ac.jp/publication/selfassessment/r6_2/)

## エ 新任教員研修会

(単位：人)

実施日	題名	教員	事務職員
8月29日	令和6年度採用職員研修(教務関係)	17	5

## 4 教育臨床総合センター

第6章 地域連携・社会貢献の「相談事業」を参照

## 5 国際交流センター

第7章 国際交流を参照

## 6 地域連携センター

## (1) 講師派遣依頼

機関	件数	内訳 (件数)			
		講師派遣			その他
		教員対象	児童・生徒 対象	その他	
教育委員会	120	97	2	18	3
学校	328	308	17	3	0
教育センター	30	25	0	5	0
行政機関 (上記除く)	38	19	2	17	0
企業	5	1	0	3	1
その他	182	148	1	32	1
計	703	598	22	78	5

## (2) 協定の締結状況

本学ウェブサイト参照

<https://www.aichi-edu.ac.jp/renkei/area/kyotei.html>

## (3) 公開講座

第6章 地域連携・社会貢献の「公開講座」を参照

## (4) 高校訪問授業

区分	派遣数	実施月						
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県内公立	22	2	3	0	2	6	8	1
県内私立	1	0	1	0	0	0	0	0
県外	2	1	0	0	1	0	0	0

## (5) その他の実施イベント

地域連携フォーラム2024

実施日	テーマ	場所	参加者数
令和7年2月8日	未来をともに創る 私たちのSDGs	刈谷市総合文化センター	110人

医教連携フォーラム

実施日	テーマ	場所	参加者数
令和6年7月29日	医教連携によって開発した食物アレルギー等 緊急時対応プログラムの実践 ～医教連携フォーラム2024 in 岐阜～	各務原市産業文化センター	29人
令和6年12月25日	医教連携によって開発した食物アレルギー等 緊急時対応プログラムの実践 ～医教連携フォーラム2024～	刈谷市総合文化センター	34人

ユネスコスクール指導者研修会

実施日	テーマ	場所	参加者数
令和6年8月23日	普段の授業をどのようにしてESDとして 展開していくか	愛知県生涯学習推進センター	22人

## (6) 発行物

区分	タイトル	発行年月
広報誌	ちいきの大学第22号	令和7年3月

7 科学・ものづくり教育推進センター

(1) 科学ものづくりフェスタ

実施日	実践名・実践場所	対象	来場者数(人)	参加学生数(人)	学外ブース数
令和6年11月16日	科学・ものづくりフェスタ@愛教大(大学)	幼・小・中・高・一般	約1500	81	7

(2) 訪問科学実験

実施日	実践名・実践場所	対象	参加者数 :子ども (人)	参加者数 :保護者(人)	参加学生数 (人)	区分
	計 54回				409	
令和6年4月14日	刈谷市夢と学びの科学体験館	未就学児~小学生	120	多数	19	科学館
令和6年4月20日	東浦町立森岡小学校(森岡子供会)	未就学児~小学生	140	13	11	その他
令和6年4月27日	知立市上重原公民館(上重原北子供会)	未就学児~小学生	35	3	6	その他
令和6年5月3日	蒲郡市生命の海科学館(サイエンスショー)	未就学児~小学生	20	10	7	科学館
令和6年5月5日	子どもまつり(大学内)	未就学児~小学生	多数	多数	6	本学
令和6年5月11日	大学祭(大学内)	全年齢対象	多数	多数	12	本学
令和6年5月12日	大学祭(大学内)	全年齢対象	多数	多数	14	本学
令和6年5月18日	蒲郡市生命の海科学館(移動科学教室)	未就学児~小学生	40	20	6	科学館
令和6年5月19日	東海市緑陽コミュニティセンター(三ツ屋大根子ども会)	小学1~6年生	21	4	7	その他
令和6年5月25日	尾張旭市中央公民館	小学1~6年生	25	25	8	その他
令和6年6月8日	プライムツリー赤池	小・中学生	多数	多数	8	その他
令和6年6月9日	豊明市坂部区公民館(坂部南子供会)	小学1~6年生	30	15	7	その他
令和6年6月15日	名古屋国際会議場(未来へつなぐ科学機器展 東海サイエンスパーク2024)	小・中学生	300	多数	13	その他
令和6年6月26日	刈谷市立衣浦小学校	小学6年生	94	0	5	学校
令和6年6月29日	大府市共和西児童老人福祉センター(あらいけ子ども会)	小学1~6年生	35	4	5	その他
令和6年7月3日	刈谷市立富士松北小学校	小学6年生	72	0	4	学校
令和6年7月10日	刈谷市立小垣江小学校	小学5年生	92	0	6	学校
令和6年8月10日	プリオ豊川(とよかわサイエンス夏祭り)	小学1~6年生	多数	多数	7	その他
令和6年8月12日	蒲郡市生命の海科学館(サイエンスショー)	小・中学生	多数	多数	6	科学館
令和6年8月18日	刈谷市夢と学びの科学体験館	未就学児~小学生	120	120	6	科学館
令和6年8月19日	刈谷市北部生涯学習センター(1DAY講座)	小学1~6年生	20	多数	6	その他
令和6年8月22日	稲沢市千代田市民センター	小学6年生	50	12	6	その他
令和6年8月26日	豊川市一宮保育園	保育園児	125	0	5	その他
令和6年8月28日	知立市中央公民館	小学1~6年生	20	0	5	その他
令和6年8月29日	名古屋大学高学童クラブ	小学1~6年生	25	3	7	その他
令和6年9月22日	東京学芸大学 青少年のための科学の祭典 東京大会in小金井	小・中学生	多数	多数	6	その他
令和6年10月5日	イオンモール岡崎(里親フェスタ愛知県西三河児童・障害者相談センター)	小学生	多数	多数	4	その他
令和6年10月6日	東郷町白鳥コミュニティセンター(白鳥自治会)	小・中学生	100	40	5	その他
令和6年10月12日	刈谷市産業振興センター(刈谷市生活・創意工夫展)	未就学児~小学生	多数	多数	8	その他
令和6年10月13日	刈谷市産業振興センター(刈谷市生活・創意工夫展)	未就学児~小学生	多数	多数	6	その他
令和6年10月20日	名古屋第一幼稚園	年長~小学3年生	20	10	4	その他
令和6年10月26日	愛西市立八輪小学校(八開地域子ども会のびのびっこ)	小学1~6年生	50	15	7	その他
令和6年10月27日	スカイホール豊田(とよたものづくりフェスタ2024)	小・中学生	多数	多数	8	その他
令和6年10月30日	刈谷市立かりがね小学校	小学6年生	130	0	13	学校
令和6年11月6日	刈谷市立平成小学校	小学5、6年生	122	0	8	学校
令和6年11月30日	デンソー本社(デンソー・夢卵2024)	小・中学生	多数	多数	12	その他
令和6年12月1日	デンソー本社(デンソー・夢卵2024)	小・中学生	多数	多数	11	その他
令和6年12月4日	刈谷市立住吉小学校	小学6年生	119	0	5	学校
令和6年12月7日	名古屋市立城北小学校	小学1~6年生	104	100	10	学校
令和6年12月8日	刈谷市井ヶ谷子ども会	未就学児~小学6年生	94	若干名	7	その他
令和6年12月14日	大府市立大府小学校(PTA)	小学生	50	30	8	その他
令和6年12月15日	冬の子どもまつり(大学内)	未就学児~小学6年生	30	若干名	5	本学
令和6年12月18日	刈谷市立日高小学校	小学6年生	91	0	8	学校
令和6年12月22日	みよし市立天王小学校(新屋子育てクラブ)	小学1~6年生	36	30	5	その他
令和7年1月15日	刈谷市立朝日小学校	小学6年生	108	0	6	学校
令和7年1月25日	豊明市南部公民館	小学1~6年生	18	4	6	その他
令和7年1月26日	刈谷市夢と学びの体験学習館(ミライク刈谷2024)	未就学児~小学生	46	若干名	6	科学館
令和7年2月2日	安城市立志貴小学校	5歳・小学1~6年生	142	15	5	学校
令和7年2月23日	瑞浪市サイエンスワールド(大学生サイエンスフェスティバル2025)	小・中学生	多数	多数	10	その他
令和7年3月7日	愛知教育大学附属名古屋幼稚園	年長	46	46	4	その他
令和7年3月9日	知多市児童センター	小学1~中学3年生	100	20	10	その他
令和7年3月10日	岡崎女子短期大学付属幼稚園	年中・年長	72	0	7	その他
令和7年3月13日	依佐美清涼保育園(父母会)	年中・年長	60	3	8	その他
令和7年3月29日	あつまれ!子どもキャンパスin刈谷ハイウェイオアシス	全年齢対象	多数	多数	15	その他

(3) ものづくり教室

実施日	実施会場	内容	対象	参加者数 (人)
計 6回				70
令和6年4月20日	愛知教育大学	木でつくる身近なものづくり～ミニテーブル・スライド小箱・ミニチュアなど～	小3～中3 小1, 2保護者同伴	15
5月18日	愛知教育大学	形状記憶合金で熱エンジンをつくろう	小3～中3	9
6月15日	愛知教育大学	フルフル発電機をつくろう	小3～中3	14
6月22日	愛知教育大学	金属を溶かしてタグをつくろう	小3～中3	7
令和6年12月1日	東浦町公民館	・金属を溶かしてタグをつくろう ・フルフル発電機を作ろう	小学生	4
令和6年12月21日	愛西市文化会館	「あいさい土曜キラリ☆学習」 ・金属を溶かしてタグをつくろう ・フルフル発電機を作ろう ・形状記憶合金で熱エンジンを作ろう	小学生	21

(4) その他の実施イベント

令和6年8月21日 理科観察実験指導力向上セミナー(小学校教員対象)を実施  
 令和6年8月22日 理科観察実験指導力向上セミナー(中学校教員対象)を実施

8 健康支援センター

令和6年度健康支援センター利用者数

累計(単位:人)

区分	傷病	内科			休養室利用	健康相談	身体的	精神的	その他	健康診断	定期健診	クラブ健診	医療機関紹介	診断書発行	その他来所者	計
		内科	外科	その他												
学生	141	77	58	6	55	1,104	344	517	243	3,796	3,791	5	10	3	741	5,850
男	38	26	10	2	10	353	137	125	91	1,586	1,581	5	4	2	128	2,121
女	103	51	48	4	45	751	207	392	152	2,210	2,210	0	6	1	613	3,729
大学職員	22	14	7	1	5	325	29	60	236	0	0	0	1	0	470	823
その他	14	10	4	0	11	65	3	0	62	0	0	0	1	0	312	403
合計	177	101	69	7	71	1,494	376	577	541	3,796	3,791	5	12	3	1,523	7,076

\* 学生は、正規学生(学部、大学院、専攻科)及び非正規学生(研究生、科目等履修生等)の合計  
 \* 大学職員は、理事等、大学教員、附属学校教員、事務職員、非常勤講師、非常勤職員の合計  
 \* その他は、保護者、学外者等の合計  
 \* クラブ健診は、競技会参加のための事前健康健診をクラブ・サークルの依頼で行った場合などが該当

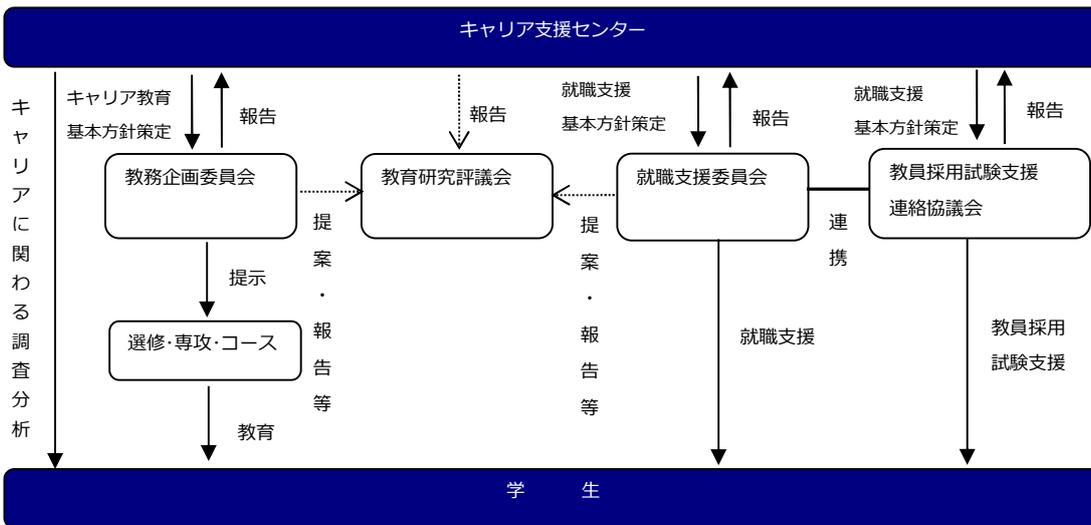
9 ICT教育基盤センター

講習会等の実施状況

講習会・タイトル	対象	講師	参加者数
情報セキュリティ講習会			
「事務職員のための業務におけるパソコン活用について」	新任事務職員	情報企画室職員	12人
「学内ネットワークなどの利用方法について」	新任教員	情報企画室職員	10人
個人情報保護・情報セキュリティセミナー			
「令和6年度情報セキュリティセミナー」	教職員(附属学校教員含む)	eラーニング形式のためなし (教材作成は広島県教科用図書販売株式会社)	387人
基礎講習			
「情報教育入門」	教育学部1年	担当教員	907人

10 キャリア支援センター

(1) 支援体制



(2) 支援プログラム

キャリア形成支援プログラム 令和6年度

		1年生	2年生	3年生	4年生
大学の支援体制	教育	キャリアデザインⅠ (前期：必修)  学校体験活動入門	キャリアデザインⅡ (後期：必修)  学校体験活動Ⅰ  心理コース(心理的アセスメント 心理実習等)	学校教育実習  学校体験活動Ⅱ・地域協働教育体験活動(自然領域、多文化領域、社会領域)から1科目選択  福祉コース (スクールソーシャルワーク実習・社会福祉実習等) 教育ガバナンスコース (学校・自治体インターンシップ)	教育実習(小・中・高)  特別支援学校教育実習  教職実践演習
	ガイダンス等	キャリアデザインガイダンス	教員就職ガイダンス  各課程ガイダンス  インターンシップガイダンス	企業・公務員就職ガイダンス  インターンシップガイダンス	教員就職ガイダンス  再チャレンジガイダンス
		個別相談			
		対策講座、セミナー			

・卒業後支援について：卒業生に対しても必要に応じ窓口相談等を行う。

また、地域の教育機関からの非常勤講師募集等の情報を集約し、適宜情報提供する。

## 11 日本語教育支援センター

## (1) 外国人児童生徒学習支援への学生派遣

事業名	支援場所				支援児童 生徒数	ボランティア 派遣学生数
	市町村	小学校	中学校	その他		
小中学校等での個別支援	刈谷市	6校	2校		26人	27人
	豊田市	11校	3校		35人	31人
	知立市	2校	1校	1団体	12人	19人
集団支援（マスマス教室）	知立市立知立東小学校				90人	延べ235人 (実施回数12回)
土曜親子日本語教室	愛知教育大学				※延べ108人	延べ117人 (実施回数14回)

\* 令和6年度の学部生・大学院生のボランティア登録者数：242人

※土曜親子日本語教室については、未就学児・大人を含む

## (2) センター主催研修会

令和6年度センター主催研修会

実施日	研修会名	対象	参加者
令和6年4月19日 令和6年5月17日	初めて日本語担当/国際教室担当となった教員に対する研修	初めて日本語担当/国際教室担当となった教員	70人
令和6年8月5日	初めて日本語担当/国際教室担当となった教員に対するフォローアップ研修	初めて日本語担当/国際教室担当となった教員	16人
令和6年9月15日	「基礎から学ぼう」講座1	教員	170人
	「基礎から学ぼう」講座2	教員	174人
令和6年9月28日	「基礎から学ぼう」講座3	教員	177人
	「基礎から学ぼう」講座4	教員	173人
令和6年11月23日	子どもたちへの日本語指導 ワークショップ 講座1	教員	21人
	子どもたちへの日本語指導 ワークショップ 講座2	教員	21人
令和6年12月21日	子どもたちへの日本語指導 ワークショップ 講座3	教員	21人
	子どもたちへの日本語指導 ワークショップ 講座4	教員	23人
令和7年2月11日	スピノフ研修	教員	10人

## (3) 委員委嘱及び講師派遣依頼

令和6年度委員委嘱及び講師派遣依頼

依頼区分	実績等
講師派遣依頼	9件
教育委員会	4件
学校	5件
その他	

## (4) 教材一覧

区分	タイトル	発行年月
ワークブック	がっこうせいかつことばワーク	2025年3月
	がっこうせいかつことばワーク 絵カード	2025年3月
	ことばとおぼえるひらがなワーク	2009年3月
	ことばとおぼえるカタカナワーク	2009年3月
	ことばとおぼえるひらがなワーク 絵カード	2010年3月
	ことばをふやす漢字ワーク	2011年3月
教科教材	ことばとまなぶ算数文章題(2年生)	2010年1月
	ことばとまなぶ算数文章題(3年生)	2010年1月
	外国人児童のための小学校社会科教材	2012年3月
保護者支援教材	幼稚園・保育園ガイドブック(ポルトガル語)	2013年3月
	幼稚園・保育園ガイドブック(中国語)	2013年3月
	幼稚園・保育園ガイドブック(タガログ語)	2013年7月
	幼稚園・保育園ガイドブック(スペイン語)	2013年7月
	幼稚園・保育園ガイドブック(英語)	2013年8月
	幼稚園・保育園ガイドブック(ベトナム語)	2020年3月
	小学校ガイドブック(ポルトガル語)	2015年3月
	小学校ガイドブック(スペイン語)	2015年3月
	小学校ガイドブック(中国語)	2015年11月
	小学校ガイドブック(英語)	2015年12月
	小学校ガイドブック(タガログ語)	2016年2月
	小学校ガイドブック(ベトナム語)	2019年3月
	中学校ガイドブック(ポルトガル語)	2018年3月
	中学校ガイドブック(タガログ語)	2018年3月
	中学校ガイドブック(中国語)	2018年3月
	中学校ガイドブック(英語)	2018年3月
	中学校ガイドブック(スペイン語)	2019年2月
中学校ガイドブック(ベトナム語)	2021年3月	
多文化共生	いまさらだけど多文化共生ってなに?(日本語)	2022年3月
	いまさらだけど多文化共生ってなに?(ポルトガル語)	2022年3月
	いまさらだけど多文化共生ってなに?(タガログ語)	2022年12月
	いまさらだけど多文化共生ってなに?(ベトナム語)	2022年12月
	いまさらだけど多文化共生ってなに?(スペイン語)	2023年1月
	いまさらだけど多文化共生ってなに?(中国語)	2023年10月

## (5) その他の実施イベント

## ・勉強会、交流会

実施日	タイトル	場所	参加者数
令和6年7月10日	「個別支援や土曜親子日本語教室で役立つ教材研究」	国際教育棟 指導者研修室	14人
令和6年8月6日	「話し方のプロと考える外国人児童生徒への伝え方」	国際教育棟 指導者研修室	20人
令和6年8月7日	「外国につながる子どもの在籍学級における授業づくり」	次世代教育イノベーション棟 AUEカキツバタホール	35人
令和6年9月24日	「教えてセンパイ！」	国際教育棟 指導者研修室	11人
令和6年10月9日	「支援に役立つイラスト講座」	国際教育棟 指導者研修室	14人
令和6年11月6日	「高等学校における日本語指導の必要性について考えよう」	国際教育棟 指導者研修室	14人
令和6年12月5日	「ベンガル語での授業体験」	教育交流館 ラーニングコモンズⅢ	19人
令和7年1月27日	「もし、自分が外国にルーツをもつ園児の先生になったら」	次世代教育イノベーション棟 AUEカキツバタホール	34人
令和7年2月26日	「マスマス教室勉強会」	オンライン開催	9人

## ・見学会

実施日	タイトル	場所	参加者数
令和6年9月17日	岐阜県立東濃高等学校 授業支援・見学	岐阜県立東濃高等学校	14人
令和6年10月17日 令和7年3月6日	横浜市日本語支援拠点施設ひまわり 授業支援・見学	横浜市日本語支援拠点施設 「ひまわり」	8人
令和6年11月25日	在名古屋ブラジル総領事館見学会	在名古屋ブラジル総領事館	18人
令和7年2月21日	田原福祉グローバル専門学校 見学	田原福祉グローバル 専門学校	6人

## ・FD講演会

実施日	タイトル	場所	参加者数
令和7年1月8日	「外国にルーツを持つ子ども達への教育の必要性を大学全体で認識する」	次世代教育イノベーション棟 AUEカキツバタホール	80人

## 12 インクルーシブ教育推進センター

本センターは、県内外の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等の教育機関と連携し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育を推進している。そのために、情報収集及び情報発信、教員向けの研修を実施し、地域の教育機関等と連携を図り、必要に応じて支援を行っている。

インクルーシブ教育推進のため、教育相談、共生教育推進、特別支援教育に関する相談・情報提供を引き続き行った。令和6年度は、令和5年度に引き続き、教員の力量向上をめざし、特別支援学級担当者への指導・支援を重点目標にして取り組んだ。教員研修では、附属特別支援学校で授業参観をする折に、子どもへの指導方法や支援方法などを紹介した。また、中堅教諭等資質向上研修や、みよし市教育委員会指導主事研修においても多くの教員を受け入れ、特別支援教育について研修を行った。

また、夏休み中には、愛知教育大学 特別支援教育講座の小倉靖範先生を講師として招き、センター主催の公開セミナーを実施した。多くの方が参加できるように、岡崎市民会館で対面とオンラインの両方を使つての開催とし、計142人の参加があった。

### 【活動状況】

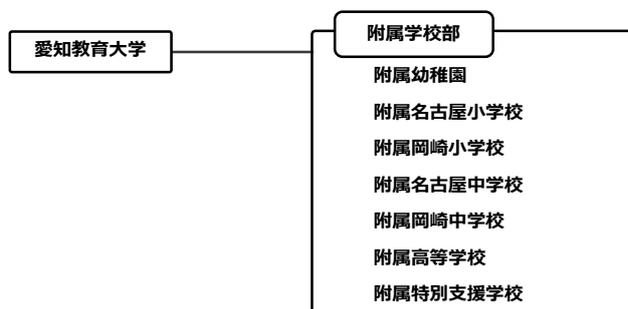
(単位：回)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特別支援学校授業研究会・研究部会等	23	24	23	23
教育相談	16	28	34	38
コンサルテーション学習会	3	2	2	2
父母教師会会議	4	4	4	4
愛知県特別支援教育研修委員会	-	-	-	-
特別支援教育に携わる教員の参観・研修会	18	21	16	22
特別支援学校在校児童の園との情報交換会	-	-	-	-
在学児童生徒の居住地校との交流会	3	7	5	8
特別教育推進部会学習会	11	10	12	13

## 第9章 附属学校

## 1 附属学校の活動状況

## 附属学校部の組織図



## 附属学校規模

令和6年5月1日現在

学校名	学級数	児童・生徒等 収容定員	教員定員							合計
			校長	副校長	教頭	主幹 教諭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	
附属幼稚園	6	140	1	0	0	1	6	1	0	9
附属名古屋小学校	18 (2)	540 (30)	1	0	1	1	28	1	1	33
附属岡崎小学校	18	540	1	0	1	1	22	1	1	27
附属名古屋中学校	12 (3)	432 (45)	0	1	1	1	28	1	0	32
附属岡崎中学校	12	432	0	1	1	1	22	1	0	26
附属高等学校	12	360	1	0	1	1	26	1	0	30
附属特別支援学校	9	60	1	0	1	1	25	1	0	29
合計	87 (5)	2,504 (75)	5	2	6	7	157	7	2	186

\* 教諭には、大学教員が兼務する校長は除く。

\* ( )は国際学級及び帰国児童生徒学級に係る学級数、人数を外数で示す。両学級の1クラス定員は、小学校・中学校とも15人

\* 小学校は令和元年度入学から1学級30人定員

\* 中学校は平成30年度入学から1学級36人定員

\* 高等学校は令和3年度入学から1学級30人定員

\* 附属幼稚園は3歳児40人、4・5歳児50人定員で、いずれも2学級

\* 附属特別支援学校は小学部・中学部・高等部で構成され、主たる障害種別はいずれも知的障害。小学部は2学年で1学級の複式学級

**(1) 附属幼稚園****ア 教育目標**

一人一人を大切にする保育環境の中で、自己肯定感を育むことを大切にしながら、生活や遊びの様々な体験を通して、豊かな感性・ものごとに取り組む意欲と行動力をはじめとする、自然や社会と関わって生きていくための基礎的な力を育み、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことを目標とする。

3歳児 安心して自分の思いを出し、先生や友達と一緒に生活する楽しさを味わえるようにする。

4歳児 気の合う友達と思いを出し合って、一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わえるようにする。

5歳児 仲間とのかかわりの中で、共通の目的をもって取り組み、満足感や充実感を味わうとともに、自信をもって行動できるようにする。

**イ 令和7年度入園児選抜状況〈令和6年度実施〉**

[出願資格] 入園時に幼稚園へ入園する年齢に達する見込みの幼児  
園が指定する小学校区に保護者と居住する者  
保護者等が付き添って、徒歩又は公共交通機関で登降園できる幼児

[選抜方法] 第1次：面接及びグループ遊び 第2次：抽選

(単位：人)

	入学定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属幼稚園	50	75	74	51	1.45	51
3歳児	40	61	60	40	1.50	40
4歳児	10	14	14	11	1.27	11

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

**ウ 在籍者数 (令和6年5月1日現在) (単位：人)**

	学級数	在籍者		
		男	女	計
附属幼稚園	6	71	58	129
3歳児	2	14	21	35
4歳児	2	26	23	49
5歳児	2	31	14	45

**エ 園児の転出入等 (単位：人)**

	転・編入学	転・退学
3～5歳児	0	3

**オ 卒園児の進路〈令和7年3月卒園児〉**

卒園児合計 45人：附属名古屋小学校 43人、県内公立小学校 1人、海外小学校 1人

**カ 研究活動**

研究発表会： 令和6年11月7日(木)に「公開保育・保育を語る会」を開催。講師による講演会を行った。保育を語る会には共同研究者の本学幼児教育講座教員5名が、指導・助言者として参加し、バズセッション等を行った。また、参加者に保育環境を見ていただくため、施設公開を行った。

主 題：「わくわくがうまれる環境」

**キ 教育実習及び学校体験活動の受入**

	受入人数	(内訳)
教育実習	13人	愛知教育大学実習生 13人
「学校体験活動入門」	30人	
「学校体験活動Ⅰ」	1人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

**ク 国際交流**

特記事項なし

**ケ 自己評価及び学校関係者評価****保護者への学校評価アンケートからの自己評価と改善の取組**

学校評価アンケートを保護者へ依頼し、本園の教育目標や子どもの成長、教育内容への理解、安全管理等について、成果と次年度への課題を明らかにしている。そして、それらを基に、職員会議等で次年度の充実に向けて方策を検討している。

令和6年度も、アンケートのどの項目についても肯定的な回答をいただいた。結果からは、本園の教育に対して、多くの保護者の方から理解が得られていることが分かった。一部の方から得た意見や要望については、吟味した上で次年度の計画等へ反映させるようにした。

これらの評価活動及び結果については、学校評議員会でも報告し、評議員の方からご意見をいただいている。このようにさまざまな意見を収集し、取り入れることで、子どもたちにとってよりよい保育が行えるよう今後も努めていきたい。

(2) 附属名古屋小学校

ア 教育目標

- ・健康で 心の豊かな子
- ・まことを求め 正しいことを守る子
- ・よく考え 実践する子
- ・人を敬い 助け合う子

イ 令和7年度入学者選抜状況〈令和6年度実施〉

一般学級	[出願資格]	入学時に小学校へ入学する年齢に達する見込みの者 学校が指定する小学校区に居住する者
	[選抜方法]	第1次：調査 第2次：抽選
国際学級	[出願資格]	国籍要件なし 本人の海外生活が2年以上、かつ、帰国後1年以内の者 在留国で現地校又は国際学校に通学していた者 当該学年の年齢に達する見込みの者 保護者とともに居住し、通学時間が1時間程度の者
	[選抜方法]	筆答を含む現状調査及び保護者を含む面接

一般学級 (単位：人)

	入学定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属名古屋小学校	90	163	163	90	1.81	90
一般外部	-	120	120	47	2.55	47
連絡進学	-	43	43	43	1.00	43

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 令和6年度入学定員：30人×3学級=90人

国際学級 (4月入学時) (単位：人)

	収容定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属名古屋小学校	30	2	2	2	1.00	2
5学年	15	2	2	2	1.00	2
6学年	15	-	-	-	-	-

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 収容定員に満たない人数を募集

ウ 在籍者数 (令和6年5月1日現在)

(単位：人)

	学級数		在籍者		
			男	女	計
附属名古屋小学校	18	(2)	260 (4)	262 (1)	522 (5)
1学年	3		45	45	90
2学年	3		44	45	89
3学年	3		44	44	88
4学年	3		43	43	86
5学年	3	(1)	44 (2)	41	85 (2)
6学年	3	(1)	40 (2)	44 (1)	84 (3)

\* ( )は国際学級及び帰国児童学級に係る学級数、人数を外数で示す。

**工 児童の転出入等** (単位：人)

	転・編入学	転・退学
一般学級	2	11
国際・帰国児童学級	7	0

**オ 卒業生の進路〈令和7年3月卒業生〉**

卒業生合計 86人：附属名古屋中学校 64人、県内公立中学校 2人、県内私立中学校 19人、海外中学校 1人

**カ 研究活動**

研究発表会：令和6年5月21日（火）に開催。オンライン配信も併用。後日、全授業をオンデマンド配信。

主 題： わくわく つながる 授業デザイン ～つながるの シンカ～

**キ 教育実習及び学校体験活動の受入**

	受入人数	(内訳)
教育実習	56人	愛知教育大学実習生 56人
「学校体験活動入門」	73人	
「学校体験活動Ⅰ」	0人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

**ク 国際交流**

平成14年度に韓国の晋州教育大学附設初等学校との間で国際交流に関する協定を締結し、以来お互いの文化を理解・尊重し合える国際性豊かな子どもの育成を目指し、児童の作品交流や現地の学生による訪問授業などを実施してきた。平成30年度には後援会が主体となって、児童の相互の訪問活動も実施した。

今年度は、晋州教育大学附設初等学校から大学生を受け入れ、児童と給食の時間に交流を図った。

また、海外からの視察も積極的に受け入れ、授業に限らず日本の学校教育活動の一例として、本校の様子を海外の教育関係者に紹介している。

**ケ その他の活動**

本校はPTA活動が盛んに行われている。令和6年度は、各学年行事を実施したほか、親子レクリエーションや校庭開放等の委員会活動を通じて、保護者や地域との連携を深めることができた。また、PTA安全委員会を中心に、すべてのPTA委員の協力の下、交通マナーをきちんと守れるように年間を通した下校指導を実施し、児童の通学マナー意識を大きく向上させることができた。

**コ 自己評価及び学校関係者評価**

本校の教育活動を見直すための自己評価活動を全職員対象で実施している。評価の集計や成果・課題として挙げられた内容を基に、次年度への課題や改善点を共有することで、よりよい教育の実現を目指している。

また、児童や保護者にもアンケート調査を実施している。結果からは、児童が本校での学校生活におおむね満足していることや、本校の教育活動に対し、多くの保護者の方から理解が得られていることが分かった。一部の方から得た意見や要望については、吟味した上で次年度の計画等へ反映させるようにした。

これらの評価活動及び結果については、学校評議員会でも報告し、評議員の方からご意見をいただいている。このようにさまざまな意見を収集し、取り入れることで、子どもたちにとってよりよい学校となるよう今後も努めていきたい。

**(3) 附属岡崎小学校****ア 教育目標**

- ・生活のなかから問題を見つけ、自ら生活を切り拓いていこうとする児童の育成
- ・経験や体験を重視し、事実をもとに問題の解決を図ろうとする児童の育成
- ・友だちを思いやりながら、互いに磨き合おうとする児童の育成

**イ 令和7年度入学者選抜状況〈令和6年度実施〉**

一般学級 [出願資格] 入学時に小学校へ入学する年齢に達する見込みの者  
岡崎市内に保護者とともに居住する者

[選抜方法] 第1次：面接、教育テスト、行動観察 第2次：抽選

(単位：人)

	入学定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属岡崎小学校	90	90	86	86	1.00	86
一般外部	-	90	86	86	1.00	86

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 令和6年度入学定員：30人×3学級=90人

**ウ 在籍者数 (令和6年5月1日現在) (単位：人)**

	学級数	在籍者		
		男	女	計
附属岡崎小学校	18	266	265	531
1学年	3	46	43	89
2学年	3	38	49	87
3学年	3	46	44	90
4学年	3	44	43	87
5学年	3	47	42	89
6学年	3	45	44	89

**エ 児童の転出入等 (単位：人)**

	転・編入学	転・退学
一般学級	3	8

**オ 卒業生の進路〈令和7年3月卒業生〉**

卒業生合計 89人：附属岡崎中学校 77人、県内公立中学校 2人、県内私立中学校 7人、  
県内県立中学校 1人、県外私立中学校 2人

**カ 研究活動**

研究発表会：令和6年11月13日(水)に開催。参加者は472人。

主 題：自分と向き合う子ども(1年次/研究期間5年)

**キ 教育実習及び学校体験活動の受入**

	受入人数	(内訳)
教育実習	50人	愛知教育大学実習生 50人
「学校体験活動入門」	40人	
「学校体験活動Ⅰ」	0人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

## ク 国際交流

ポールステイト大学附属パリス校（USAインディアナ州）と1997年に国際学術交流協定を締結し、以降、子どもたちが相互に訪問し、交流を深めている。

令和6年度は、パリス校が来校する予定であったが、諸事情により令和7年度に延期となった。引き続き国際交流ができるよう、パリス校と交渉を進めている。

## ケ 自己評価及び学校関係者評価

令和6年度から、年度当初にアンケートの質問内容を検討し、4月の職員会議で前年度のアンケート結果と今年度の質問項目（案）を全職員に提示することとした。令和6年度の結果をもとに分析をしたところ、次の点が課題となり、教育活動の更なる見直しを図るために対策を考えた。

### ・タブレットやパソコンの活用について

AからDの4段階の評価のうち、教師の多数がA評価をした一方で、児童と保護者の多数がB評価をした。各学年・学級に応じて利活用の場面を考え、様々な取り組みを行ってきたが、児童の評価はB評価となった。保護者に対しては、昨年度から、タブレットを活用している様子をブログにアップしているものの、まだ十分に伝わっていないということが評価から見えてくる。この結果を受け、授業での調べ学習だけでなく、学習支援サービス等を利用して家庭学習でタブレットを活用する等、利活用の場を増やしてその活動を保護者に紹介していきたい。

また、令和3年度に指摘があった「学校と家庭の連携」について、今後も引き続き、ホームページや学級だより、保護者連絡ツール等で家庭・地域へ情報発信をしていく。

(4) 附属名古屋中学校

ア 教育目標

人格の完成を目指し、平和国家・民主社会の形成者として、心身共に健全な人間を育成する。

- ・創造の精神を尊び、真理をかぎりなく求める人間
- ・自己の言行に責任をもち、信実を貫く人間(信実とは信義・誠実の意味である)
- ・美を愛し、豊かな心情を育てる人間
- ・心身を鍛え、たくましい実行力を身に付ける人間
- ・奉仕の精神を重んじ、働くことに喜びを見いだす人間

イ 令和7年度入学者選抜状況(令和6年度実施)

一般学級	[出願資格]	入学時に中学校へ入学する年齢に達する見込みの者 保護者とともに居住し、通学時間が1時間程度の者
	[選抜方法]	適性検査(国語・算数)・調査書に基づき、総合的に判定する
国際学級	[出願資格]	在外生活経験年数が継続して3年以上、かつ、来日・帰国後1年以内である者(国籍要件なし) 在留国で現地校又は国際学校に継続して3年以上通学していた者 日常会話ができる程度の日本語を話すとともに、話している内容を理解できる者 当該学年の年齢に達する見込みの者 保護者とともに居住し、通学時間に無理のない者
	[選抜方法]	国語、算数、面接(本人及び保護者)
	[出願資格]	保護者の海外勤務に伴う在外生活経験年数が継続して3年以上、かつ、帰国後1年以内で日本国籍を有する者 在留国で現地校又は国際学校に継続して3年以上通学していた者 当該学年の年齢に達する見込みの者 保護者とともに居住し、通学時間に無理のない者
	[選抜方法]	国語、数学、英語、面接(本人及び保護者)

一般学級

(単位:人)

	入学定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属名古屋中学校	128	266	246	128	1.92	128
一般外部	-	204	184	66	2.79	66
連絡進学	-	62	62	62	1.00	62

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 令和6年度入学定員: 36人 × 4学級 = 144人

国際学級・帰国生徒学級(4月入学時)

(単位:人)

	収容定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属名古屋中学校	45	5	5	5	1.00	5
1学年 一般外部	15	3	3	3	1.00	3
1学年 連絡進学		2	2	2	1.00	2
2学年	15	0	0	0	-	0
3学年	15	0	0	0	-	0

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 2・3学年は、収容定員に満たない人数を募集

\* 帰国生徒学級は、令和7年度1年生から国際学級となった。

## ウ 在籍者数（令和6年5月1日現在）

（単位：人）

	学級数		在籍者					
			男	女	計			
附属名古屋中学校	12	(3)	189	(21)	238	(20)	427	(41)
1学年	4	(1)	61	(5)	83	(8)	144	(13)
2学年	4	(1)	73	(9)	70	(5)	143	(14)
3学年	4	(1)	55	(7)	85	(7)	140	(14)

\* ( )は帰国生徒学級に係る学級数、人数を外数で示す。

## エ 生徒の転出入等

（単位：人）

	転・編入学	転・退学
一般学級	3	1
帰国生徒学級	4	4

## オ 卒業生の進路（令和7年3月卒業生）

卒業生合計 154人：附属高等学校 4人、県内公立高校 98人、県内私立高校 38人、県外私立高校 5人、他の国立大学附属高校 3人、高等専門学校 1人、通信制高校 4人、海外高校 1人

## カ 研究活動

研究発表会：令和6年9月27日（金）に開催。  
 主 題：深い学びをデザインする授業づくり  
 副 題：主体性を発揮させることを通して

## キ 教育実習及び学校体験活動の受入

	受入人数	（内訳）
教育実習	67人	愛知教育大学実習生 67人
「学校体験活動入門」	72人	
「学校体験活動Ⅰ」	0人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

## ク 国際交流

平成25年度から名古屋大学の留学生との交流会を実施している。帰国生徒学級生徒の2年生が中心となって、一般学級から参加者を募り、ゲームやクイズなどを留学生と楽しむ機会となっている。帰国生徒学級生徒は、企画・運営をし、通訳を担うことで、身に付けた語学力を発揮する場となっている。

また、外国語補充として、1年に3回、名古屋大学の留学生と自己紹介やフリートーキングの時間を設け、帰国生徒学級生徒が海外で身に付けた語学力の保持・伸長を図っている。

## ケ その他の活動

地域に愛される生徒・学校になるために、「さわやかスクールロードSSR」に所属し、地域のクリーンキャンペーンに希望者が参加した。

同じく、地域に愛される生徒・学校になるために、地域の老人ホームを訪問し、合唱を披露したり、利用者との交流したりする活動を実施した。

## コ 自己評価及び学校関係者評価

### 自己評価

行事後や前・後期の節目に校内の反省・意見を集約し、見解と今後の取組についてまとめ、全教員で共有した。12月には育友会役員・委員を対象に保護者アンケートを行い、集計結果と自己評価結果を2月の育友会役員・委員総会で報告した。本年度の重点努力目標を踏まえた上で、令和6年度も令和5年度同様20項目、5段階評価でアンケートを実施した。ほとんどの項目で5段階評価の「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数値が80～90%以上となっており、昨年度同様の高い評価をいただいた。これは、本校が心掛けている生徒の主体性を発揮させることを大切に、教師と子供が共に創り上げる授業、行事や日々の活動について保護者からの理解が得られていると思われる。ただ、「附中は、いじめや問題行動に対して真剣に対応してくれる」「附中は、生徒の悩みや心の問題についての相談・サポート体制が充実している」の項目については、教員と保護者で捉え方に差異があり、保護者の20%近くが「どちらともいえない」「あてはまらない」と回答している。（ただし「あまり」も含めて「あてはまらない」は共に数%）教員は真剣に対応しているつもりでも、生徒が学校では話せない悩みや不満を抱えたままとなっており、家庭で吐露していることや生徒・保護者が納得できる状況にまで至っていないことがあると考えられる。生徒達も評価が高い安心力の中で、「仲間」「尊重」の項目が他と比べて低いことから、いじめにつながるような行動をさせない教室風土の醸成に教員は努めるとともに、起きてしまった場合においても生徒情報を共有し、これまで通り組織として対応していく。

### 学校関係者評価

2月の学校評議員会の折に、保護者アンケートと教職員アンケートの集計結果を踏まえた自己評価について報告し、学校関係者（学校評議員で構成）から学校運営全般について以下のような意見を聴取した。

- ・コメントの多さや評価の得点の高さから保護者の関心の高さをうかがうことができる。
- ・公立学校とは違い、生徒同士が議論するすばらしい授業ができています。これがこの学校のよさでもあるため、続けていてもらいたい。
- ・保護者が学校内で起きたことは学校の責任であるという考えが顕著になっている。互いに生徒の成長に関わり合えるよう、保護者の意識改革を進める必要がある。
- ・保護者はすぐに目に見える結果を求めているが、附属の目指す教育とは違う部分もあるので、学校からの発信もしていくとよい。

### 学校関係者の意見を踏まえた改善策

評価のための評価にならないように、また、附属名古屋中学校の良さを一層伸ばすためにアンケートの内容や対象を見直し、実効性のある学校評価のあり方についての研究を進めていく。また、生徒の声も聞き、生徒、保護者、教員が満足できる学校づくりに努めていく。

「いじめや問題行動に対する対応」「生徒の悩みや心の問題の対応」については、これまでの丁寧な対応を今後も続けていく。また、教育相談の充実や見守り強化など、未然防止の取組にもしっかりと取り組んでいきたい。また、学校で行っている取組やスクールカウンセラーを中心とした相談活動の機会があることも、積極的に周知していきたい。

本校の目指す生徒像である「自主自立と共生」へ向かい、保護者と共に教育活動を進めていけるよう、行事や授業参観など、保護者に学校の様子を公開する機会を通じて、本校の取り組みを発信していく。

### 評価結果等の公表方法

2月の育友会役員・委員総会で報告している。今後、よりよい公表のあり方について検討していきたい。

**(5) 附属岡崎中学校****ア 教育目標**

われらの学園

- ・学問と勤労を愛する学園
- ・自由と規律を重んじる学園
- ・楽しく 協力しあう学園
- ・健康で 明るい学園
- ・人と物をだいにする学園

**イ 令和7年度入学者選抜状況〈令和6年度実施〉**

一般学級	[出願資格]	入学時に中学校へ入学する年齢に達する見込みの者 保護者とともに居住し、通学時間が1時間以内の者
	[選抜方法]	学力検査(国語、社会、算数、理科)、面接、調査書に基づき、総合的に判定する

(単位：人)

	入学定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属岡崎中学校	128	204	195	136	1.43	136
一般外部	-	127	118	59	2.00	59
連絡進学	-	77	77	77	1.00	77

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 令和6年度入学定員：36人×4学級=144人

**ウ 在籍者数 (令和6年5月1日現在) (単位：人)**

	学級数	在籍者		
		男	女	計
附属岡崎中学校	12	220	211	431
1学年	4	72	72	144
2学年	4	77	65	142
3学年	4	71	74	145

**エ 生徒の転出入等 (単位：人)**

	転・編入学	転・退学
一般学級	1	2

**オ 卒業生の進路〈令和7年3月卒業生〉**

卒業生合計 145人：附属高等学校 7人、県内公立高校 91人、県内私立高校 42人、県外公立高校 1人、  
高等専門学校 2人、通信制高校 2人

**カ 研究活動**

授業研究会：令和6年10月10日(木)に開催。 ※校舎改修により参加者を限定しての開催  
主 題：躍動(4年次/研究期間5年)  
副 題：志をもって歩み続ける子ども

**キ 教育実習及び学校体験活動の受入**

	受入人数	(内訳)
教育実習	55人	愛知教育大学実習生 50人、他大学実習生 5人
「学校体験活動入門」	34人	
「学校体験活動Ⅰ」	0人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

## ク 国際交流

平成17年度からマレーシアの私立校スリ・クアラランブール・セカンダリー・スクールとの交流を続けている。相互交流を基本とし、親善訪問団を受け入れ、海外派遣訪問を実施してきた。7月末から8月にかけて、海外派遣訪問を行い交流を深めている。さらに、11月末から12月初旬にかけて、親善訪問団としてスリ・クアラランブール・セカンダリー・スクールの生徒と教員の訪問を受け、生徒会の運営による全校でのウェルカムセレモニーや教室での交流を行っている。また、岡崎市に住んでいる留学生を授業に招待して交流を深めている。令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施していなかったが、令和6年度に再開した。

## ケ その他の活動

### Lifework

子どもが9教科の枠にとらわれず、興味や関心をもったことを個人で追究していく個人テーマ学習を、総合的な学習の時間を中心にLifeworkと称して行っている。Lifeworkは、学校の内外を問わず子どもが主体的に進めていく活動であるため、9教科で育んだ「志を原動力として、学びを生かした行動をすること」を教科の枠を超え、発揮する場となっている。

## コ 自己評価及び学校関係者評価

学校の評価活動として、教員の自己評価に加え、保護者と生徒を対象に、無記名でA・B・C・Dの4段階評価のアンケート調査を11月下旬に行った。概要は次のとおりである。

【生徒】

### ◇行事・生徒会活動

#### ③「学校の行事（体育大会・文化祭など）は楽しく、積極的に参加している」96.3%（1.1%減）

・全校生徒の9割以上が肯定的に捉えているものの、Aの回答は昨年度よりも1.8%減少した。校舎改修に伴い、体育大会・文化祭ともに規模が縮小され、子どもの活躍の場が減ってしまったことの影響が考えられる。しかし、文化祭は、育朋館の代わりに市民会館を利用し、よい環境で合唱し、満足感を得ることができた。今後も、どのような環境になってもその年のベストを考え、子どもが満足する形を模索していきたい。

#### ④「生徒会活動は活発で、積極的に参加している」75.5%（1.1%増）

・肯定的な意見が微増したが、Aの回答が3.7%と大きく減少した。肯定的な意見が増加している要因として考えられるのは、生徒会役員の公約が学校生活に根ざしたものが多く、子どもにとって身近なことに変化を感じられているからではないかと考える。

### ◇授業

#### ⑨「授業では進んで自分の意見や感想などを発表している」61.9%（9.5%減）

#### ⑩「授業では友達の意見や感想をよく聞くようにしている」97.3%（3.0%増）

#### ⑪「授業では問題を追究する学習が多くあり、積極的に取り組んでいる」97.5%（0.3%減）

・⑪から本校の基盤である問題解決的学習過程による追究授業が子どもの主体性につながっている。子どもが魅力を感じて学習活動を続けていけるように今後も教材研究を大切にしたい。一方で、⑨は昨年度から引き続き減少している。⑩は昨年度から増加していることをふまえると、意見交流では他者の意見の聞き役に回っている子どもが多く、自分の意見を述べられている子どもが限定されてしまってきていることが考えられる。追究単元以外のところでも自分の意見を述べる機会を多く設定したり、自分の意見を発表しやすい場の雰囲気づくりを大切にしたりして、意見を発表することへのハードルを下げる支援が必要である。

### ◇日常生活

#### ⑦「学校はいろいろな施設や設備が整っている」80.3%（4.4%増）

・昨年のライフラインの整備、今年度の校舎改修が行われ、肯定的な評価が増加した。特にAの回答は、6.0%と大きく増加した。しかし、Aは34.6%と低いいため、引き続き環境の改善に努める。

#### ⑮「学級に問題があれば、みんなで協力して解決できる」83.0%（3.2%減）

・昨年度から大きく減った。問題が起きたときに教師がすべきことと子どもに任せることを分別し、子ども自身に問題を解決させる時間をしっかりと確保していく。

#### ⑯「私たちの意見や悩みをよく聞いてくれる先生がいる」86.9%（0.3%減）

#### ⑰「先生たちは、明るく活動的である」95.5%（増減なし）

・⑯の肯定的な意見は微減だが86.9%と高い数値を維持している。ひき続き、数値を高められるように、面談やマイトレなどを活用し、地道な活動を大切にしたい。⑰は昨年度から引き続き高い数値を維持している。特にA評価が3.2%増加している。この2つの項目から、教員と生徒の関係は良好であると判断できる。何かあったときに相談しやすい雰囲気づくりを維持し、問題が小さなうちに摘み取れるようにしていきたい。

【保護者】

◇教育方針・指導・環境

⑤「学校は子どもの育成に有効な行事（体育大会・文化祭・学年行事など）を実施している」98.7%（0.2%増）

⑥「学校は子どもの心を育てる教育をしている（いじめ、心の不安への対応がなされている）」84.8%（6.3%減）

⑪「学校は子どもの人間関係をうまく育てている」86.1%（4.1%減）

・学校・学年行事は、成功体験や失敗から学ぶ経験を多くさせようと子ども主体の運営にしていることが、保護者にも受け入れられ、高評価を得ている。一方で、⑥⑪のように、子どもの人間関係についての不安が増加してしまっている。授業や事務作業などで教員の時間にゆとりはないが、子どもの様子をよく観察していじめの未然に防いだり、生活アンケート以外の時間も教育相談を適宜行っていったりする必要がある。

◇保護者との連携

⑭「教師と保護者は連携して子どものために教育活動を行っている」85.3%（6.1%減）

⑮「本校のPTA活動は積極的に行われている」96.5%（2.9%減）

・⑭⑮ともに高い数値であるものの、前年度に比べ減少した。PTA活動が盛んで保護者が学校に來たり親睦を深めたりする機会も多いので、こうしたときに保護者の要望をよく聞きながら、活動を充実させていきたい。

## (6) 附属高等学校

## ア 教育目標

- ・あたたかい人間になろう
- ・たくましい人間になろう
- ・おおらかな人間になろう

## イ 令和7年度入学者選抜状況〈令和6年度実施〉

一般選抜	[出願資格]	愛知県内の中学校を卒業(見込みを含む)し、入学後、愛知県内に保護者と ともに居住し、自宅から通学する者
	[選抜方法]	書類審査及び学力検査(国語、数学、英語(リスニング含)、理科、社会)
推薦選抜	[出願資格]	愛知県内の公立中学校を卒業する見込みの者で、選抜の条件を満たし、 中学校長が推薦する者
	[選抜方法]	書類審査、面接
海外帰国生徒選抜	[出願資格]	海外の学校生活が2年以上であり、帰国後2年以内での者で、中学校を 卒業(見込みを含む)し、入学後、愛知県内に保護者と共に居住し、自宅か ら通学する者
	[選抜方法]	書類審査及び学力検査(国語、数学、英語(リスニング含む)、理科、社 会)、面接
附属中学校連絡入学選抜	[出願資格]	愛知教育大学の附属中学校を卒業する見込みの者で、選抜の条件を満た し、中学校長が推薦する者
	[選抜方法]	書類審査、面接

(単位：人)

	入学 定員	志願者	受験者	合格者	合格 倍率	入学者
附属高等学校	120	186	186	120	1.55	120
一般選抜	-	120	120	65	1.85	65
推薦選抜	-	53	53	42	1.26	42
海外帰国生徒選抜	-	2	2	2	1.00	2
附属中学校連絡入学選抜	-	11	11	11	1.00	11

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

\* 令和6年度入学定員：30人×4学級 = 120人

## ウ 在籍者数 (令和6年5月1日現在) (単位：人)

	学級数	在籍者		
		男	女	計
附属高等学校	12	132	221	353
1学年	4	38	81	119
2学年	4	40	77	117
3学年	4	54	63	117

## エ 生徒の転出入等 (単位：人)

	転・編入学	転・退学
一般学級	0	3

## オ 卒業生の進路〈令和7年3月卒業生〉

卒業生合計 115人： 国立大学 25人、公立大学 2人、県内私立大学 67人、県外私立大学 10人、  
短期大学 1人、専門学校 5人、就職 1人、その他 4人

## カ 研究活動

研究発表会： 令和6年11月20日（水）に開催。第1学年及び第2学年の4限・5限の授業を公開。その後、第1分科会として理科、第2分科会として保健体育科、第3分科会として総合探究「附高ゼミ」の概要発表・公開授業の協議を実施。各分科会において質疑応答、情報交換を行う研究協議会を開催した。69名の参加があった。

主 題： 「これからの時代を生きるための資質・能力の育成—探究力とICT—」

## キ 教育実習及び学校体験活動の受入

	受入人数	(内訳)
教育実習	66人	愛知教育大学実習生 57人、愛知教育大学大学院実習生 6人、他大学実習生（本校卒業生） 3人
「学校体験活動入門」	0人	
「学校体験活動Ⅰ」	1人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

## ク 国際交流

2008年に大韓民国ソウル市の建国大学校師範大学附属高等学校と国際学術交流協定を締結した。これは、1988年の海外修学旅行に始まる訪問活動により、1990年から交流先の教員が毎年来校し、相互交流が続いたことから締結したものである。しかし、新型インフルエンザの世界的大流行の影響から、2009年以降の交流活動は途絶えており、現在に至っている。

一方、平成26年度からオーストラリアのメルボルンにある男女共学の私立学校 Ivanhoe Grammar School との交流事業を始めた。平成30年度は本校からは1年生及び2年生の3人を夏季休業中の17日間派遣した。また、ホームステイ先のホストスチューデント3人が2019年1月に派遣生徒宅でホームステイを行いながら、本校を訪問し、授業を通して研修を行った。令和元年度以降については Ivanhoe Grammar School の都合により交流事業ができないことになった。

新たな国際交流事業に向け校務部を中心に検討を進め、愛知教育大学の外国人留学生との交流を開始した。令和2年度はコロナ禍であったが、12月に交流活動を実施することができた。書道部の活動に参加してもらい、マスク越しながら積極的に会話を交わし、留学生との交流を深めた。令和3年度は、Let's talk in Englishと題して留学生、日本人学生とテーマについて話し合い交流することができた。令和4年度は、サスティナ部・茶道部が留学生と茶道をとおして交流を持つことができた。令和5年11月には、上海甘泉外国語中学と友好協力交流協定を締結。今後も、大学の協力も得ながら交流体制を整えていく。

## ケ その他の活動

### 高大連携事業

愛知教育大学との新たな高大連携事業として愛教大SHEプロジェクトを立ち上げ、令和4年度より「附高ゼミ」を開始している。「附高ゼミ」は、総合的な探究の時間を中心に、生徒の自らの興味・関心に応じて8つのコースの中から所属ゼミを選び、大学の教員や大学院生などの助言を受けながら探究活動に取り組む活動である。現在、愛知教育大学の未来共創プラン・戦略5共創的探究活動指導力育成プロジェクトとして位置づけられ、三菱みらい育成財団から助成事業（令和4年度～令和6年度）として採択されている。

また、教員志望の生徒を対象とした課外活動（教員養成プロジェクト）が軌道にのり始め、教職大学院生や教育実習生との交流を行っている。

他に、愛知教育大学の先生方を講師として学校にお招きする高大連携出張授業を第1学年に実施している。入学後、早い時期に大学の先生の授業に参加することで、生徒は学問や進路選択の視野を広げることができている。

### ユネスコスクール

修学旅行での平和学習、国際交流活動、地域でのボランティア活動などの活動が評価され、2014年からユネスコスクールとして認定され、ESDに関わる活動の推進を図っている。具体的には、SDGsの実現に貢献することを目指したサスティナ部の活動や、総合的な探究の時間での個人の興味・関心に応じた活動が活発になっている。

### ICT活用

平成30年度にはすべての普通教室にビデオプロジェクターが設置され、写真や動画などの映像教材の提示をはじめ、電子黒板として利用するなど様々な場面での活用が進んでいる。さらに全教員に対してiPadを貸与し、授業や生徒面談などの日頃の様々な指導に活用している。令和4年度入学生から、入学生全員がiPadを購入してSkyMenuサービスを導入した。授業での活用はもちろん、毎日の連絡事項、家庭学習の補助など様々な場面で活用している。今後も、iPadは教具の一部という考えで、活用を推進していくとともに、活用方法についても研究していきたい。また、生成AIの活用も少しずつ始まっており、効果的な活用法の研究及びガイドラインの作成を進めていきたい。

## コ 自己評価及び学校関係者評価

### 教職員の自己点検評価

令和6年度の教職員の目標到達度評価は、引き続き教育目標や学習指導など大半の項目で高い数値を示し、本校教職員が学校の教育目標を理解して、熱心に教育活動を展開していることがわかる。ただ、校内研修の充実・部活動の活性化については、不十分との意見もあるので、負担が増えないよう配慮しながら対策を検討したい。ここ数年、大学と連携した探究活動やiPadやプロジェクターを中心としたICT機器など教材教具の整備が進み、熱心な学習指導と授業研究がより一層進んでいるのは事実である。今後も、生徒の主体性を重視した活動を活発化させるとともに、「探究力育成」を目標にして本校の使命である教育研究を推進していきたい。

### 保護者による学校評価

学習指導に対する評価はおおむね良好であった。一部、生徒指導に対する要望・意見はあるので、生徒との対話、保護者への説明をしっかりと行っていきたい。また、教育活動方針の認知度が年々上昇している。令和4年度にホームページをリニューアルさせ、積極的に情報発信し、授業公開を再開するなど地道な取り組みが実を結びつつあるのを感じている。今後も、生徒、保護者が本校で学んでよかったと思えるような教育活動を展開して、学校からの情報発信を活発に行ってきたい。

### 学校評議員による学校評価

附属高校にしかない取り組み（高大連携授業、附高ゼミ、教員養成プロジェクトなど）を高く評価する意見を頂いた。一方で、教員・生徒双方にとってオーバーワークにならないようにという意見も出ており、留意していきたい。少人数クラスに関する質問が出る中で、生徒一人ひとりをよく指導しているという好意的な意見を頂いた。ただ、中学生が志望校を選ぶ際に、部活動も大きな要素になっているという話題もあった。少人数の本校では部活動も限られているため、他校にはない魅力を積極的に発信していきたい。卒業生アンケートで89%の生徒が将来の目標が明確になったと答えていることを賞賛する意見が出た。今後も探究活動を通して、高校での学びだけでなく、大学さらにはその先のキャリア形成につながるような支援をしていきたい。

## (7) 附属特別支援学校

## ア 教育目標

子どもの発達に応じ、基礎的生活能力及び態度を養い、情操を高め、一人一人が可能性を十分発揮して、社会で自立できる力を育てる。

## イ 令和7年度入学者選抜状況〈令和6年度実施〉

- [出願資格]
- ・主たる障害が知的障害で、本校の教育を受けることが望ましいと考えられる者
  - ・保護者の付添い又は一人で通学が安全にできる者
  - ・本校の使命や教育方針を理解し、賛同する保護者の子である者

**小学部** 令和7年4月に学齢に達する者

**中学部** 令和7年3月に小学校または特別支援学校小学部卒業見込みの者

**高等部** 中学校または特別支援学校中学部を卒業、あるいは令和7年3月に卒業見込みの者

[選抜方法] 次の結果をもとに、総合的に判断し、決定する。

- ・集団での行動観察、学習能力検査等
- ・社会生活能力や家庭状況についての面接(保護者及び本人)
- ・医師の問診(精神科)

(単位：人)

	入学定員	志願者	受験者	合格者	合格倍率	入学者
附属特別支援学校	17	25	25	18	1.39	18
小学部	3	6	6	3	2.00	3
中学部	6	8	8	5	1.60	5
一般外部		6	6	3	2.00	3
連絡進学		2	2	2	1.00	2
高等部	8	11	11	10	1.10	10
一般外部		8	8	7	1.14	7
連絡進学		3	3	3	1.00	3

\* 合格倍率 = 受験者計 ÷ 合格者計 (小数点第3位 四捨五入)

## ウ 在籍者数 (令和6年5月1日現在) (単位：人)

	学級数	在籍者		
		男	女	計
附属特別支援学校	9	37	21	58
小学部	3	12	5	17
1学年	1	2	1	3
2学年		2	1	3
3学年	1	3	0	3
4学年		3	1	4
5学年	1	1	1	2
6学年		1	1	2
中学部	3	9	3	12
1学年	1	3	0	3
2学年	1	4	2	6
3学年	1	2	1	3
高等部	3	16	13	29
1学年	1	5	5	10
2学年	1	6	4	10
3学年	1	5	4	9

**工 児童・生徒の転出入等** (単位：人)

	転・編入学	転・退学
小学部	0	0
中学部	0	0
高等部	0	0

**オ 卒業生の進路〈令和7年3月卒業生〉**

小学部卒業生合計 2人：本校中学部 2人

中学部卒業生合計 3人：本校高等部 3人

高等部卒業生合計 9人：障害者支援施設 9人

**カ 研究活動**

研究発表会：令和6年11月8日(金)

主 題：学びを生活に生かす子どもの姿を求めて(5年次/研究期間5年)

**キ 教育実習及び学校体験活動の受入**

	受入人数	(内訳)
教育実習	30人	愛知教育大学実習生 29人、他大学実習生 1人
「学校体験活動入門」	35人	
「学校体験活動Ⅰ」	0人	
「学校体験活動Ⅱ」	0人	

**ク 国際交流**

特記事項なし

**ケ その他の活動**

共生社会につながる教育の重要性をふまえ、岡崎地区三附属学校の異校種交流を目的とした、三附属共生教育を継続して行っている。令和6年度は、附属岡崎小学校とは、サツマイモの栽培、収穫を通じた交流を行った。つるさし、イモ掘りを一緒に行うことができた。また、イモ掘りの順番を待つ時間を利用し、ボウリングや的当てなどのゲームをして遊ぶことができた。収穫祭では、本校と附属岡崎小学校の子どもたちが一緒にイモを焼いて食べ、秋の味覚を味わった。収穫祭後には、本校の児童生徒が交流の感想を手紙に書き、附属岡崎小学校に届けた。そして、附属岡崎小学校から、寄せ書きが書かれた模造紙と手紙の返事をもらった。附属岡崎中学校とは、中学部と高等部の生徒が附属岡崎中学校文化祭のバザーに出向いて作業製品の販売を行う形で交流を実施している。

## コ 自己評価及び学校関係者評価

本校では、よりよい学校づくりのため、保護者、学校評議員、教職員による学校評価アンケートを2025年1月に実施した。評価結果の概要と今後の方針は、次のとおりである。

### 改善項目1 一人一人を大切にしている指導について

<目標値>

設問⑤：子どもの姿を見つめた指導をし、子どもの成長を、教育支援計画、移行支援計画等に生かしている。

	<R5年度>	→	<R6年度>	→	<R7年度目標値>
学校評議員	100.0%		100.0%		100.0%
保護者	94.6%		91.2%		95.0%
本校職員	89.7%		96.4%		97.0%

<改善策>

- ・個別懇談会の折に、前年度からの引継ぎ等を保護者に伝えるときに、保護者の意見も踏まえて保護者とじっくりと話をし、その子に応じた教育支援計画、指導計画、移行支援計画を立てるようにする。
- ・教育支援計画や指導計画をもとに、学校生活や授業での様子を保護者に伝え、通知表等で頑張った姿を具体的に示す。
- ・子どもの姿を見つめるために、SC、SSW等と連携し、コンサルテーションを実施する。専門的な視点からの助言をいただく機会を設けることで、日常の指導・支援に生かす。

### 改善項目2 学校と家庭、その他関係諸機関との積極的な連携について

<目標値>

設問⑤：学校評議員など、外部の方の意見が取り入れられ、「開かれた学校づくり」の推進に努力されている。

	<R5年度>	→	<R6年度>	→	<R7年度目標値>
学校評議員	100.0%		100.0%		100.0%
保護者	78.6%		76.8%		80.0%
本校職員	86.2%		89.3%		93.0%

<改善策>

- ・学校評議会から出された意見を学校教育活動に取り入れ、具現化したものを実践していく。
- ・「開かれた学校づくり」の推進に向けて、子どもたちの輝いている姿をホームページや新聞等のメディアを活用して、積極的に発信していく。
- ・地域、企業や大学との連携を図り、社会参加に向けて、地域社会との触れ合いや学びの場を増やし、さまざまな経験をする。
- ・子どもたちだけでなく、附属岡崎小学校、附属岡崎中学校の先生方にも、引き続き共生教育を通して、一緒に活動する機会を設ける。
- ・校外で学習したことについては、学部通信や学校のWebページ、保護者会等を利用して、保護者や地域に発信する。学校で学んだことを日常生活で生かせるように、保護者や地域に協力を依頼する。

## 2 今年度の取組状況

## (1) 教育課題、研究活動

## ア 教育課題への取組・活動

大学と附属学校園が連携した先導的な教育モデルの開発のために、令和4年度に創刊した『大学・附属共同研究論文集』の刊行を今年度も継続し、大学・附属共同研究による先導的な教育モデルの実証研究を一層推進することができた。

附属高等学校では、探究活動を教育活動の柱として設定し、3年間を通しての探究活動で「人生を切り拓く探究力」の育成を目指している。この取り組みの一つとして「愛教大SEHプロジェクト～人生を切り拓く探究力の育成を目指した探究活動「附高ゼミ」の実施～」が令和4年度三菱みらい育成財団の助成事業（令和6年度まで助成）として採択され、より一層充実した教育活動が展開された。令和6年度からは、探究活動をキャリア教育の一環として位置づけ、高校生が探究活動により熱量を持って取り組める体制を構築することを目指している。

また、附属小・中学校から令和5年度に申請した、文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」及び「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証事業」が採択となった。各校の授業や家庭学習においてデジタル教科書の活用を進め、教員と生徒それぞれを対象とした調査が実施・検証され、デジタル教科書のよりよい在り方を検討する一助となった。

事業名	参加校	教科等	
三菱みらい育成財団助成事業	附属高等学校	探究活動	
学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業	附属名古屋小学校	英語	算数
	附属岡崎小学校	英語	算数
	附属名古屋中学校	英語	数学
	附属岡崎中学校	英語	数学
学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証事業	附属名古屋中学校	理科	音楽・器楽

成果の還元として、全附属学校園で教育研究発表会を開催した。オンラインと集合形式を併用し、より多くの方に参観いただいた。

また、附属学校教員が地元の学校で行う研究会や研修会に出向き、継続的に指導・助言を行った。

このほか、附属名古屋中学校の教員が、長年にわたる教育研究の成果を認められ、令和6年度文部科学大臣優秀教職員として表彰された。平成22年度以降、15年連続で附属学校教員が表彰されており、附属学校教員の教育研究推進への大きな励みとなっている。

## イ ESDに関するユネスコスクール活動

県内ユネスコスクールの交流及び学校間のネットワーク作りの支援を目的として、「愛知県ユネスコスクール指導者研修会」を8月23日（金）に開催した。同研修会では、発表者として附属岡崎小学校及び附属名古屋中学校が各校のESDの取組について実践発表を行った。

また、附属高等学校では、サステイナ部が10月10日から12日に愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）で開催された「SDGs AICHI EXPO 2024」に出展し、学校周辺の環境改善につながる研究について発表した。

## ウ 科学研究費助成事業（奨励研究）の採択状況

（申請：令和5年度）

区分	申請状況			採択状況		
	件数 (a)	教員数 (b)	申請率 (a/b)	件数 (c)	採択率 (c/a)	内定額 (千円)
附属幼稚園	0	9	0%	0	-	-
附属名古屋小学校	0	33	0%	0	-	-
附属岡崎小学校	10	26	38%	0	0%	-
附属名古屋中学校	0	31	0%	0	-	-
附属岡崎中学校	0	26	0%	0	-	-
附属高等学校	6	30	20%	0	0%	-
附属特別支援学校	7	30	23%	0	0%	-
	23	185	12%	0	0%	0

\* 教員数は、令和5年5月1日現在の現員数で、大学教員が兼務している校長を除く。

## (2) 連携事業

### ア 地域、教育委員会との連携による活動

附属学校園が今後の公立学校等のモデルとなるための実証研究の改善サイクル構築及び継続のために、附属学校園の研究等が公立学校に活用されたかどうかを調査するアンケートを実施した。そして、アンケート結果の分析・考察及びそれらに基づいた改善策を総括論文として整理し、公表した。また、附属学校園の研究会等に参加した幼稚園、保育園、小中高等学校等の教員を対象に追跡調査を実施し、幼稚園、保育園、公立の小中高等学校等に活用した実践事例を収集した。また、アンケート結果の分析・考察及び実践事例の確認等から実施した調査アンケートの見直しも図り、次年度へのアンケート調査へとつなげた。

その他、各種研修会、研究大会に附属学校教員が指導的立場で参加したり、県内教育研究員を受け入れて授業や論文執筆の指導をしたりするなど、地域の現職教員のスキルアップのための研修を行い、授業実践の充実に寄与した。

### イ 各地区の改革プランの推進

名古屋地区では、これまでの成果の検証を踏まえ、附属名古屋小学校・附属名古屋中学校の帰国児童生徒学級・国際学級同士の交流や体育の合同授業で相互交流を行った。また、附属名古屋小学校6年生の児童と保護者が中学校の授業を参観する機会を設けるとともに、学校祭へ招待したり、合唱祭をオンラインで見られるようにするなど連携を行った。また、令和6年度から附属名古屋小学校に国際学級が設置され、実態や運用について附属名古屋中学校と定期的に情報交換を行った。令和7年度から、附属名古屋中学校にも国際学級を設置する予定である。

岡崎地区では、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育充実のために、附属3校による共生教育推進を継続して行い、障害のある子どもへの理解を深め、健常者と障害のある子が共に認め合う心を育成した。附属岡崎小学校と附属特別支援学校では5月にサツマイモの苗植え、9月にイモ掘り、10月に収穫祭を行った。また、互いの運動会や音楽会、学芸会の練習を参観し合った。

附属岡崎中学校と附属特別支援学校は、作業学習で作成した製品を通じた交流を計画し、附属岡崎中学校の文化祭バザーで生徒たちが作った作業製品を販売するなど相互交流・理解を深めた。

また、附属岡崎小学校と附属岡崎中学校が学習成果を発表する活動を行った。中学校の総合学習で行っている探究学習の成果を小学生に発表する活動を行い、相互理解や探究意欲の喚起をすることができた。

刈谷地区では、愛教大SEHプロジェクトとして、探究活動を教育活動の一つの柱として設定し、3年間を通しての探究活動で「人生を切り拓く探究力」の育成を目指している。1年生では、探究基礎講座を実施して探究活動に必要な知識や技能の習得を目指した活動を行う。そして2年生の5月から3年生の10月にかけて実施する「附高ゼミ」で大学教員や大学院生から助言を受けながら探究活動を行い、「探究力の向上」を3年間かけて目指している。

また、令和4年度から教員志望者対象課外活動を開始し、教員志望者の中の有志が、毎月1回程度、授業後の活動に参加している。教育実習生や教職大学院生の講義、附属特別支援学校訪問、模擬授業等を実施し、教員養成にすむ人材の育成に努めている。なお、令和6年度から「教員養成プロジェクト」に名称を変更した。

## (3) 教職員の安全対策向上を図る取組状況

8月7日(水)に附属学校の安全対策に関する研修会を実施し、本学健康支援センター榎原准教授による「教員養成大学の自律的な化学物質管理への対応について」、恒川法律事務所恒川直久弁護士による「法律家の立場から見たトラブル発生時の保護者対応について」の講演が行われた。附属学校園教職員を中心に約200人が参加した。

## 第10章 施設・設備

## 1 施設整備の状況

## (1) 教育研究活動に必要な施設・設備の状況

## ア 土地面積、校舎面積

令和6年5月1日現在

土地面積	大学キャンパス	設置基準※1
校舎敷地面積	202,772m <sup>2</sup>	-
運動場用地	106,346m <sup>2</sup>	-
校地面積 計	309,118m <sup>2</sup>	37,700m <sup>2</sup>
その他 敷地面積	134,664m <sup>2</sup>	
合計	443,782m <sup>2</sup>	

※1 大学設置基準第37条により必要とされる土地面積

令和6年5月1日現在

校舎面積	大学キャンパス	設置基準※2
必置施設校舎	63,303m <sup>2</sup>	-
なるべく設置校舎	567m <sup>2</sup>	-
校舎面積 計	63,870m <sup>2</sup>	14,774m <sup>2</sup>
その他 建物面積	21,920m <sup>2</sup>	
合計	85,790m <sup>2</sup>	

※2 大学設置基準第37条の2により必要とされる校舎面積

## イ 講義室等

令和6年5月1日現在

大学設置基準 36条1項2号 施設				大学設置基準 36条4項 施設	
教員研究室	教室			なるべく施設	
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設
248室	75室	111室	235室	12室	11室

## ウ 体育施設

令和7年3月31日現在

運動施設等	面積 (m <sup>2</sup> )	主な用途	施設開放	貸出(件)	使用料(円)
第一体育館	1,400	バスケットボールコート2面設置可能	○	22	192,000
第二体育館	1,199	バレーボールコート2面設置可能	○	1	21,000
体育館附属棟	773	卓球台10台設置可能	○	-	-
武道場	575	柔道場1面、剣道場1面	-	-	-
トレーニングセンター棟	463	トレーニング	○	3	72,000
陸上競技場	-	400m8レーン、100m9レーン、全天候型	○	19	258,000
野球場	-	野球場1面	○	21	250,700
サッカー場・ラグビー場	-	サッカー場2面、ラグビー場1面	○	46	492,000
ハンドボール場	-	ハンドボール場2面	-	-	-
水泳プール	-	50m9コース	-	-	-
テニスコート	-	全天候2面、クレー10面	○	-	-

(2) 耐震化等の整備状況

ア 耐震化の整備状況

主な改修施設	令和6年度末	
	総面積	耐震化率
大学	87,400㎡	100.0%
附属学校	43,283㎡	100.0%
附属幼稚園	1,063㎡	100.0%
附属名古屋小学校	7,232㎡	100.0%
附属岡崎小学校	7,014㎡	100.0%
附属名古屋中学校	7,569㎡	100.0%
附属岡崎中学校	6,546㎡	100.0%
附属高等学校	9,143㎡	100.0%
附属特別支援学校	4,716㎡	100.0%

大学の耐震化率については、以下の基準により耐震性能を満たす建物の割合（建物面積）を示している。

- ・昭和57年以降「新耐震基準」に基づき建設された建物
- ・昭和56年以前の「旧耐震基準」に基づき建設された建物で、耐震診断により耐震性が確認出来た建物
- ・耐震補強工事の実施により耐震性が確保された建物

イ 障害者支援設備 整備状況

令和7年3月31日現在

区分	達成率※3					
	身障者 トイレ	エレベーター ／車椅子用階 段昇降機／車 椅子用段差解 消機	スロープ	自動ドア	専用 駐車場	視覚障害者誘 導用ブロック
大 学	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	65.0%	85.7%
附属学校	100.0%	40.0%	42.9%	42.9%	-	0.0%
合 計	100.0%	86.4%	85.2%	84.6%	65.0%	57.1%

※3 達成率 大学：設置済建物数 ÷ 設置対象建物数 附属学校：設置済学校数 ÷ 設置対象学校数

## (3) 自主的学習環境スペースの整備状況

令和7年3月31日現在

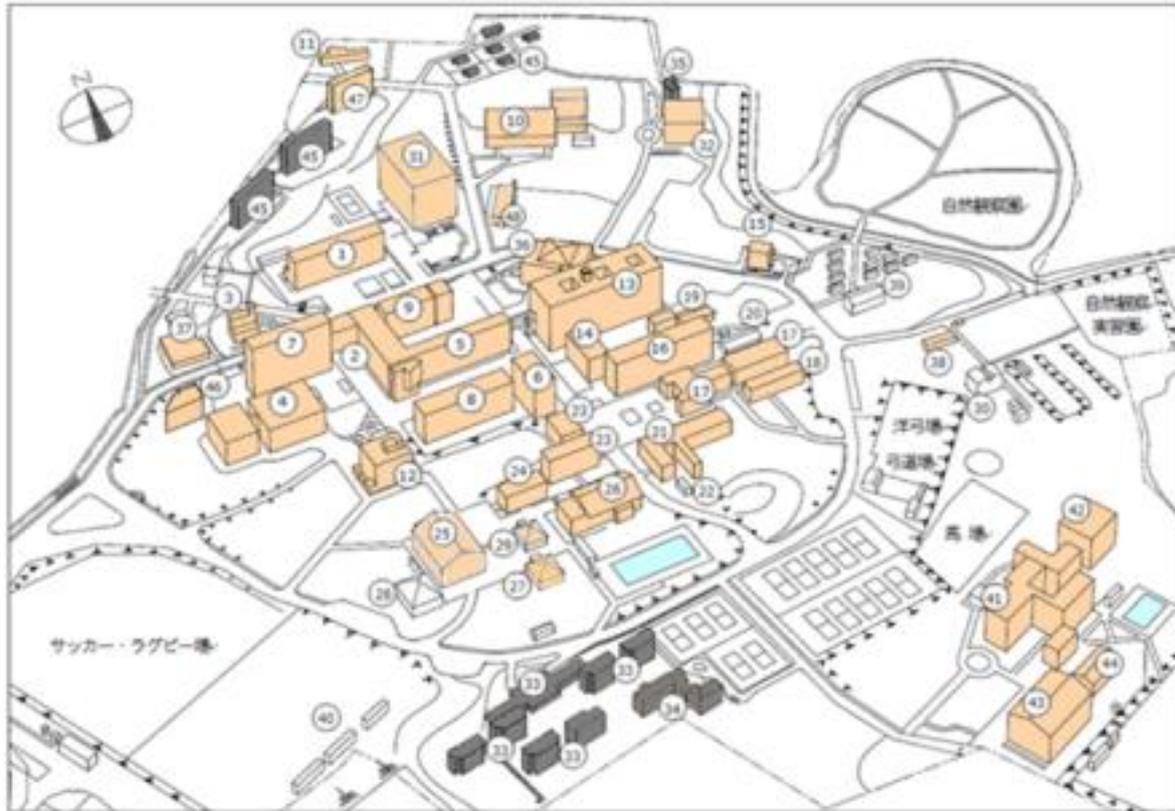
棟名	目的・用途		室名・設備状況	利用状況
第一共通棟	学習	休息	2F リフレッシュスペース	丸テーブル・椅子
	学習	休息	3F リフレッシュスペース	丸テーブル・椅子
		休息	1F 中庭ウッドデッキ	屋外テーブル・椅子
教育未来館	学習		教職大学院第1学生自習室	机、椅子、PC、プリンター、無線LAN、ホワイトボード、電子黒板 教職大学院生のみ。授業でも使用するが、終日利用可能。
	学習		教職大学院第2学生自習室	机、椅子、PC、プリンター、コピー機、印刷機、無線LAN、ホワイトボード 教職大学院生のみ。終日利用可能。
	学習		共同大学院研究スペース	机、椅子、PC、プリンター、コピー機、無線LAN、ホワイトボード 博士課程学生のみ。終日利用可能。
	学習	休息	2F ホール	丸テーブル
附属図書館	学習		2F 閲覧スペース 28席 2F 学修スペース 193席 3F 閲覧スペース 154席 3F 学修スペース 36席	無線LAN 開館時間 月～金 9:00～22:00 or 9:00～17:00 土日祝 11:00～17:00
	学習	休息	2F 玄関入口ラウンジ	無線LAN、テーブル・椅子 飲食・ミーティング可能
		休息	玄関前広場	屋外テーブル・椅子
ICT教育基盤センター	学習		2F 第1PCルーム	PC 50台、無線LAN、ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター、スクリーン 利用時間 8:30～17:00 (授業外自習)
	学習		3F 第2PCルーム	無線LAN、ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター、スクリーン 利用時間 8:30～17:00 (授業外自習)
	学習		3F 第3PCルーム	PC 30台、無線LAN、ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター、スクリーン 利用時間 8:30～17:00 (授業外自習)
	学習		3F 第4PCルーム	無線LAN、ホワイトボード、机、椅子、プロジェクター、スクリーン 利用時間 8:30～17:00 (授業外自習)
大学会館	課外活動	休息	1F ホール	開館時間 9:00～20:00
第一福利施設		休息	くつろぎラウンジ	テーブル・椅子
教育交流館	学習		1F ラーニングcommonsⅢ	テーブル、椅子、ホワイトボード、プロジェクター、スクリーン
教育・人文棟	学習		1F コモンスペース	テーブル、椅子、ホワイトボード、無線LAN
自然科学棟	学習		1F ラーニングcommons	テーブル、椅子、ホワイトボード、無線LAN
美術・技術・家政棟	学習		1F ラーニングcommons 2F ラーニングcommons 3F ラーニングcommons 4F ラーニングcommons	テーブル、椅子、ホワイトボード、無線LAN ワークブース (2Fのみ)
養護・幼児棟	学習		1F ラーニングcommons	テーブル、椅子、無線LAN
特別支援教育棟	学習		1F ラーニングcommons	テーブル、椅子、ホワイトボード、無線LAN

(4) ICT環境の整備状況

ア 学内情報ネットワークの状況

学内情報ネットワーク接続エリア配置図

令和7年3月31日現在



接続エリア
  民間回線

1 本部棟	14 共同演習棟	27 武道場	39 文科系サークル棟
2 学生サポートセンター	15 共同実験実習棟	28 トレーニングセンター棟	40 運動系クラブハウス
3 健康支援センター	16 美術・技術・家政棟	29 体育館附属棟	41 附属高等学校校舎
4 附属図書館	17 美術・技術実習棟	30 教育実験実習棟	42 " 特別教室
5 第一共通棟	18 ものづくり実習棟	31 講堂	43 " 体育館
6 第二共通棟	19 技術第一実習棟	32 大会館	44 " 武道場
7 教育・人文棟	20 技術第二実習棟	33 学生寮	45 職員住宅
8 教育支援棟I	21 音楽棟	34 国際交流会館	46 教育未来館
9 教育交流館	22 音楽練習棟	35 非常勤講師宿泊棟 (井ヶ谷荘)	47 国際教育棟
10 特別支援教育棟	23 養護・幼児棟	36 第一福利施設	48 次世代教育イノベーション棟
11 心理教育相談棟	24 保健体育棟	37 第二福利施設	
12 教育支援棟II	25 第一体育館	38 AUEセミナーハウス	
13 自然科学棟	26 第二体育館		

無線LANアクセスエリア

令和7年3月31日現在

棟名	室名	棟名	室名	
1 本部棟	1 F 打合せ室	17 美術・技術実習棟	1 F 専門領域実習室(ガラス)	
	3 F 第一会議室、第二会議室		2 F リフレッシュスペース	
	第三会議室、第五会議室		図画工作実習室 I	
4 附属図書館	2 F 本館、新館		図画工作実習室 II	
	2 F ホール		専門領域実習室(美術史)	
	2 F 自由閲覧室		専門領域実習室(美術共同)	
	3 F 本館、新館		専門領域実習室(デザイン I)	
5 第一共通棟	1-3F 各教室	絵画実習室、共同演習室		
	2-3F リフレッシュスペース	21 音楽棟	1 F 音楽教育専門実習室	
6 第二共通棟	1-3F 各教室		オープンラウンジ	
	7 教育・人文棟		1-2F 講義室	演奏室、合奏実習室、玄関ホール
3-5F オープンラボ			2 F 音楽教育専門実習室	
8 教育支援棟 I	1 F 演習室(101、117)	リフレッシュスペース、院生室		
9 教育交流館	1 F アクティブラーニングスペース	23 養護・幼児棟	1 F ラウンジ、COMMONスペース	
	2 F ALJルーム、第1PCルーム		ラーニングCOMMONズ、共同演習室 I	
	3 F 第2PCルーム、第3PCルーム		共同教材開発室 2、幼児保育実習室	
	第4PCルーム		2 F リフレッシュスペース	
10 特別支援教育棟	1 F 小プレイルーム、中プレイルーム		幼児教育専門演習室	
	大プレイルーム、多目的スペース		幼児教育専門講義室	
	ラーニングCOMMONズ		養護教育実験実習室	
	共同演習室(137、134、145)	共同演習室 II		
	演習室(105、112)	3 F リフレッシュルーム		
2 F COMMONスペース、共同演習室(225)	3 F 共同演習室(301、305)	24 保健体育棟	1 F 保健体育講義室 1	
			大学院生室、多目的スタジオ	
			2 F オープンラウンジ	
12 教育支援棟 II	1 F 小プレイルーム、中プレイルーム		保健体育講義室 2	
	2 F COMMONスペース、共同演習室(225)		保健体育専門演習室 1	
	3 F 共同演習室(301、305)	保健体育専門演習室 2		
	3 F 共同演習室(301、305)	3 F リフレッシュスペース		
13 自然科学棟	1-5 F リフレッシュスペース	25 第一体育館	体育室	
	1 F COMMONスペース、ミーティングルーム		27 武道場	1 F 柔道場、2 F 剣道場
	サイエンスアクティビティルーム	31 講堂		ステージ、ホール
	科学・ものづくり教育推進センター訪問科学実験室		37 第二福利施設	2 F セミナー室
	2 F 化学系実験実習室、理科室(233、234)	38 AUEセミナーハウス		1 F セミナー室 1、セミナー室 2
	3 F 生態系実験実習室		2 F セミナー室 5	
	4 F 地学系実験実習室、物理系実験実習室	41~44 附属高	校舎、特別教室、体育館、武道場	
	5 F オープンスペース		46 教育未来館	1-3 F オープンコーナー
	演習室(511、512、515、516、518)			1 F プロジェクト研究室、会議室
	14 共同演習棟	2-3F 演習室		2 F 第一学生自習室、第二学生自習室
16 美術・技術・家政棟		1-4 F ラーニングCOMMONズ		多目的指導室、講義室 2 A
		1 F ギャラリー	3 F 共同大学院研究スペース	
		2-4 F リフレッシュスペース	多目的ホール、講義室 3 A	
	2 F 美術共同実習室 I、美術共同実習室 II	講義室 3 B、講義室 3 C		
共同実習室 I、共同実習室 II	47 国際教育棟	1 F 外国人児童生徒支援リソースルーム		
共同実習室 III、共同演習室(233)		2 F ラーニングCOMMONズ		
3 F 共同演習室(337)		指導者研修室、演習室 1		
4 F 共同演習室(437)		3 F 和室、和ダイニング、演習室 2		
48 次世代教育イノベーション棟	1 F AUEカキツバタホール	48 次世代教育イノベーション棟	1 F AUEカキツバタホール	

## イ 学務ネット

「学務ネット」は教務情報を集約し、学生への連絡周知や修学支援を行うためのウェブシステムであり、2007年に導入され、いくつかの機能強化・改善を行って、現在の運用に至っている。

学務ネットの主な機能

機能一覧	
1 掲 示	授業関連情報、休講情報、お知らせ情報が確認できる。
2 学籍情報照会	自身の氏名、生年月日、住所、電話番号、携帯番号、本籍地、指導教員の氏名などが確認できる。
3 履修登録	指定された期間内に、各学期で履修する授業を登録することができる。
4 学生時間割表	履修登録した自身の時間割表を閲覧できる。
5 教員時間割表	授業時間割に登録してある教員の時間割表を閲覧できる。
6 ファイル共有	学務ネットのマニュアル、授業時間割表、オフィス・アワー等の情報を閲覧できる。
7 シラバス照会	シラバス検索・閲覧ができる。
8 成績照会	自身の成績を閲覧できる。
9 授業アンケート実施	授業アンケートへの回答ができる。
10 学修成果の可視化	自身のディプロマ・ポリシーの達成度などを確認し、省察内容を記録できる。

## ウ まなびネット

「まなびネット」は、moodle(ムードル)を利用した授業運営と学生への修学支援を目的としたウェブシステムで、「学務ネット」と同じく、学生及び教職員は、ユーザ認証により学内外から「まなびネット」にアクセスすることができる。教材や資料、動画の掲載、レポート課題を課すことや課題の提出・回収、小テストの実施、採点及びコメントをすることができる。

### 2 中期的視点における施設整備計画

以下の別添資料を参照

- ・愛知教育大学 キャンパスマスタープラン2022
- ・愛知教育大学 インフラ長寿命化計画（行動計画）（令和3年度～令和7年度）
- ・愛知教育大学 インフラ長寿命化計画（個別施設計画 2022）

## 3 その他の施設・設備

## ア 講堂

	主な設備		主な用途
施設内容	(1階)	ステージ、ホール、ロビー、映写室、会議室	式典、講演会、演奏会等
	(中2階)	音響室、調光室	
	(2階)	ホール、ロビー、休憩室、サイドスポット室	
収容定員	ホール 1218席（1階936席、2階282席） / 会議室 24席		

## イ 大学会館

	主な設備		主な用途
施設内容	大集会室（2階）	舞台・音響・照明等、机、椅子	講演会、演奏会等
	学生支援スペース（2階）	机、椅子	諸会議、研究会、学習会等
	和室（2階）	炉（15畳2間）	茶道、舞踊、諸会議、研究会、学習等
収容定員	大集会室 300人 / 学生支援スペース 72人 / 和室 48人		

## ウ 福利施設

	主な設備	
第一福利施設	購買、書籍、旅行サービス、食堂、生協本部	
第二福利施設	食堂（1階）	
	職員福利厚生スペース（2階）	

## エ 課外活動施設等

	主な設備	主な用途
体育系クラブハウス	21室	クラブ・サークル活動における集会等
文化系クラブハウス	36室	クラブ・サークル活動における集会等
文化系サークル棟	共同制作室（180㎡）、練習室(大)(60㎡)、練習室(小)(8㎡)	クラブ・サークル活動における印刷、集会、練習等
弓道場	射場(91㎡)、的場からの（安土）まで28m	弓道の練習及び大会会場、集会等
洋弓場	倉庫(10㎡)一面芝生、的場からのまで最大90m	洋弓の練習及び大会会場、集会等
馬場	厩舎(74㎡)（馬4頭収容可）、部室(10㎡)、馬用の洗場	馬術の練習及び馬の飼育、集会等

## オ AUEセミナーハウス

所在地	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1（愛知教育大学キャンパス内）
施設内容	セミナー室1、セミナー室4（15.83㎡）、セミナー室2、セミナー室5（14.91㎡）、セミナー室3、セミナー室6（20.79㎡）、キッチン、洗面・WC、シャワー室、脱衣室
収容定員	40人

## カ 井ヶ谷荘

所在地	愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1（愛知教育大学キャンパス内）
施設内容	宿泊室：和室（10畳）定員3人2室、洋室（9㎡）定員1人3室 その他：談話室、浴室、便所、洗面所
宿泊定員	9人
使用料	1人1泊 2,500円（1階和室を2名以下で使用時は1人1泊3,500円）

令和6年度の利用状況

	延べ利用者数	利用率	施設稼働率
AUEセミナーハウス	15166人	94.5%	115.2%
井ヶ谷荘	503人	24.9%	16.7%

\* 利用率 = 利用日数 ÷ 利用可能日数 × 100

\* 施設稼働率 = 延べ利用者数 ÷ (収容定員 × 利用可能日数) × 100

## キ 学生寮

学生寮入居状況

令和6年5月1日現在

区分	施設規模		入居状況		利用率	
	部屋数 a	収容定員 b	入居部屋数 A	入居者数 B	部屋利用率 A / a	定員充足率 B / b
合計	192 室	192 人	186 室	186 人	96.9%	96.9%
男子寮	64 室	64 人	60 室	60 人	93.8%	93.8%
A棟	32 室	32 人	30 室	30 人	93.8%	93.8%
B棟	32 室	32 人	30 室	30 人	93.8%	93.8%
女子寮	128 室	128 人	126 室	126 人	98.4%	98.4%
C棟	32 室	32 人	32 室	32 人	100.0%	100.0%
D棟	32 室	32 人	31 室	31 人	96.9%	96.9%
E棟	32 室	32 人	32 室	32 人	100.0%	100.0%
F棟	32 室	32 人	31 室	31 人	96.9%	96.9%

	A棟	B棟	C棟	D棟	E棟	F棟
構造 / 間取り	全棟共通：鉄筋4階建 / 洋間 14㎡ (約 8.5畳) 設備部分含。					
建築年	1970年 (2013年改修)	1969年 (2014年改修)	1969年 (2015年改修)	1969年 (2013年改修)	1970年 (2014年改修)	2012年
居住可能学生	男子	男子	女子	女子	女子	女子
寮費 (1人部屋)	27,010円	27,010円	27,010円	27,010円	27,010円	27,010円

\* 全棟1人部屋

\* 寮費には、共益費、光熱水料等を含む。ただし、NHK受信料、インターネット使用料は除く。

## ク 国際交流会館

国際交流会館入居状況

令和6年5月1日現在

区分	施設規模		入居状況		利用率	
	部屋数 a	収容定員 b	入居部屋数 A	入居者数 B	部屋利用率 A / a	定員充足率 B / b
合計	30 室	42 人	23 室	28 人	76.7%	66.7%
单身棟	24 室	24 人	18 室	18 人	75.0%	75.0%
留学生	20 室	20 人	16 室	16 人	80.0%	80.0%
研究者	2 室	2 人	0 室	0 人	0.0%	0.0%
日本人チューター	2 室	2 人	2 室	2 人	100.0%	100.0%
夫婦家族棟	6 室	18 人	5 室	10 人	83.3%	55.6%
夫婦室	3 室	6 人	2 室	2 人	66.7%	33.3%
家族室	3 室	12 人	3 室	8 人	100.0%	66.7%

\* 建築年 1998年 (平成10年) 鉄筋3階建て

\* 使用料 (光熱費等経費を除く)

●留学生 寄宿料 (月額)

单身室 ￥4,700

夫婦室 ￥11,900

家族室 ￥14,200

●研究者 使用料 (月額)

单身室 ￥7,927

夫婦室 ￥16,753

家族室 ￥22,809

## ケ 国際教育棟

国際教育棟入居状況

令和6年5月1日現在

区分	施設規模		入居状況		利用率	
	部屋数 a	収容定員 b	入居部屋数 A	入居者数 B	部屋利用率 A / a	定員充足率 B / b
合計	16 室	16 人	14 室	14 人	87.5%	87.5%
男子フロア	8 室	8 人	7 室	7 人	87.5%	87.5%
日本人学生	4 室	4 人	3 室	3 人	75.0%	75.0%
外国人留学生	4 室	4 人	4 室	4 人	100.0%	100.0%
女子フロア	8 室	8 人	7 室	7 人	87.5%	87.5%
日本人学生	4 室	4 人	4 室	4 人	100.0%	100.0%
外国人留学生	4 室	4 人	3 室	3 人	75.0%	75.0%

	男子フロア	女子フロア
構造 / 間取り	鉄筋5階建 / 洋間 11㎡ (約7畳) / キッチン・バス・シャワー・トイレ共用	
建築年	令和2年(2020年)	
居住可能学生	日本人学生	外国人留学生
寮費 (1人部屋)	21,000 円	

## コ 自然観察実習園

令和6年度 利用実績

区分	講座等	使用責任者	目的	申込面積 (㎡)	使用面積 (㎡)
畑	理科教育	加藤淳太郎	植物生活実験及び卒業論文用植物の維持管理	50	50
	幼児教育	樋口一成	幼児教育選修、保育内容研究、環境	50	50
	生活科教育	柿崎和子	研究に関わる花や野菜の栽培	50	50
	理科教育	渡邊幹男	研究材料のアブラナ科等の植物栽培	50	50
	家政教育	筒井和美	研究材料のかぼちゃ等の植物栽培	50	50
	附属幼稚園	奥地美喜	自然に親しむ(サツマイモ、ジャガイモ)	100	100
	技術教育	太田弘一	畑作物(夏・秋・冬)、鉢物栽培	100	100

生産物の販売実績

各年度3月31日現在

品名	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	販売量	販売収益 (円)	販売量	販売収益 (円)	販売量	販売収益 (円)	販売量	販売収益 (円)
さつまいも	48 kg	22,560	25kg	7,750	48kg	18,720	64kg	30,720
じゃがいも	140.0kg	44,800	60kg	14,760	150kg	37,800	146kg	43,800
玄米	-	-	-	-	25袋	39,450	-	-
大根	98	5,850	-	-	149本	17,880	253本	25,300
切り干し大根	-	-	-	-	123袋	24,600	-	-
もち米(1.4kg入り)	159袋	90,530	200袋	114,000	197袋	88,650	121袋	84,700
タマネギ	-	-	-	-	140kg	21,000	152kg	38,000
合計		163,740		136,510		248,100		222,520

## サ 生駒野外実習地

生産物の販売実績

各年度3月31日現在

品名	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	販売量	販売収益 (円)	販売量	販売収益 (円)	販売量	販売収益 (円)	販売量	販売収益 (円)
じゃがいも	-	-	-	-	159kg	39,750	-	-
さつまいも	-	-	-	-	61kg	27,450	-	-
合計		0		0		67,200		0

## 第11章 財務状況

別添資料「令和6事業年度財務諸表」を参照

## 第12章 自己点検評価及び教育情報の公表

### 1 自己点検評価

本学ウェブサイト参照（各中期目標期間の「自己点検評価」）

<https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/corporative/hyoka.html>

### 2 評価結果に対する改善

#### 【第3期中期目標期間（平成28～令和3年度）の指摘事項の改善状況等】

本学ウェブサイト参照（第3期中期目標期間の各表中「指摘事項の改善状況」）

- 法人評価 [https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/kaizen-houjin\\_h28-r3\\_20240422.pdf](https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/kaizen-houjin_h28-r3_20240422.pdf)
- 自己点検評価 [https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/kaizen-jikotenken\\_h28-r3\\_20230609.pdf](https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/kaizen-jikotenken_h28-r3_20230609.pdf)
- 認証評価 [https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/ninsyou\\_kaizen\\_20240422.pdf](https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/files/ninsyou_kaizen_20240422.pdf)

### 3 教育情報の公表状況

学校教育法施行規則第172条の2に基づく教育情報

本学ウェブサイト参照

[https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/release/edu\\_info.html](https://www.aichi-edu.ac.jp/intro/release/edu_info.html)

## 第13章 危機管理

### 1 危機管理に対する整備状況

#### （1）防災ハンドブック

本学ウェブサイト参照

[https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/student/jishin\\_bousai.html](https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/student/jishin_bousai.html)

#### （2）緊急地震速報システム

設置状況	大学構内、全ての附属学校に2012年3月に設置
作動概要	気象庁から発信する緊急地震速報を基に、緊急地震速報システム契約会社において地震が到達する時間と震度が計算されたものを大学の地震速報受信機が受信し、大学構内及び各附属学校の放送設備から「緊急地震速報」が放送される。なお、本受信機は、震度5弱以上の地震に対して放送が流れるよう設定している。

#### （3）安否確認システム

設置状況	2013年3月から運用開始
概 要	市販されている安否確認サービスを利用し、有事の際に、事前に登録している学生、教職員個人のパソコン、携帯電話などのメールアドレス等に対して安否確認連絡が配信され、学生、教職員が受信したメール等から安否状況を登録することにより、全構成員の安否確認を行う仕組みである。